

市民福祉会館改修工事設計図

(建築工事)

4 階

図面リスト

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
-	表紙・図面リスト	-	8	4階平面図(改修後)	1/100
1	特記仕様書(改修)1/4	-	9	4階平面図(既設)	1/100
2	特記仕様書(改修)2/4	-	10	4階天井伏図(改修後)	1/100
3	特記仕様書(改修)3/4	-	11	4階建具表	1/100
4	特記仕様書(改修)4/4	-	12	展開図(4F-1)(改修後)	1/50
5-1	工事区分表1/2	-	13	展開図(4F-2)(改修後)	1/50
5-2	工事区分表2/2	-	14	展開図(4F-3)(改修後)	1/50
6	建物概要	-	15	4階和室平面詳細図	1/50
7	4階内部仕上表	-	16	矩計図【参考図】	1/50

I. 工事概要
 1. 工事場所
 2. 敷地面積
 3. 工事種目

市民福祉会館改修工事 仕様書

三原市城町6番地
 福祉会館改修工事
 4階(階段室除く)
 3階屋上防水改修

II. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、建設大臣官庁官庁整備部監修「建築改修工事共通仕様書(平成10年版)」(以下「改修共仕」という)による。ただし、改修共仕に規定されていない項目以外は建設大臣官庁官庁整備部監修「建築工事共通仕様書(平成9年版)」(以下「共仕」という)による。

2. 特記仕様

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する
- 印の付かない場合は※印の付いたものを適用する
- 印と※印の付いた場合は、共に適用する
- (3) 項目に記載の〔 〕内表示番号は、改修共仕の当該項目、当該図及び当該表を示す。
- () 内表示番号は、共仕の当該項目、当該図及び当該表を示す。
- (4) 材料及び製造所等の記載は順不同である

章	項	目	特記事項
改修一般共通事項	①	① 適用基準等	※建築工事標準詳細図 建設大臣官庁官庁整備部監修(平成5年版)
	②	② 発生材の処理等 [1. 1. 13]	・引渡しを要するもの() ・特別管理産業廃棄物() ・処理方法() ・現場において再利用を図るもの() ・再生素質化を図るもの ○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ○管理用の産業廃棄物(下記以外は関係法令等に従って適切に処理) ・廃石膏ボード
	③	③ 電気保安技術者 [1. 3. 3]	適用する
	④	④ 施工条件 [1. 3. 5]	施工時間帯 ※指定なし ○指定有り 部位別の施工順序 ※指定なし ○指定有り
	⑤	⑤ 工事安全計画書	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑥	⑥ 建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、建設大臣官庁官庁整備部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(平成12年版)」によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。また、同等評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって品質・性能の確認があったものとして扱うことができる。
	⑦	⑦ 特別な材料の工法	改修共仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	⑧	⑧ 施工数量調査 [1. 5. 2]	調査範囲 ※外壁 (※) 図示 調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視
	⑨	⑨ 破損部分の補修 [1. 5. 3]	外壁調査は、外壁改修フローに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その報告書は、結果を立面図等に記し集計表を添えて監督職員に2部提出する(必要に応じ写真等を添付する) 補修方法 ※図示

① 技能士 [1. 6. 2]

技能検定の職種	適用種別
防水改修工事 (・防水施工・左官・建築防水)	・全て ・<
外壁改修工事 (・左官・タイル張り・塗装 ・樹脂接着剤注入施工)	・全て
建築改修工事 (・タイル施工・ガラス施工) 内装改修工事 (・内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等) ・表装 (・内装仕上げ施工(鋼製下地) ・左官・建築大工・タイル張り)	・全て ・<
塗装改修工事 (・塗装)	・全て ・<
耐震改修工事 (・鉄筋工事・型枠施工・とび)	・全て ・<

① 完成写真

下記のを監督職員に提出する

分類・規格	撮影箇所	部数	原画の大きさ(mm)
カラー ・キャビネ版	箇所	2部	・100×125以上
(原簿共) ※サービス版	10箇所	2部	※24×36以上
・カールスライド	1部	1部	24×36以上

完成写真等の撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者 ・監督職員の承諾する者
 上記のほか、監督職員指示の箇所を24枚綴り1本(カラー)で撮影し、カラーベタ焼き2部(原簿共)提出すること
 ※完成図(作成範囲 ○配置図 ○平面図 ○立面図 ○土上表)
 (作成方法 ※CAD (FD等共提出) ・)
 ※保全本に関する資料 (提出部数 改1部 ・ 部)

① 施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限り使用権は、発注者に帰属するものとする

① 設備工事との取合い

施工区分(※工事区分表による) ()
 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける

① 撤去部分

コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする

② ① 足場その他 [2. 2. 1]

内部足場の種別 ※脚立・足場板等
 外部足場の種別 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種
 外部足場の防護シート等による養生 ※行方 ・行わない
 材料、撤去材等の運搬方法 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種

② ② 既存部分の養生 [2. 3. 1]

養生方法 ※ビニルシート等による
 固定された家具(備品、机、ロッカー等)の移動 ○行方 (図示)
 既存部分における既存家具等の養生 ※ビニルシート等による
 既存ブラインド、カーテン等の養生 養生方法 ※取外し再取付 ・
 保管場所 ※構内既存施設内 ・

② ③ 仮設間仕切り [2. 3. 2]

※A種 ○B種 ・C種 B・C種の表面材 ※石膏ボード ・合板
 B・C種の片面への塗装等 ・行方 ※行わない

② ④ 監督職員事務所 [2. 4. 3]

・既存建物内の一部を使用する(場所)
 ・構内に新設する(・1号・2号・3号・4号・5号) ※設けない

② ⑤ 工事用水

構内既存の施設 ※利用できる (※有償 ○無償) ・利用できない

② ⑥ 工事用電力

構内既存の施設 ※利用できる (※有償 ○無償) ・利用できない

③ ① 防水改修工事

工 法	新設防水層の種類	施工箇所	備考
屋上保護被覆防水	・P1B工法 ※B-2		
	・P1B1工法 ※B1-2		
	・P2A工法 ※A-2		
	・P2A1工法 ※A1-2		
	・T1B1工法 ※B1-2		
屋上露出部防水	・P0D工法 ※D-3(改質アス)		
	・M3D工法 ※D-2		
	・M4C工法 ※C-2		

既存露出防水層表面の仕上げ塗装 (M4C工法) ※除去する ・除去しない
 屋根保護防水断熱工法の断熱材
 材質 ※JIS A 9511の発泡ポリスチレンフォーム3種bスチレン付 (特定フロンを含まないもの)
 厚さ ○25
 伸縮目地材 ※成形伸縮目地材 製造所 評価名簿による
 保護コンクリートの仕上げ ※置換し仕上げ
 防水立上り部の保護 ・れんが
 ・乾式保護材 製造所 評価名簿による

② 合成高分子系ルーフィングシート防水 [3. 1. 4] [3. 4. 3]

工 法	新設防水層の種類	施工箇所	備考
・POX工法	※S-1		図示
・S3S工法	※S-1		
・M4S工法	※S-4		

脱気装置 ・設けない ※設ける
 仕上塗料塗リ (S-1, S-2の場合) ※シルバー ・カラー

③ 塗膜防水 [3. 1. 4] [3. 2. 6] [3. 5. 3]

工 法	新設防水層の種類	施工箇所	備考
・POX工法	※X-1		
・L4X工法	※X-3		図示

脱気装置 ・設けない ※設ける 種類 ・設計数量 ※主材料製造所の仕様による
 既存仕上げ塗膜の除去 (L4X工法) ※行方 ・行わない

④ シーリング改修工法の種別 [3. 1. 4]

工 法	新設防水層の種類	施工箇所	備考
・シーリング充填工法			
・拡幅シーリング再充填工法			

・シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法

⑤ 二重ドレイン工法(POD工法) POS工法及びPOX工法) [3. 2. 5]

※設ける ・設けない

⑥ シーリング用材料 [3. 6. 2]

種類及び施工箇所 図示以外は[表3. 6. 1]による

⑦ シーリングの試験 [3. 6. 8]

接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない

⑧ とい [3. 7. 2]

材質 ※配管用鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管
 鋼管製の防露 ※行方 (施工箇所 ※[表3. 7. 5]) ・ 行わない
 とい受け金物 ※市販品 [表3. 7. 2]

⑨ ルーフドレン

製造所 評価名簿による

⑩ たてどいの床及び天井面の取り合い部

防露を行う場合 スパルス(SUS304、厚さ0.2mm)で被覆する 高さ(mm) 床 ※150
 防露を行わない場合 スパルス製シーリングを取り付ける (床、天井共) 天井 ※30

⑪ アルミニウム製笠木 [3. 8. 2~3]

※押出し形材 部材による種類 ・250形 ・350形 図示
 ・曲げ材 材質 JIS H4000による
 厚さ(mm) ・2.0 形状は図示による
 表面処理 ※A-1型又はB-1型
 笠木の取付方法 (曲げ形材の場合) ・ [3. 8. 2(b)]による

④ ① ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4] [4. 3. 4~7]

※樹脂注入工法

ひび割れ幅(mm)	注入量(cc)
0.3以上0.5未満	7.0
0.5以上1.0未満	13.0
1.0以上	17.0

※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
 ・手動式エポキシ樹脂注入工法
 ・機械式エポキシ樹脂注入工法
 検査 ・行方 ※行わない
 補修方法(ポリマーセメントモルタル充填)
 注入材料
 ※建築用樹脂用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024)による低粘度型又は中粘度型
 ・軟質型エポキシ樹脂 製造所 評価名簿による
 ・Uカットシール材充てん工法
 カット部充てん材
 ※可とう性エポキシ樹脂 製造所 評価名簿による
 ・シーリング用材料 ※ポリウレタン系
 ・ポリマーセメントモルタル充てん ※行方 ・行わない

④ ② 欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 3. 7]

※充てん工法
 欠損部充てん材
 ※ポリマーセメントモルタル 製造所 評価名簿による
 ・エポキシ樹脂モルタル 製造所 評価名簿による

4 | 2 | 外壁改修工事

1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.4.2] [4.4.5-6]

2 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.4.3] [4.4.8]

3 浮き部改修工法 [4.1.4] [4.4.4] [4.4.9-14]

(下記以外は4-1コンクリート打放し仕上げ外壁による)

※モルタルを撤去して改修 (撤去後の補修は完工法による)

※樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充てん工法

・モルタルを撤去しないで改修

※樹脂注入工法 ・ シール工法

※充てん工法 (欠損部の面積が0.25㎡/箇所程度以下の場合)

充てん材の種類 ※ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル

・モルタル塗替え工法 吸気調整材 製造所 評価名簿による

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付)

アンカーピンニング固定用樹脂材料 (アンカーピン部共通)

建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024) による硬質形で高粘成形

注入口付アンカーピン用樹脂材料 (アンカーピン部共通)

建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024) による硬質形で中粘成形及び高粘成形

・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付)

注入材料 建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024) による硬質形で低粘成形又は中粘成形

・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (・ 注入口付)

注入材料 ポリマーセメントスラリー 製造所 評価名簿による

・モルタル塗替え工法 吸気調整材 製造所 評価名簿による

4 | 3 | 外壁改修工事

1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.5.2] [4.5.5]

2 欠損部改修工法 [4.1.4] [4.5.3] [4.5.6-7]

3 浮き部改修工法 [4.1.4] [4.5.4] [4.5.8-14]

(下記以外は4-1コンクリート打放し仕上げ外壁、及び4-2モルタル塗り仕上げ外壁による)

※タイルを撤去して改修 (撤去後の補修はタイル部分張替え工法による)

※樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充てん工法

・タイルを撤去しないで改修 ※樹脂注入工法

・タイル部分張替え工法 (欠損部の面積が0.25㎡/箇所以下の場合及び下地モルタルがある場合)

接着材の種類 ※ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂

・タイル張替え工法 (下地モルタルを撤去する場合)

既製適合モルタル (張り付け用を使用する場合) 製造所 評価名簿による

・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付)

・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付)

・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (・ 注入口付)

・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法

注入口付アンカーピン本数

・タイル部分張替え工法

接着材の種類 ※ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂

・タイル張替え工法 (下地モルタルを撤去する場合)

既製適合モルタル (張り付け用を使用する場合) 製造所 評価名簿による

接着剤 ※ポリマーセメントモルタル 製造所 評価名簿による

・エポキシ樹脂 製造所 評価名簿による

タイルの品質 製造所 評価名簿による

施工箇所	形状 (mm)	き	じ	うわぐすり	その他

役物の使用箇所

内装	出隅	天端

外装 出隅、窓台、マガサ (標準一体成型品以外は接着成型品とする)

既製適合モルタル 製造所 評価名簿による

5 目地改修工法 [4.1.4] [4.5.15]

・目地ひび割れ改修工法 既製適合モルタル 製造所 評価名簿による

・伸縮目地改修工法 位置及び寸法 ※図示

既製適合モルタル 製造所 評価名簿による

6 外壁接合改修工法

平成7年度建設省告示第1860号による「外壁接合改修工法の開発」において、建設大臣の技術評議を取った工法とする

4 | 4 | 外壁改修工事

1 仕上げ塗材仕上げ [4.1.4] [4.2.2]

2 既存塗膜等の除去及び下地処理 [4.6.3]

3 改修工法 [5.1.3]

4 鋼製建具 [5.3.2]

5 鋼製建具 (即時型) [16.3.2-5]

・薄付け仕上げ塗材

種 類	仕上げの形状	工 法
・外装薄塗材 E	・砂壁状	吹付け
	・着色骨材砂壁状	

・厚付け仕上げ塗材

種 類	仕上げの形状	工 法	上 塗 材
・外装厚塗材 E	スタッコ状	吹付け	・行う
		・吹出し	・行わない
		・凸凹処理	

・複層仕上げ塗材

種 類	仕上げの形状	工 法	上塗材 (耐候性 耐紫外線 3種)
・複層塗材 CE	・ゆず肌状	ローラー	※水系 ・ シリカ系 ※つやなし
・複層塗材 Si			※水系 ※アクリル系 ※つやあり
・複層塗材 E	・凸凹処理	吹付け	・矽酸塩系 ※つやなし
・複層塗材 RE	・凸凹模様		・溶剤系 ・70%以内 ※つやあり
・複層塗材 RS			・フッ素系 ・つやなし
			・弱溶剤系 ※アクリル系 ※つやあり
			・矽酸塩系

上塗り材の塗布量 メタリック 0.4kg/㎡以上

ポリウレタン系、アクリルシリコン系、フッ素系 0.35kg/㎡以上

塗膜はく離材 製造所 ()

防火材料の指定箇所 ()

既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法

※サンダー工法 ※既存仕上げ面全体

・高圧水洗工法 } 処理範囲 ・ 図示の範囲

・30MPa程度 ・ 50MPa程度 ・ 100MPa程度

・塗膜はく離工法

・水洗い工法 — 処理範囲 ・ 上記3工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示の範囲

下地調整材料 ※下地調整塗材

・ポリマーセメントモルタル

・防水形仕上げ塗材主材

※かぶせ工法 () ・撤去工法 ()

※製作しない ・ 製作する

種 別	※A 種	・B 種	・C 種
耐摩耗性	※S-4	・S-5	・S-6
気密性	※A-3		
水密性	※W-4		
特見込み (mm)	70		
	100		

表面処理 ※B-1種 ・ B-2種 (色調「ブロンズ」・「スチール」・「ブラック」)

屋内 ※C-1種

防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3

断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3

網戸等 防虫網の材質 ※ステンレス製 (SUS316) ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製

防虫網の材質 ※ステンレス製 (SUS304) 径1.5mm ピッチ15mm

製造所 評価名簿による

寸法許容差 (W・H>2m、W×H>3㎡、特見込み>120mmの場合) ※表5.3.3による

製造所 評価名簿による

防火戸 煙感知器連動とする防火戸の解放機構は別途とする

扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う

出入口 (くつずりを除く) の鋼板

表面処理亜鉛めっき鋼板とする

鋼板類の厚さは (表16.3.2にかかわらず) 以下とする。

枠類 (くつずりを除く) : 1.6mm (鋼板)

枠類 (くつずり) : 1.5mm (ステンレス鋼板)

戸の中骨 : 1.6mm (鋼板)

外部用上水切りの板 : 1.6mm (鋼板)

製品の寸法許容差

出入口の寸法許容差については、(表16.3.3にかかわらず) JIS A4702 (寸法公差) による。

出入口枠、額縁及びせんげの組立

隙をばし閉づき溶接とする場合は、(表16.3.4にかかわらず) 面溶かしとしてもよい。

製造所 評価名簿による

6 鋼製軽量建具 [5.4.2-3]

7 鋼製軽量建具 (即時型) [16.4.2-5]

8 ステンレス製建具 [5.5.4-5]

9 自動ドア開閉装置 [5.6.3]

10 建具用金物 [5.7.2-5]

11 建具用金物 (即時型) [16.8.3]

区 分	材 質
召合わせ、縦小口包み板	・ 鋼板 ※ ステンレス ・ アルミニウム
扉の表面板、押縁	※ 鋼板 ・ ビニル被覆鋼板
枠類	※ 鋼板 (くつずりはステンレス) ・ 製作所仕様

製作所 評価名簿による

戸の鋼板

※表面処理亜鉛めっき鋼板

・ ビニル被覆鋼板

・ JIS G3313 (電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) による。(カラー鋼板の場合)

塗装

戸の鋼板をJIS G3313による場合は (16.4.4(a)にかかわらず) 建具製作所の仕様とする。

鋼板類の厚さは (表16.4.1にかかわらず) 以下とする。

枠類 (くつずり) : 1.5mm (ステンレス鋼板)

戸 (表面板) : 0.6mm

戸 (召合わせ、縦小口、包み板、押縁) : 0.6mm以上

製品の寸法許容差

出入口の寸法許容差については (表16.3.3にかかわらず) JIS A4702 (寸法公差) による。

枠の組立

隙を閉づき (表16.4.2にかかわらず、面溶かしも) 又は留めとし、いずれも溶接する。

戸 (縦小口包み及び召し合わせを含む) の組立

建具製作所の仕様とする

製作所 評価名簿による

寸法許容差 (W・H>2m、W×H>3㎡、特見込み>120mmの場合) ※表5.3.3による

曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ

製作所 評価名簿による

センサの種類

・ マット ・ 電子 (電磁) ※光線 (反射) ・ 音波 ・ 熱線 ・ 光電

取付位置 ・ 床面 ・ 天井面 ・ 壁面 ※無目

開閉装置の製作所 評価名簿による

評価名簿によるもの

モノロック、本締め付モノロック、シリシダー錠、シリシダー本締め錠

ドアクローザ (※面付形 ・ コンシールド形)

ヒンジクローザ (・T形 ※中心吊り形)

フロアヒンジ (※中心吊り込み ・ 持出し吊り込み)

マスターキー ○ 製作する (3組) ・ 製作しない ・ 既存に組込む

錠箱 ・ 設ける (個用 組) ・ 設けない

錠前類は、レバーハンドル錠とする

なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の手続きを受ける。

吊金物

○ T形 (内部建具については、軸を軸芯としてもよい)

・ ピボットヒンジ

5	1	ガラス [5. 8. 2]	共通仕様書の規定による材料又は、評価名簿による材料				
		ガラスとめ材 [5. 8. 2]	建具の種類	材 種			
			鋼製	※ シーリング材			
			アルミニウム製	○ ガasket ※ シーリング材			
			ステンレス製	※ シーリング材			
			木製	※ シーリング材			
		防火戸のガラスとめ材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による					
		ガラス調の寸法、形状等 [5. 8. 3]	[表 5. 8. 1] 以外は、JASS177 ガラス工事 3 部の規定による				
		重量シャッター [5. 9. 2]	種類	一般 ・ 外壁用防火 ・ 屋内用防火 ○ 窓内用防煙			
			防火シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、運動制御装置及び煙感知器は別途とする	閉鎖機能による種類 ※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 シャッターケース (防火、防煙以外) ※ 設ける ・ 設けない			
軽量シャッター [5. 10. 2~4]	閉鎖形式	・ 上部電動式 (手動併用) ※ 手動式					
	スラットの材質	※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板					
オーバーヘッドドア [5. 11. 2~5]	スラットの形状	※ インターロック型 ・ オーバーラッピング形					
	シャッターケース	※ 設ける ・ 設けない					
	ガイドレールの材質	※ ステンレス製 (SUS304) 厚さ 1.5mm (中柱共)					
	扉板 (屋外の場合)	※ ステンレス製既製品					
	製造所 評価名簿による						
障害物感知装置	セクション材料による区分	※ ステンレスタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ					
	閉鎖形式による区分	※ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式					
	収納形式による区分	※ スタンダード形 ・ ローベド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形					
	障害物感知装置 (電動の場合)	※ 設ける ・ 設けない					
危険防止機構	ガイドレールの材質	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス製 (SUS304) 厚さ 2.0mm					
	製造所 評価名簿による						
6	1	他の部分との取り合い [6. 1. 3]	○ 既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合い天井、壁面及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし、既存に準じた仕上げとする ・ 図示				
		既存床仕上げ材の除去等 [6. 2. 2]	○ 天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま ・ 図示				
			合成樹脂塗料の除去 ○ 機械的除去工法 ・ 目荒工法 改修後の床の清掃範囲 ※ 改修部の端部より 1m 程度 ・ 図示				
ビニルシート、ビニル床シート 及びコンクリート床 [6. 8. 2]	2	○ ビニル床シート	種類	記 号	色 柄	厚 さ (mm)	工 法
		※ 発泡層のないもの	※ N C	※ 無 地	・ 2. 0	・ 突付け	
					※ 2. 5	※ 熱溶接	
3	3	○ ビニル床シート	種類	記 号	厚 さ (mm)		
		・ ホモジニアス	H T	※ 2. 0			
		・ コンポジション	・ 置敷き H T ※ 半硬質 C T ・ 軟質 C T S	※ 5. 0 ※ 2. 0			

4	1	○ 特殊機能床材 (帯電防止)	種 類	記 号	厚 さ (mm)	性 能 JIS K 6911 (準則 20' 40%RH)				
		・ 帯電防止床シート	N C	※ 2. 0	※ 体積抵抗値 (Ω) ・ 1. 0 × 10 ⁹ 以下					
		○ 帯電防止床材	C T S							
		・ 特殊機能床材 (帯電防止以外)								
		種 類		厚 さ (mm)	寸 法 (mm)					
		○ 視覚障害者用床材 (塩ビ製)		※ 2. 0	※ 300 × 300					
		・ 視覚障害者用床材 (合成ゴム製)		※ 2. 0	※ 400 × 400					
		ビニル巾木の長さ (mm) ※ 60 ・ 75 ○ 100								
		共通仕様書の規定による材料又は評価名簿による材料								
		4	2	合成樹脂塗料 [6. 9. 2~3]	・ 弾性ウレタン塗料系床材 仕上げの種類 ※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ ・ エポキシ樹脂塗料系床材 仕上げの種類 ・ 薄膜流し膜仕上げ ・ 厚膜流し膜仕上げ ・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 防滑仕上げ					
床用防塵塗料塗り	製造所 イサム塗料 (エポフロア-U)、朝エビーシー商会 (カラトップU) エスケー化成機 (アークフロア-U)、中外商工 (アールフロア-EUコート) 同等									
5	2	カーペット敷き [6. 12. 2~3]	・ タイルカーペット							
		種 別	パイル形状	寸法 (mm)	総厚さ	電気抵抗 (Ω)	工 法			
6	2	※ A 種	※ ループパイル	500 角	・ 6. 5mm	※ 蒸漏りい ・ 10 以下 (JIS L 1904 23' 25%RH)	※ 全面接着 ・ のり付 加工品敷き			
		※ B 種	※ カットパイル							
7	2	可動間仕切り	製造所 JIS A 6512 によるほか、下記による							
		構造形式による種類 ※ スタッド 式 (スタッド 露出 ・ スタッド 内蔵) ・ スタッド (パネル式) 表面材質及び厚さ (mm) ※ 鋼板 0. 6 仕上げ メラミン樹脂又はアクリル樹脂塗料積付塗装 (※ 常備品 ・ 指定色) パネル厚さ (mm) 程度 製造所 JIS A 6512 によるもの又は、評価名簿による								
8	2	せっこうボード、その他 ボード及び合板張り [6. 13. 2]	天井及び壁に使用する材料は、すべて防火材料の認定表示のあるものとする							
		材料・規格	施工箇所	張り方	厚 さ (mm) 等					
9	1	1	1	○ 石こうボード JIS A 6901 GB-R	壁	下張り	突付け	※ 9. 5 (不燃認定品)		
						上張り	目透かし	※ 12. 5 (不燃認定品)		
						直張り	突付けV目地	※ 9. 5 (準不燃認定品)		
						天井	下張り	突付け	※ 9. 5 (準不燃認定品)	
							上張り	目透かし	※ 9. 5 (準不燃認定品)	
							直張り	突付けV目地	※ 12. 5 (不燃認定品)	
						化粧石こうボード (トラバーチン模様) JIS A 6901 GB-D	天井	直張り	突付け	※ 9. 5 (不燃認定品)
									※ 4. 5 × 9. 10 ・ 9. 10 × 9. 10	
						化粧石こうボード (杉板目プリント) JIS A 6901 GB-D	天井	直張り	目透かし	※ 9. 5 (準不燃認定品)
									下地共メーカ仕様による	
9	2	1	1	・ 無機繊維強化石こうボード JIS A 6901 GB-F	壁	突付け	※ 15 (不燃認定品)			
				・ 吸音用吸音石こうボード JIS A 6901 GB-P			目透かし	※ 9. 5 (準不燃認定品)		
				○ コックウール化粧吸音板 JIS A 6301 DR	天井	上張り	突付け	※ 9. 12 (不燃認定品)		
							突付けV目地			
				・ グラスウール吸音材 JIS A 6301 GW-B			※ 25 (不燃認定品)	グラスウール吸音ボード 2号 2×2 K		
				○ 繊維セメント化粧断熱材 JIS A 5430 0. 8FK			目透かし	※ 6 ・ 8 ・ 5 (不燃認定品)		
				建築基準法に基づく防火材料の認定表示のあるものとする						
				施工箇所	品質 (製造所)	防火性能の級別				
				この節は、コンクリート下地、コンクリートブロック下地等の面に、セメント、骨材等を主材料としてつくったセメントモルタル塗り工事に適用する。 なお、モルタル塗りの浮き、ひび割れを改修する場合は 4 章による。						

7	1	1	1	11	豊タイル張り [6. 16. 5]	内装タイル ・ 積上げ張り ※ 壁タイル接着剤張り				
				12	断熱材打込み工法 [6. 17. 2]	断熱材の種類 ※ 押出ホト リスチレンフォーム保温板 2 種 b 厚さ ※ 2. 5mm ・ 硬質ウレタンフォーム 保温板 1 種 2 号 厚さ mm 断熱補修材 ・ 断熱材と同材 ※ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (次項による)				
				13	断熱材現場発泡工法 [6. 17. 3]	断熱材の種類 ※ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 厚さ 2. 5mm 難燃性 3 級 製造所 評価名簿による				
				2	7	防火材料 [7. 1. 3]	区内の壁及び天井の塗装仕上げは建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする			
				3	2	既存塗膜の除去 [7. 2. 1]	塗替え種別が R Ⅱ 種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※ 塗替え面積の 30% ・			
				4	2	下地調整 [7. 2. 2~7]	塗替え 新設 木部 不透明塗料塗り (※ R Ⅱ 種) (※ R A 種) () 透明塗料塗り (※ R B 種) () (※ R B 種) () 鉄面 (※ R Ⅱ 種) () (※ R A 種) () 亜鉛めっき面 (※ R B 種) () (※ R A 種) () モルタル面及びフ ラスター面 (※ R B 種) () (※ R B 種) () コンクリート及び押出成型セメント板面 (※ R B 種) () (※ R B 種) () せっこうボード及びその他ボード面 (※ R B 種) () (※ R B 種) ()			
				5	2	錆止め塗料塗り [7. 3. 2~3]	下 地 種 別 塗 料 の 種 別 種 別 鉄面 屋外 (※ A 種 ・ B 種) 屋内 (A 種 ※ B Ⅱ 種) ・ A 種 ・ B 種 ※ C Ⅱ 種 亜鉛めっき面 鉛酸カルシウムさび止めペイント ・ A 種 ・ B 種 ※ C Ⅱ 種 新規鋼製建築等 鉛酸カルシウムさび止めペイント ※ A 種 ・ B 種 ・ C Ⅱ 種			
				6	2	5	仕上り塗料塗り [7. 4. 2] [7. 4. 3~5] [7. 6. 2] [7. 10. 2] [7. 11. 2]	合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 屋外 (・ 1 種 ※ 2 種) 屋内 (※ 1 種 ・ 2 種) 木部合成樹脂調合ペイント塗りの種類 新規 (※ A 種 (多孔質広葉樹を除く) ・) 塗替え (※ B Ⅱ 種) () 鉄面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 新規 (※ B Ⅱ 種) () 塗替え (※ B Ⅱ 種) () 亜鉛めっき面合成樹脂調合ペイント塗りの種類 新規 (※ A 種) () 塗替え (※ A 種 (鋼製建築) ※ B Ⅱ 種 (その他) () 塩化ビニル樹脂エマルジョン塗りの種類 新規 (※ B Ⅱ 種) () 塗替え (※ B Ⅱ 種) () つやあり合成樹脂エマルジョン塗りの種類 新規 (※ B Ⅱ 種) () 塗替え (※ B Ⅱ 種) () 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの種類 新規 (※ B Ⅱ 種) () 塗替え (※ B Ⅱ 種) ()		
				8	1	1	1	8	鉄筋 [8. 2. 1]	種類の記号 径 ※ SD 295A D10, D13, D16 ※ SD 345 D19 以上
								2	溶接金網 [8. 2. 2]	寸法 ※ 6. 0φ × 100 × 100 施工箇所 ()
3	シオコネクタ [8. 3. 4]	○ 金属拡張系アンカー ・ 接着系アンカー								

6 あ と 施 工 ア ン カ ー 工 事	1	あ と 施 工 ア ン カ ー [8. 2. 4]	<table border="1"> <tr> <th colspan="6">金属拡張アンカー</th> </tr> <tr> <th>本体径 (mm)</th> <th>埋め込み深さ (mm)</th> <th>セット方式</th> <th>ダボ筋の種類</th> <th>径 (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>10</td> <td>50</td> <td>本体打ち込み式</td> <td>異形</td> <td>10</td> <td>40d</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>"</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>"</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・接着系アンカー</p> <table border="1"> <tr> <th>接着剤の材質</th> <th>カプセルの種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>あと施工アンカーは「社」日本建築あと施工アンカー協会の品質判定表の性能を満足するものとする</p>	金属拡張アンカー						本体径 (mm)	埋め込み深さ (mm)	セット方式	ダボ筋の種類	径 (mm)	長さ (mm)	10	50	本体打ち込み式	異形	10	40d			"	"					"	"			接着剤の材質	カプセルの種類		
	金属拡張アンカー																																				
	本体径 (mm)	埋め込み深さ (mm)	セット方式	ダボ筋の種類	径 (mm)	長さ (mm)																															
10	50	本体打ち込み式	異形	10	40d																																
		"	"																																		
		"	"																																		
接着剤の材質	カプセルの種類																																				
2	あ と 施 工 ア ン カ ー の 試 験 [8. 10. 4]	<p>性能確認試験 ※行わない ・行う</p> <p>施工確認試験 ・行う ・行わない</p> <table border="1"> <tr> <td>アンカー径 (mm)</td> <td>1口当たり試験体の数 (本)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	アンカー径 (mm)	1口当たり試験体の数 (本)																																	
アンカー径 (mm)	1口当たり試験体の数 (本)																																				
3	施 工 管 理 技 術 者 [8. 10. 1]	<p>適用する</p> <p>(注) 日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー管理技術士」の資格以上の能力を有する者とする</p>																																			
8 コ ン ク リ ー ト 工 事	1	コ ン ク リ ー ト の 種 類 と 強 度 [8. 1. 3]	<p>※普通コンクリート</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 (F_o)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>※210 (kg/cm²)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・240 (kg/cm²)</td> <td></td> </tr> </table>	設計基準強度 (F _o)	適用箇所	※210 (kg/cm ²)		・240 (kg/cm ²)																													
	設計基準強度 (F _o)	適用箇所																																			
	※210 (kg/cm ²)																																				
	・240 (kg/cm ²)																																				
	2	レ ド ー ミ ス ト コ ン ク リ ー ト の 種 類 [8. 1. 3]	※I類 ・II類																																		
	3	コ ン ク リ ー ト の 仕 上 り [8. 1. 4]	<p>位置、断面形状の許容値は、[表8. 1. 2]による</p> <p>合板せき板を用いた打放し仕上げの種類は、仕上表及び図示による仕上りの平たんさは[表8. 1. 4]による</p>																																		
	4	コ ン ク リ ー ト 中 の 塩 化 物 量 [8. 1. 4]	0.30kg/m ³ 以下																																		
	5	混 和 材 料 [8. 2. 5]	<p>※混和剤 A E剤、A E減水剤、高性能A E減水剤</p> <p>・混和材 (・フライアッシュ ・高炉スラグ ・膨張材)</p>																																		
6	型 枠 の せ き 板 [8. 2. 6]	※合板 (厚さ12mm)																																			
7	既 存 部 分 の 撤 去 [8. 18. 2]	<p>既存仕上げの撤去 撤去範囲 ※図示</p> <p>既存躯体の撤去 撤去範囲 ※図示</p>																																			
8	コ ン ク リ ー ト の 打 設 [8. 18. 8]	打設工法の種類 ・圧入工法 ○ 流し込み工法																																			
8 鉄 骨 工 事	2	施 工 管 理 技 術 者 (7. 1. 4)	適用する																																		
	1	鉄 骨 製 作 工 場 [8. 1. 5]	・構造関係共通事項による工場 ・監督職員の手添うする工場																																		
	3	鋼 材 [8. 2. 7]	種類の記号 ()																																		
	4	高 力 ボ ルト [8. 2. 8]	※トルン形 ・JIS形 ・溶融亜鉛めっき高力ボルト																																		
	5	溶 接 の 検 査 [8. 13. 11]	適用する (※超音波探傷試験)																																		
	6	鋼 材 の 溶 融 亜 鉛 め っ き (7. 12. 3)	種別 (※表14. 2. 2)のA種 (軽量形鋼は、板厚によりB種・C種とする)																																		
	7	既 存 仕 上 げ の 撤 去 [8. 18. 2]	鉄骨ブレースの設置を行う場合に関連する既存仕上げ材の撤去範囲																																		
	8	既 存 部 分 目 荒 ら し [8. 18. 3]	<p>鉄骨ブレースが取り付く範囲の既存コンクリート面の目荒らしの程度</p> <p>※深さ5～10mm、1.00mm間隔程度</p>																																		
8 グ ラ ウ ト 工 事	1	グ ラ ウ ト 材 [8. 2. 10]	無収縮モルタル材 製造所 評価名簿による																																		
	2	構 造 施 工 用 モ ル タル [8. 2. 10]	<table border="1"> <tr> <th>圧縮強度 (kg/cm²)</th> <th>フロー値 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	圧縮強度 (kg/cm ²)	フロー値 (mm)																																
	圧縮強度 (kg/cm ²)	フロー値 (mm)																																			
3	柱 底 等 の 均 し モ ル タル [8. 2. 10]	無収縮モルタル材 ・使用する ・使用しない 製造所 評価名簿による																																			

8 住 居 改 修 工 事	1	既 存 仕 上 げ 材 の 撤 去 [8. 20. 2]	撤去範囲 ※図示																
	2	目 荒 ら し [8. 20. 3]	<p>既存躯体コンクリート面の打ち継ぎ面全般に行う</p> <p>※平均深さで0.5～1.0cm、最大深さで1.5cm程度の凹凸</p>																
8 耐 震 改 修 工 事	1	ス リ ット の 種 類 [8. 21. 1]	※完全スリット ・部分スリット 製造所 ()																
	2	ス リ ット の 充 填 材 [8. 21. 2]	<p>シーリング材 施工箇所は図示</p> <table border="1"> <tr> <th>耐火材の使用</th> <th>使用する</th> <th>使用しない</th> <th>遮音材の使用</th> <th>使用する</th> <th>使用しない</th> </tr> <tr> <td>施工箇所</td> <td>防火性能</td> <td>材 料</td> <td>施工箇所</td> <td>材 料</td> <td></td> </tr> </table>	耐火材の使用	使用する	使用しない	遮音材の使用	使用する	使用しない	施工箇所	防火性能	材 料	施工箇所	材 料					
耐火材の使用	使用する	使用しない	遮音材の使用	使用する	使用しない														
施工箇所	防火性能	材 料	施工箇所	材 料															
9 除 去 及 び 対 じ 込 め 工 事	1	施 工 業 者 [9. 3. 1]	「吹付けアスベスト初じん飛散防止処理技術」(民間開発建設技術の技術審査・証明事業確認規定(昭和62年7月28日建設省告示第1461号))の証明を有する工法の施工業者																
	2	処 理 工 法 [9. 5. 2] [9. 6. 2]	<p>※除去処理 産廃物の搬出 ・密封処理 ・固化処理</p> <p>・封じ込め処理 除去物及び汚染物の処理等 ・密封処理 ・固化処理</p>																
9 そ の 他	1	フ リ ー ア ク セ ス フ ロ ー (29. 2. 4)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>図示</th> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>○パネル構法 ・清構法 ・パネル構法 ・清構法</td> </tr> <tr> <td>地震時水平力</td> <td>○1. 0G ・0. 6G ・1. 0G ・0. 6G</td> </tr> <tr> <td>耐荷重性能</td> <td>※3000N ・5000N ・3000N ・5000N</td> </tr> <tr> <td>高さ (mm)</td> <td>・50mm以下</td> </tr> <tr> <td>パネル要素の材質</td> <td></td> </tr> <tr> <td>床仕上げ材</td> <td>※タイルカーペット (※A種 ・B種) ※帯電防止ビニル床タイル</td> </tr> <tr> <td>ホーダー部及びスロープ</td> <td>※メーカー仕様 ・図示 ※メーカー仕様 ・図示</td> </tr> </table> <p>製造所 評価名簿による</p>	施工箇所	図示	構造	○パネル構法 ・清構法 ・パネル構法 ・清構法	地震時水平力	○1. 0G ・0. 6G ・1. 0G ・0. 6G	耐荷重性能	※3000N ・5000N ・3000N ・5000N	高さ (mm)	・50mm以下	パネル要素の材質		床仕上げ材	※タイルカーペット (※A種 ・B種) ※帯電防止ビニル床タイル	ホーダー部及びスロープ	※メーカー仕様 ・図示 ※メーカー仕様 ・図示
	施工箇所	図示																	
構造	○パネル構法 ・清構法 ・パネル構法 ・清構法																		
地震時水平力	○1. 0G ・0. 6G ・1. 0G ・0. 6G																		
耐荷重性能	※3000N ・5000N ・3000N ・5000N																		
高さ (mm)	・50mm以下																		
パネル要素の材質																			
床仕上げ材	※タイルカーペット (※A種 ・B種) ※帯電防止ビニル床タイル																		
ホーダー部及びスロープ	※メーカー仕様 ・図示 ※メーカー仕様 ・図示																		
2	ブ ラ イ ン ド (23. 2. 6)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>○横型ブラインド</th> <th>・縦型ブラインド (防火性能を有するもの)</th> </tr> <tr> <td>スラットの材質</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> </tr> <tr> <td>ブラインドの種類</td> <td>※ギア式 ・コード式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラットの幅 (mm)</td> <td>※25 ・35</td> <td>・75以上 ・100</td> </tr> </table>	形式	○横型ブラインド	・縦型ブラインド (防火性能を有するもの)	スラットの材質	アルミニウム合金製	・アルミスラット ・クロススラット	ブラインドの種類	※ギア式 ・コード式		スラットの幅 (mm)	※25 ・35	・75以上 ・100					
形式	○横型ブラインド	・縦型ブラインド (防火性能を有するもの)																	
スラットの材質	アルミニウム合金製	・アルミスラット ・クロススラット																	
ブラインドの種類	※ギア式 ・コード式																		
スラットの幅 (mm)	※25 ・35	・75以上 ・100																	
3 表 示 工 事 (23. 2. 10)	1	家 内 板 ・庁 舎 家 内 板 (※標準詳細図による ・図示による)	<p>・視覚障害者用案内板 (※共通詳細図による ・図示による)</p> <p>・室名札 ※標準詳細図による ・市販品 (製造所・品番)</p> <p>・ピクトグラフ ※標準詳細図による ・市販品 (製造所・品番)</p> <p>・序名文字 ※共通詳細図による ・市販品 (製造所・品番)</p> <p>・切欠文字 (ステンレス製・黄銅製) ・箱文字 (ステンレス製・黄銅製)</p> <p>字種 () 文字の大きさ () 号</p>																
	2	点 検 口	<p>天井 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ※450×450・600×600</p> <p>形式 ・網線タイプ ・目地タイプ</p> <p>製造所 評価名簿による</p>																
5 階 段 手 す り 笠 木	1	ビ ニ ル 製	製造所 鋼アトラス (階段手すり) ・ナカ工業 (ナカハンドレール) 同等																
	2	天 井 見 切 り 縁	材質 ※アルミニウム既製品 ○ビニル既製品																
7 視 覚 障 害 者 用 誘 導 フ ロ ウ	1	材 種	・コンクリート製 (厚さ60mm) ○磁器質タイル製 ○内部ビニル製																

8 ア ス ベ ス ト 成 形 板 の 処 理 等	9	化 粧 ケ イ カ ル 板	処理を行うアスベスト成形板の仕様 ・石綿スレート ○石棉セメントけい酸カルシウム板																																								
	10	ギ ヤ ・ト イ ・樹 脂 格 子 ・パ ネ ル	<p>施工調査</p> <p>アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は、図面により記録し、監督職員に提出する。</p> <p>(1) アスベスト成形板使用部位の確認</p> <p>(2) アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認</p> <p>(3) アスベスト成形板使用数量の確認</p> <p>(4) 施工範囲等の確認</p> <p>ウレタン塗装品 (工場塗装)</p>																																								
1 既 設 改 修	1	改 修 工 事 に は 、 塗 膜 制 層 、 下 地 調 整 、 錆 止 め 等 を 含 む	仕様図示																																								
	2	改 修 工 事 に は 、 塗 膜 制 層 、 下 地 調 整 、 錆 止 め 等 を 含 む	改修工事には、塗膜制層、下地調整、錆止め等を含む																																								
外壁改修フロー及び数量																																											
・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合																																											
<table border="1"> <tr> <th colspan="4">外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)</th> </tr> <tr> <td>旧仕上げ材の撤去</td> <td>全面</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ひび割れ修繕</td> <td>欠損部修繕</td> <td>シーリング修繕</td> <td></td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法 (注1)</td> <td>リカトリート剤 充てん工法</td> <td>シール工法</td> <td>シーリング修繕</td> </tr> <tr> <td>A) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下地調整材</td> <td>全面</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仕上げ材仕上げ</td> <td>全面</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> </table>				外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)				旧仕上げ材の撤去	全面	※図示		ひび割れ修繕	欠損部修繕	シーリング修繕		樹脂注入工法 (注1)	リカトリート剤 充てん工法	シール工法	シーリング修繕	A) m				B) m				C) m				D) m				下地調整材	全面	※図示		仕上げ材仕上げ	全面	※図示	
外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)																																											
旧仕上げ材の撤去	全面	※図示																																									
ひび割れ修繕	欠損部修繕	シーリング修繕																																									
樹脂注入工法 (注1)	リカトリート剤 充てん工法	シール工法	シーリング修繕																																								
A) m																																											
B) m																																											
C) m																																											
D) m																																											
下地調整材	全面	※図示																																									
仕上げ材仕上げ	全面	※図示																																									
・モルタル塗り仕上げ外壁の場合																																											
<table border="1"> <tr> <th colspan="4">外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)</th> </tr> <tr> <td>旧仕上げ材の撤去</td> <td>全面</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ひび割れ修繕</td> <td>欠損部修繕</td> <td>浮き部修繕</td> <td>シーリング修繕</td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法 (注1)</td> <td>リカトリート剤 充てん工法</td> <td>シール工法</td> <td>シーリング修繕</td> </tr> <tr> <td>A) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下地調整材</td> <td>全面</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仕上げ材仕上げ</td> <td>全面</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> </table>				外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)				旧仕上げ材の撤去	全面	※図示		ひび割れ修繕	欠損部修繕	浮き部修繕	シーリング修繕	樹脂注入工法 (注1)	リカトリート剤 充てん工法	シール工法	シーリング修繕	A) m				B) m				C) m				D) m				下地調整材	全面	※図示		仕上げ材仕上げ	全面	※図示	
外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)																																											
旧仕上げ材の撤去	全面	※図示																																									
ひび割れ修繕	欠損部修繕	浮き部修繕	シーリング修繕																																								
樹脂注入工法 (注1)	リカトリート剤 充てん工法	シール工法	シーリング修繕																																								
A) m																																											
B) m																																											
C) m																																											
D) m																																											
下地調整材	全面	※図示																																									
仕上げ材仕上げ	全面	※図示																																									
・タイル張り仕上げ外壁の場合																																											
<table border="1"> <tr> <th colspan="4">外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)</th> </tr> <tr> <td>旧仕上げ材の撤去</td> <td>全面</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ひび割れ修繕</td> <td>欠損部修繕</td> <td>浮き部修繕</td> <td>目地修繕</td> </tr> <tr> <td>樹脂注入工法 (注1)</td> <td>リカトリート剤 充てん工法</td> <td>シール工法</td> <td>目地修繕</td> </tr> <tr> <td>A) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>D) m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>下地調整材</td> <td>全面</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>仕上げ材仕上げ</td> <td>全面</td> <td>※図示</td> <td></td> </tr> </table>				外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)				旧仕上げ材の撤去	全面	※図示		ひび割れ修繕	欠損部修繕	浮き部修繕	目地修繕	樹脂注入工法 (注1)	リカトリート剤 充てん工法	シール工法	目地修繕	A) m				B) m				C) m				D) m				下地調整材	全面	※図示		仕上げ材仕上げ	全面	※図示	
外 壁 調 査 (施 工 数 量 調 査)																																											
旧仕上げ材の撤去	全面	※図示																																									
ひび割れ修繕	欠損部修繕	浮き部修繕	目地修繕																																								
樹脂注入工法 (注1)	リカトリート剤 充てん工法	シール工法	目地修繕																																								
A) m																																											
B) m																																											
C) m																																											
D) m																																											
下地調整材	全面	※図示																																									
仕上げ材仕上げ	全面	※図示																																									

工事区分表

区分は○印を適用する。●印がある場合は●印を適用する。

項目	電気 配 力	通 信	機 械	配 管	備 考	項目	電気 配 力	通 信	機 械	配 管	備 考	項目	電気 配 力	通 信	機 械	配 管	備 考	
																		項目
躯体関係						躯体関係						仕上げ関係						
①.RC造 (梁・壁・床)の 貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	●	●	●	4.昇降機関連	機械室換気設備工事			○		⑤ 湯沸室廻り	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台	●				
	貫通スリーブの補強	○					機械室照明設備工事			○			湯沸器			●	●	
	開口補強を要する型 枠材及び取り付け	●	●	●	●		電源及び接地線工事			○			既製品レンジフード換気扇				○	
	開口部の補強	●					機械室・ビットの点検用コンセント			○			現場製作SUSフード	○				
	開口補強を要しない型 枠材及び取り付け	●	●	●	●		煙感知器設置工事			○			ミニキッチン本体	●				
	貫通孔・開口部の墨出し	○	●	●	●		停電時非常電源識別接点引込み工事			○			ミニキッチン用換気送風機・ダクト			●		
	スリーブ・型 枠の穴埋め	○	●	●	●		火災時識別リレー接点引込み工事			○			ミニキッチン用衛生配管				●	
2.S・SRC造 (梁・壁・床)の 貫通孔・開口部	S・SRC造鉄骨貫通鋼管スリーブ・補強	○				4.昇降機関連	放送用信号線引込み工事			○		6.便所廻り	洗面カウンター (既製品)			○		
	開口補強を要する型 枠材及び取り付け	○	○	○	○		インナーホン・エレベーター監視盤の昇降路外配管工事			○			洗面カウンター (既製品以外)	●				
	開口部の補強	○					同上配線工事				○		鏡 (規格寸法品)				●	
	開口補強を要しない型 枠材及び取り付け	○	○	○	○		ビット点検用タラップ				○		鏡 (規格寸法以外)	○				
	貫通スリーブ	○	○	○	○		乗り場敷居受け	○					衛生陶器及び水栓類				●	
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○		エレベーター監視盤への電源引込み工事	○					身障用手すり・ペーパーホルダー				●	
	スリーブ・型 枠の穴埋め	○	○	○	○								既製品カウンターと建築部材とのコーキング	●				
③ 設備機器の基礎	屋上設置の基礎	●				仕上げ関係						7.浴室廻り	エントバス・エントシャワー			○		
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの	○	○	○	○	① 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	●					既製品浴槽 (風呂蓋含む)			○		
	室内設置の基礎	●					補強を要しないボードの切り込み	●					浴槽・洗い場の排水金物			○		
	室内設置の基礎 (電気・自家発電)	○				開口部の墨出し		●	●	●	●		洗濯機パン			○		
	受水槽基礎	○				リブ天井仕上げ材の器具廻り補修	○						ドアガラリ及びアンダーカット	●				
	屋外設置の基礎	○											OAフロア切り込み及び補強	●				
	機器取り付け用アンカー・架台	○	○	○	○	② 既製間仕切り	切り込み及び補強	●										
設備機器メンテナンス歩廊	○				位置ボックス		●	○		各工専用	⑧ 事務室廻り	2重ビット及びトレンチのマンホール蓋	○					
4.昇降機関連	昇降路及び機械室の床造	○				③ つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
	各階出入口三方枠及び位置表示器・乗場ボタン取付け 用開口部の仮枠穴開け工事	○					S造設備吊りボルト用構造部材											
	三方枠・出入口扉				○	4.外壁廻り	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○					⑨ その他	化粧マンホール上蓋及び蓋の仕上	○			
	乗場機器取付け後の壁・床・天井仕上げ工事	○					ウエザーカーバー、バンドキャップ			●				点検口 (天井・床下・壁)	●			
	ビットの防水仕上げ工事	○					換気扇			●				排煙口等の天井仕上材の取付け			○	
	機械室のシンダーコンクリート打設及び防塵塗装仕上げ	○					換気扇用枠			●				自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強	●			
	機械室床の機器搬入口の仮枠・補強及び復旧工事	○												消火器設置工事	●			消火器
機械室床のロープ用穴等の仮枠穴あけ工事	○										厨房用グリストラップ			○				
機械室天井のフック設置工事	○										トラフ・ビット類 (蓋を含む)	○						
機械室マシンビーム受け架設置工事	○										地下各水櫃躯体及び防水・マンホール・タラップ	○						
昇降路がRC造の時、軌条・中間ビームブラケット他 昇降路内の鉄製部材一式				○							A L C板・壁開口・補強	○						
昇降路がS造の時の中間ビームブラケット受けベース	○										油サービスタ ンクの防油堤	○						
											フリーアクセスフロア内の防水堤	○						

市民福祉会館改修工事 (建築工事)

設計図

図面名称 工事区分表1/2

Date

Scale

No

工事区分表

区分は○印を適用する。●印が有る場合は●印を適用する。

項目	電気 配管 方	電気 通 路	機械 配 管	ガス	備考	項目	電気 配管 方	電気 通 路	機械 配 管	ガス	備考	項目	電気 配管 方	電気 通 路	機械 配 管	ガス	備考
屋外排水設備・外構						電気配線配管											
1. 雨水	屋外雨水排水設備	○				機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)			○	○	○	2次側					
	樹及び樹蓋	○				機器付属の制御盤への電源供給配管配線	●					1次側					
	ルーフドレイン	○				自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線	●										
	雨水たて樋及び横引配管	○			保護のみ	自動扉への電源供給	●										
② 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			●		自動扉キースイッチ及び配管	●				配管のみ						
	樹及び樹蓋			●		自動扉本体及びキースイッチ以降の配線	○										
	化粧マンホール上蓋及び、蓋の仕上			●		電動シャッター-電源供給	●										
						電動シャッター-操作スイッチ用位置ボックス及び配管	●				配管のみ						
3. 煙突	煙突	○				電動シャッター-本体・操作スイッチ及びその間の配線	○										
	発電機室から煙突までの排気管	○				機器と付属操作スイッチの渡り配管	●										
	煙道接続用スリーブ	○				機器と操作スイッチの渡り配線				●	○						
4. 浄化槽の躯体	現場施工形	○				小便器用節水装置への電源供給	●										
	ユニット形			○		注油口内アース端子よりのアース用配管配線	●										
5. 地下貯油槽 (タンク室を 設ける場合)	タンク室の躯体	○				防火戸の運動制御器・煙感知器・吸着板・ラッチ受座の取付け	○										
	タンク室の乾燥砂充填		○			上記の配線			○								
	タンク室のタンク本体及び配管		○		自家発電用は電気	防火・防煙シャッター及び二次側配線	○	●									
	タンク室を設けない場合のタンク及び設置工事		○		自家発電用は電気	上記運動制御器・煙感知器の取付け及び配線		●									
6. その他	駐車場ガソリントラップ	○				防煙ダンパー				○							
						上記運動制御器・煙感知器の取付け及び配線			○								
						排煙口				○							
						上記運動制御器・煙感知器の取付け及び配線			○								
						電気盤への電源供給			○								
						避雷導体間の接続工事			○								

市民福祉会館改修工事(建築工事) 設計図

Date

図面名称 工事区分表2/2

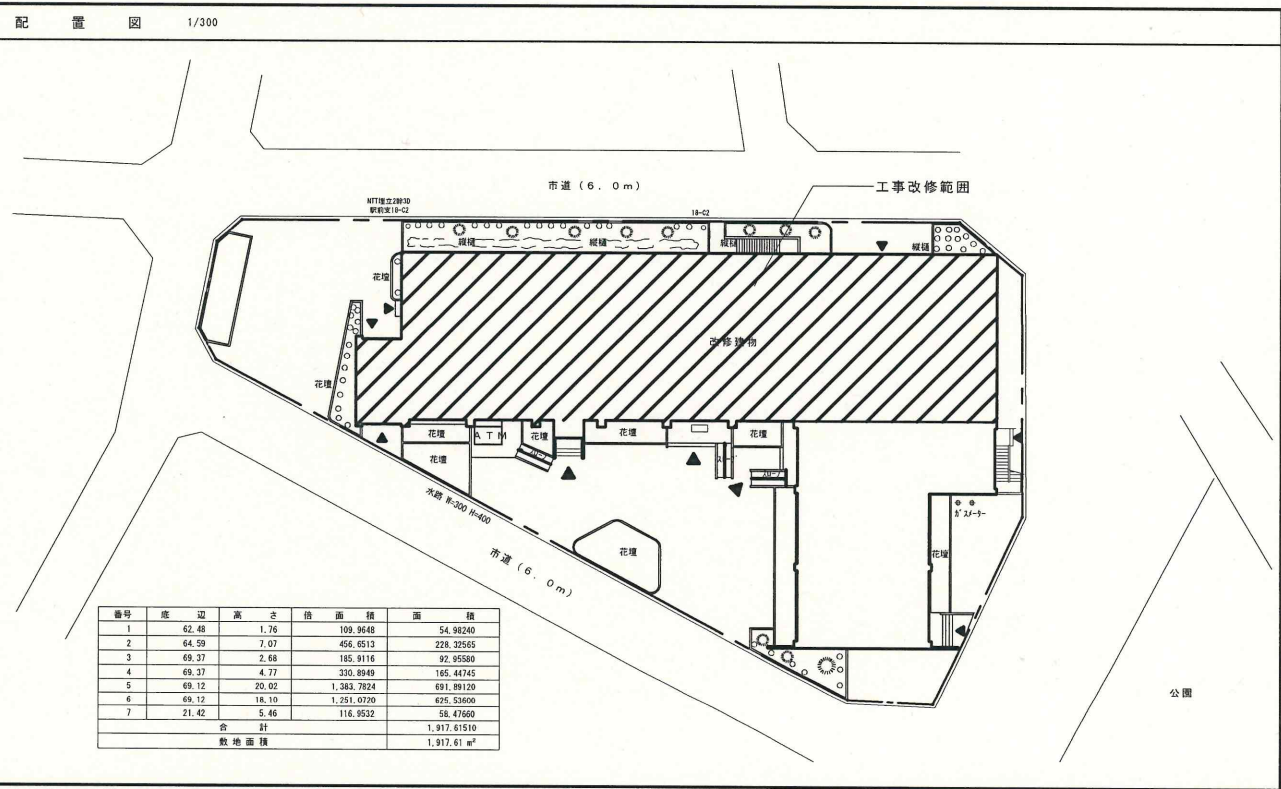
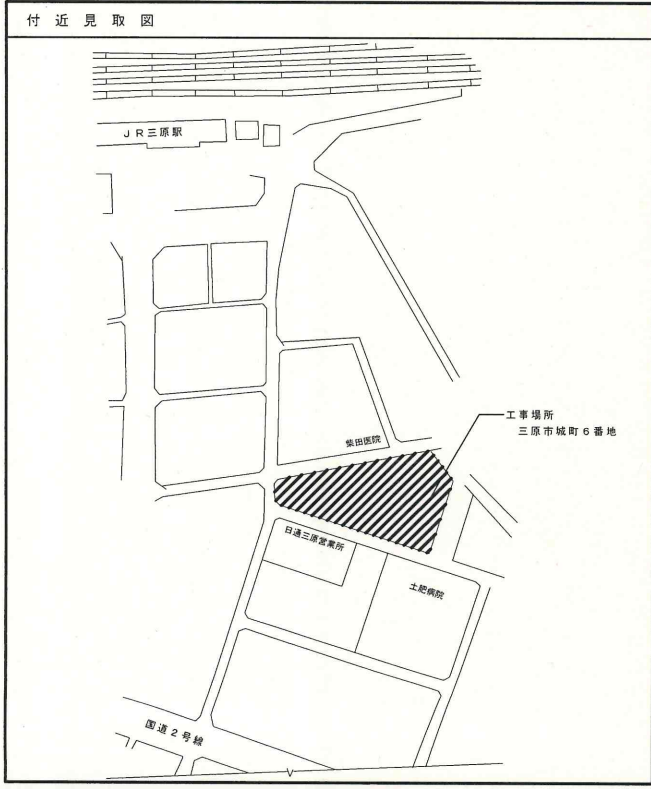
Scale

No.

5-2

建物概要		
工事名称	三原市市民福祉会館	各階床面積 (㎡)
建築主	三原市	R階 53,443
工事場所	広島県三原市城町6番地	5階 596,978
用途地域	商業地域 防火指定なし	4階 517,082
面積	敷地面積 1,917.61 ㎡	3階 673,963
	建築面積 1,099.06 ㎡	2階 673,963
	延床面積 3,671.851 ㎡	1階 992,262
建物概要	構造概要 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階 棟屋1階建て	地階 164,160
	基礎 A.H.S ^α 4打 (7-X ^α -3 ^α -施工)	計 3,671.851
	最高軒高 20.650m	
	最高高さ 24.900m	
	居室床高 0.400m	

一般事項				
下地略記号	塗装略記号	法定防火認定番号 (通則認定)		
C	コンクリート	SOP	合成樹脂調合ペイント	不燃
CB	コンクリートブロック	AEP	合成樹脂エマルジョンペイント	第1001号 石綿スレート 第2015号 石膏ボード t=9.0以上
ALC	軽量気泡コンクリート	VP	塩化ビニール樹脂エナメル	第1003号 石膏ボード t=12.0以上 第2016号 化粧石膏ボード t=9.0以上
LGS	軽量鉄骨	CL	クリアラッカー	第1004号 化粧石膏ボード t=9.0以上 第2017号 木毛セメント板
W	木造	OS	オイルステン	第1021号 岩綿吸音板 t=9.0以上
OK	コンクリート金ゴ字仕上			第1061号 石綿付不燃カルシウム板
MO	モルタル金ゴ字仕上			
GB	石膏ボード			難燃
RB	岩綿吸音板			
P	発泡プラスチック系床下地材			
壁装材料				
第0002号 織物壁紙				
第0003号 ビニール壁紙				
基材同等				
*配管等が防火区画を貫通する場合、第129条の2、及び告示3183号に準ずる				



内部仕上表 < 既設 >

内部仕上表 < 改修後 >

階	室名	床	巾木	腰				天井				備考	階	室名	床	巾木	腰				天井				備考	
				壁紙	壁紙	壁紙	壁紙	壁紙	天井高	天井高	天井高						天井高	天井高	天井高							
4	大広間(27帖)	畳敷き	畳寄せ		ジュラク塗		ジュラク塗		GB t=9.0 下地 ビニールクロス貼	難燃	2450		4	会議室(D)	畳及び木床組 撤去 Pタイル撤去 雑巾摺撤去の上 ベニヤ床組共 撤去の上	畳寄せ撤去 ワラ巾木撤去 ビニール巾木 H=100		ジュラ塗ワレにより撤去 Pタイル撤去の上 既設モタ調整の上 AEP塗 既設モタ VPの上 AEP塗 モタ AEP塗	ジュラ塗ワレにより撤去 ベニヤ撤去の上 既設モタ調整の上 AEP塗 既設モタ VPの上 AEP塗 モタ AEP塗	GB t=9.0 の上ビニールクロス 下地共撤去	ベニヤ撤去 シフト t=9.0 下地共撤去	2600	8-110-110, 顔縁は SOP塗替			
	路込	Pタイル貼	ワラ巾木 H=100		ジュラク塗		ジュラク塗		GB t=9.0 下地 ビニールクロス貼	難燃	2300			撤去の上 一部モタ下地 既設モタ下地 ビニール床シート t=2.0											点字タイル(塩ビ)	
	押入	ベニヤ	雑巾摺		ベニヤ		ベニヤ		ベニヤ		2450														点字付室名札 窓手摺取付 φ38 (スチール製 t=2)	
	会議室(D)	Pタイル貼	ワラ巾木 H=100		モタ	VP	モタ	VP	シフト t=9.0		2600															
	会議室(C)	Pタイル貼	ワラ巾木 H=100		モタ	VP	モタ	VP	シフト t=9.0		2600															
	男女浴室	757防水10-200 磁器モタ t=15 QS			100角色タイル貼		100角色タイル貼		石綿板 t=4.0	VP	2500 2300			4	会議室(C)	磁器モタ t=15 QSと モタ撤去 757防水撤去 Pタイル撤去 モタ下地 既設モタ下地 ビニール床シート t=2.0	100角タイル撤去 ワラ H=60 撤去 ワラ巾木撤去 モタ下地 既設モタ下地 ビニール巾木 H=100	100角タイル撤去 既設モタ AEP塗 既設モタ VPの上 AEP塗 モタ AEP塗	100角タイル撤去 (脱衣櫃撤去) 既設モタ AEP塗 既設モタ VPの上 AEP塗 モタ AEP塗	石綿板 t=4.0 下地共撤去		2600	顔縁は SOP塗替 点字タイル(塩ビ) 点字付室名札			
	脱衣室	757防水10-200 磁器モタ t=15 QS	ワラ H=60	OS	モタ	VP	モタ	VP	石綿板 t=4.0	VP	2150	脱衣櫃														脱衣櫃・洗面器撤去後 岩綿吸音板 t=12.0
	路込	Pタイル貼	ワラ巾木 H=100		モタ	VP	モタ	VP	石綿板 t=4.0	VP	2300															既設モタの上 AEP塗
	予備室	Pタイル貼	ワラ巾木 H=100		モタ	VP	モタ	VP	シフト t=9.0		2600			4	会議室(A)	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ワラ巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	既設モタ VPの上 AEP塗	既設モタ VPの上 AEP塗	シフト t=9.0 下地共撤去	2600	VB*タイル, 顔縁は SOP塗替				
	和室(6帖)C 和室(6帖)D 和室(12帖)B	畳敷き	畳寄せ		ジュラク塗		ジュラク塗		GB t=9.0 下地 ビニールクロス貼	難燃	2450			4	和室(12帖)A 和室(12帖)B	畳及び木床組共 撤去の上 ワラ下地 畳 t=55 床組下地 757防水 t=12.0	畳寄せ撤去の上 畳寄せ新設	ジュラ塗ワレにより撤去 の上 既設モタ下地 GB t=12.5 下地 モタ下地 ビニールクロス	ジュラ塗ワレにより撤去 の上 既設モタ下地 GB t=12.5 下地 モタ下地 ビニールクロス	GB t=9.0 の上ビニールクロス 下地共撤去の上 LGS 下地新設の上 GB t=9.5 下地 ビニールクロス	2450	8-110-110 白木 新設 点字タイル(塩ビ) 点字付室名札				
	路込	Pタイル貼	ワラ巾木 H=100		ジュラク塗		ジュラク塗		GB t=9.0 下地 ビニールクロス貼	難燃	2300			路込	Pタイル撤去の上 既設モタ下地 一部モタ下地 ビニール床シート t=2.0	ワラ巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	ジュラ塗ワレにより撤去 の上 既設モタ下地 GB t=12.5 下地 モタ下地 ビニールクロス	ジュラ塗ワレにより撤去 の上 既設モタ下地 GB t=12.5 下地 モタ下地 ビニールクロス	GB t=9.0 の上ビニールクロス 下地共撤去の上 LGS 下地新設の上 GB t=9.5 下地 ビニールクロス	2300						
	押入	ベニヤ	雑巾摺		ベニヤ		ベニヤ		ベニヤ		2450				押入	ベニヤ床組共撤去 木床組下地 ベニヤ t=9.0	雑巾摺撤去の上 雑巾摺新設	ベニヤ撤去の上 ベニヤ t=5.0 新設	ベニヤ撤去の上 ベニヤ t=5.0 新設	木天井下地 新設の上 ベニヤ t=4.0	2450	中段、扶欄				
会議室(B)	Pタイル貼	ワラ巾木 H=100		モタ下地 ビニールクロス貼	難燃	モタ下地 ビニールクロス貼	難燃	GB t=9.0 下地 ビニールクロス貼	難燃	2600			4	会議室(B)	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ワラ巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	ビニールクロス撤去の上 既設モタ AEP塗	ビニールクロス撤去の上 既設モタ AEP塗	GB t=9.0 の上ビニールクロス 下地共撤去の上 LGS 下地新設の上 GB t=9.5 下地 岩綿吸音板 t=12.0	2600	VB*タイル, 顔縁は SOP塗替					
事務室	Pタイル貼	ワラ巾木 H=100		モタ	VP	モタ	VP	シフト t=9.0		2600	受付カウンター															
リネン庫	Pタイル貼	ワラ巾木 H=100		モタ	VP	モタ	VP	シフト t=9.0		2600	棚															
男子便所	757防水 押えコンクリート モタ 磁器モタ t=15 QS			100角タイル貼 H=1900		モタ	VP	石綿板 t=4.0 目透し覆り	VP	2300				男子便所	モタのみ撤去 一部モタは はつり部 コンクリート打設し 下地調整後 磁器モタ ビニール床シート t=2.0	100角タイルのみ撤去の上 ビニール巾木 H=70	100角タイル H=1900のみ 撤去の上 モタ補修の上 覆層塗材 E 新設モタの上 覆層塗材 E	既設モタ VPの上 一部モタ AEP塗 LGS w=65下地新設 GB t=9.5+12.5の上 AEP塗	既設モタ VPの上 AEP塗 一部モタ AEP塗 LGS w=65下地新設 GB t=9.5+12.5の上 AEP塗	石綿板 t=4.0 下地共撤去の上 LGS 下地新設の上 化粧石膏ボード t=9.5	2300	顔縁は SOP塗替 既設イレブ*ス 撤去の上 イレブ*ス:ポリ合板 フラッシュ 新設 ビニールクロス				
女子便所	757防水 押えコンクリート モタ 磁器モタ t=15 QS			100角タイル貼 H=1900		モタ	VP	石綿板 t=4.0 目透し覆り	VP	2300				女子便所	モタのみ撤去 一部モタは はつり部 コンクリート打設し 下地調整後 磁器モタ ビニール床シート t=2.0	100角タイルのみ撤去の上 ビニール巾木 H=70	100角タイル H=1900のみ 撤去の上 モタ補修の上 覆層塗材 E 新設モタの上 覆層塗材 E	既設モタ VPの上 一部モタ AEP塗 LGS w=65下地新設 GB t=9.5+12.5の上 AEP塗	既設モタ VPの上 AEP塗 一部モタ AEP塗 LGS w=65下地新設 GB t=9.5+12.5の上 AEP塗	石綿板 t=4.0 下地共撤去の上 LGS 下地新設の上 化粧石膏ボード t=9.5	2300	顔縁は SOP塗替 既設イレブ*ス 撤去の上 イレブ*ス:ポリ合板 フラッシュ 新設 ビニールクロス				
洗面所	リリム貼	ワラ巾木 H=100		モタ	VP	モタ	VP	シフト t=9.0		2600				身障者便所	リリム撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ワラ巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	既設モタ VPの上 AEP塗 モタ AEP塗 LGS w=65下地新設 GB t=9.5+12.5の上 AEP塗	既設モタ VPの上 AEP塗 モタ AEP塗 LGS w=65下地新設 GB t=9.5+12.5の上 AEP塗	シフト t=9.0 下地共撤去の上 LGS 下地新設の上 化粧石膏ボード t=9.5	2600	VB*タイル, 顔縁は SOP塗替					
廊下	Pタイル貼	防水モタ H=100		モタ	VP	モタ	VP	シフト t=9.0		2300				廊下	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ワラ巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	既設モタ VPの上 AEP塗 LGS w=65下地新設 GB t=9.5+12.5 の上 AEP塗	既設モタ VPの上 AEP塗 LGS w=65下地新設 GB t=9.5+12.5 の上 AEP塗	シフト t=9.0 下地共撤去 LGS 下地新設の上 化粧石膏ボード t=9.5	2300	VB*タイル, 顔縁は SOP塗替 防火シャッター取替 シャッター廻り天井修繕					

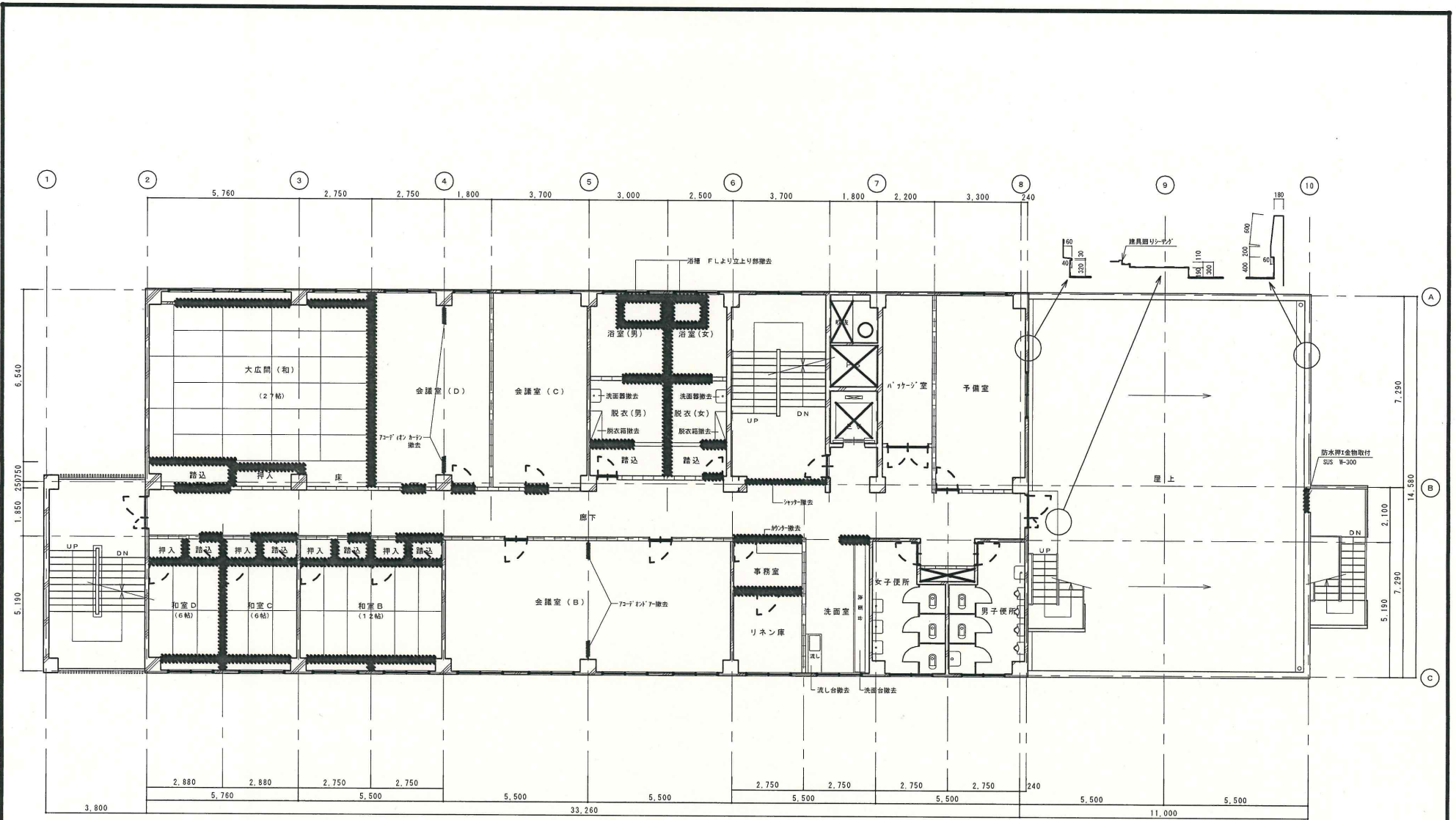
市民福祉会館改修工事(建築工事) 設計図

Date

図面名称

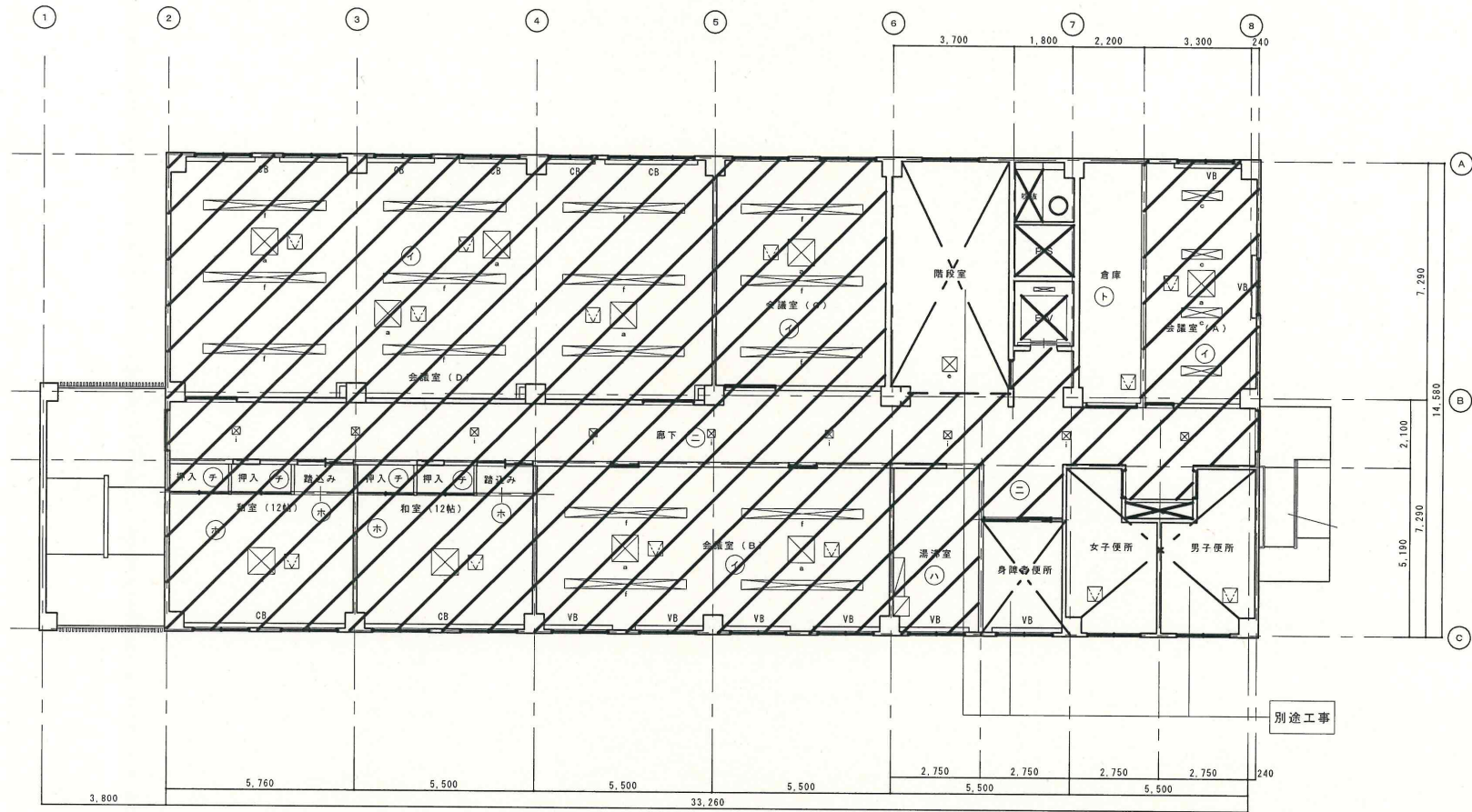
4階内部仕上表

Scale No



- 凡例
- コンクリート壁
 - コンクリートブロック壁
 - 軽量鉄骨壁
 - 木造壁
 - 撤去を示す

	市民福祉会館改修工事（建築工事） 設計図			図面名称
	Date			4階平面図（既設）
				Scale 1/100
				No. 9



仕上

記号	仕上	記号	仕上
イ	LGS 下地 GB t=9.5 捨張り 岩綿吸音板 t=12.0	子	木 天井下地 ペニヤ t=4.0
ロ	既設 木天井下地 プライマ'タス' 杉貼紙		
ハ	LGS 下地 杉板 t=5.0 VP差		
ニ	LGS 下地 化粧石膏'ト' t=9.5		
ホ	LGS 下地 GB t=9.5 下地 t'-N'K'P'X	CB	カーテン'タス W=120
ヘ	既設 化粧 VPの上 AEP差	VB	プライマ'タス W=120
ト	既設 のまま	▽	天井点検口 450□

天井開口補強リスト

記号		記号	
ア	820×820	イ	300×2500
カ	820×1110	ロ	250×250
ク	300×1250	ハ	220×10060
ケ	200×1250	ニ	220×6660
コ	450×450		
サ	300×3750		
セ	640×1350	チ	225φ

凡例



市民福祉会館改修工事 (建築工事)

設計図

Date

図面名称

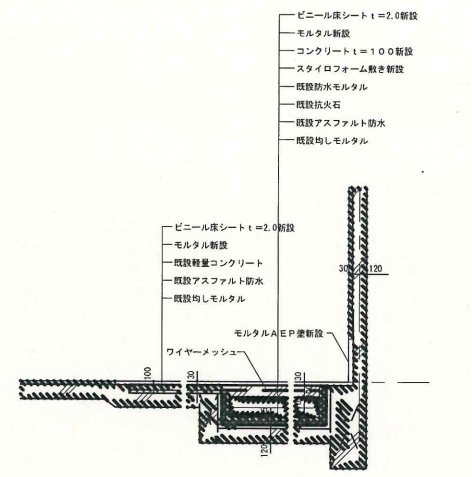
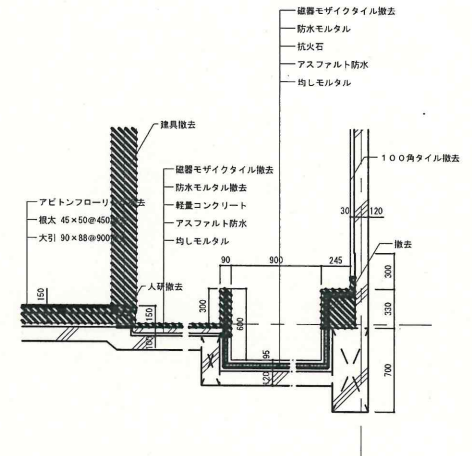
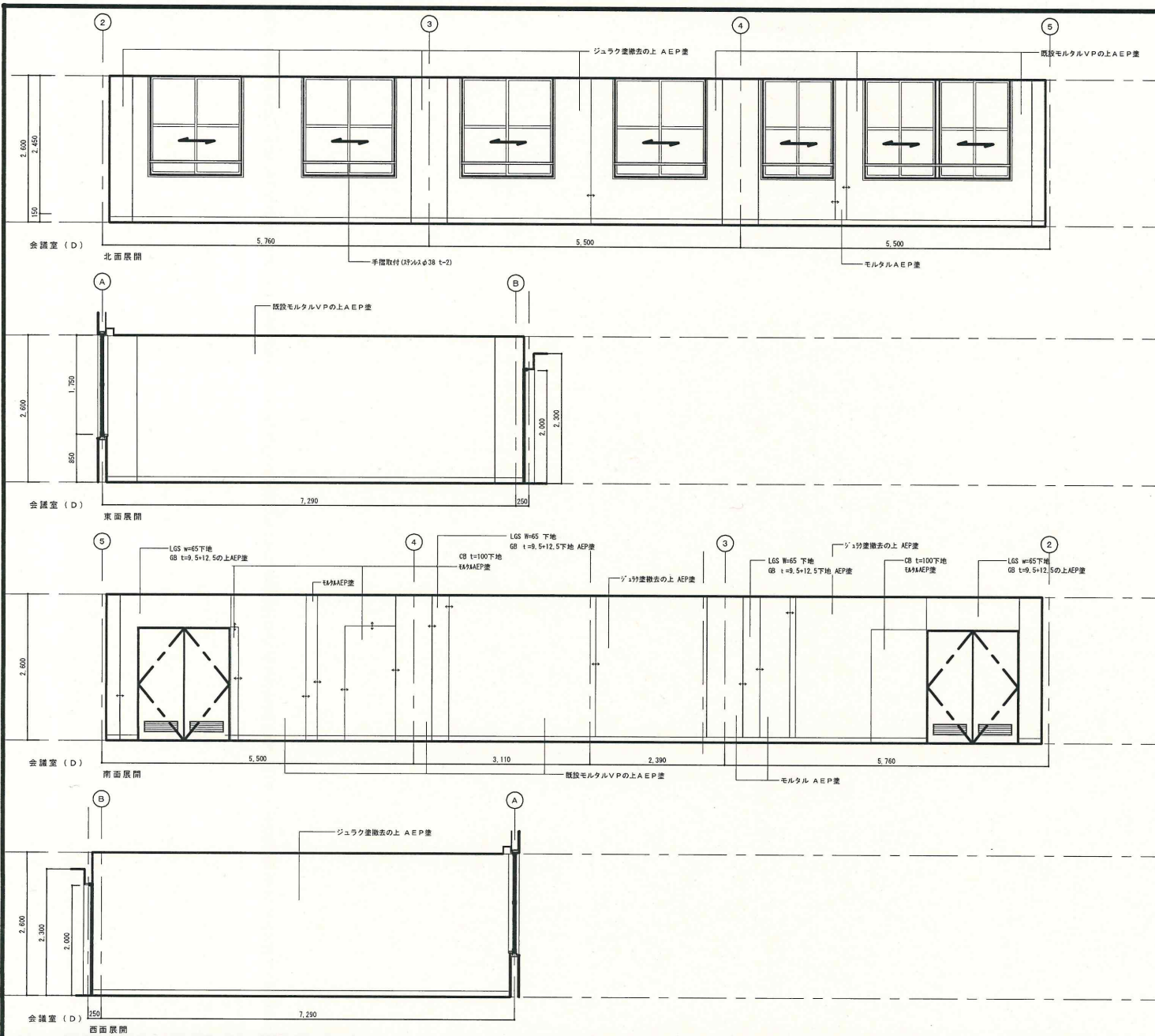
4階天井伏図 (改修後)

Scale
1/100

No.
10

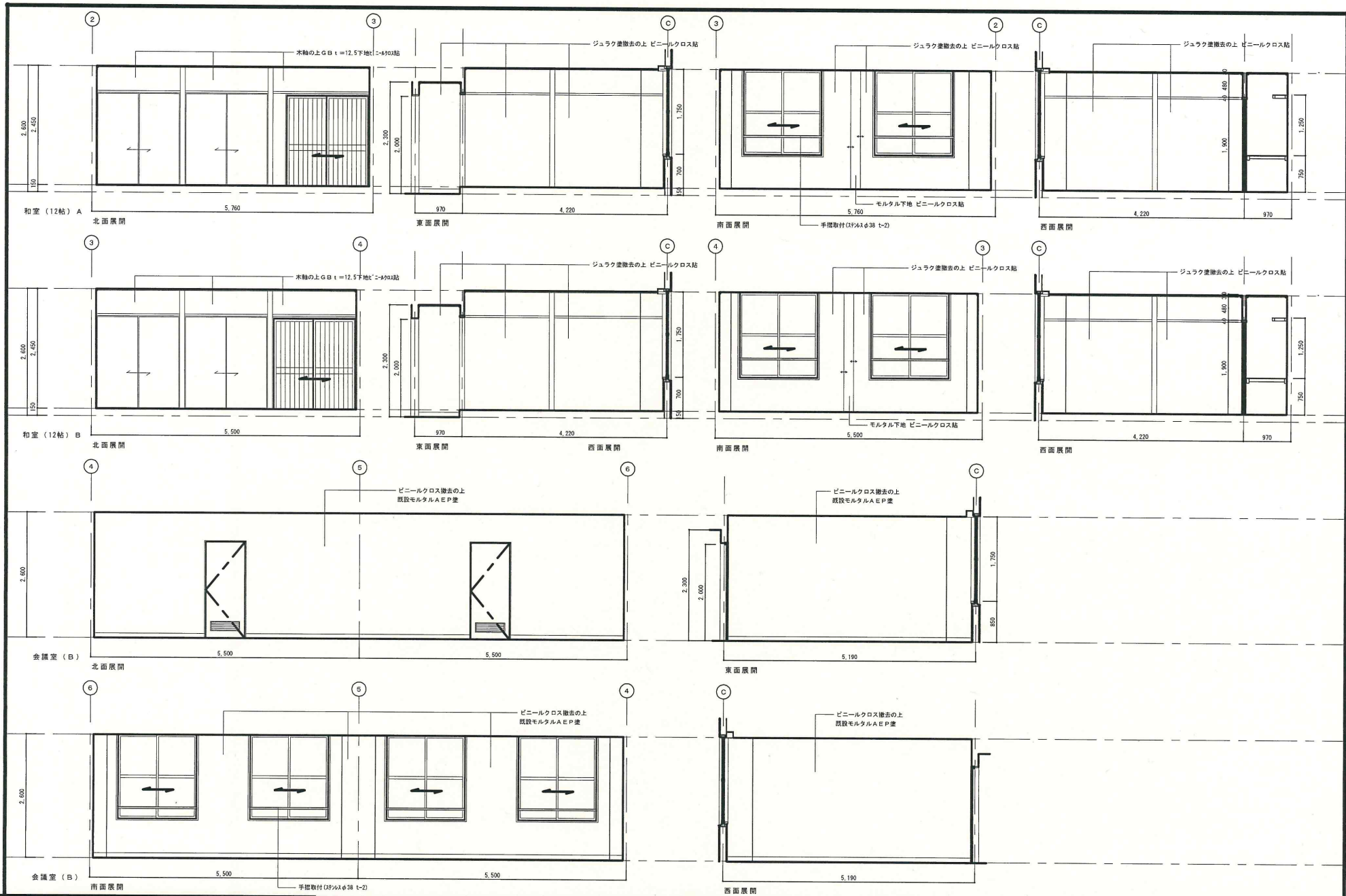
符号	名称	(2) SS 防火防煙シャッター (甲種)	(1) WD 木製片開き戸	(3) WD 木製三方枠	(4) WD 木製両開き戸	(6) WD 引違い格子戸	(4) WD 引違い機	(1) D 鋼製軽量片引戸 (片面戸袋付)
形状								
寸法		2,900 x 2,300	800 x 2,000	800 x 2,000	1,600 x 2,000	1,690 x 2,000	1,700 x 1,900	1,080 x 2,200
場所	数量	階段室 1	便所 2	湯沸室 1	会議室 (C、D) 3	和室 (12帖) 2	押入 4	身障者便所 1
材質	仕上	ステンール SOP	木製	木製 SOP	木製	木製 スプルスCL	木製	鋼製
ガラス	見込 (ア)		F-4.0	40	129	40	F-4.0	30
統括の材質及び形状								
金具		引違いレール、シャッターケース、煙感知器運動	スリット下番 (100)3枚吊、シリツグ-木締錠	戸当り、D.C.	スリット下番3枚吊、シリツグ-木締錠	戸当り、フタス落し、D.C.	引手	SOS引棒、エンドストッパ、フタス落し
符号	名称	(4) SD 鋼製片開き扉 (防火戸)	(9) AD アルミ製親子ドア	(9) SD 鋼製両開き扉	(2) WD 木製片開き戸	(9) SD 鋼製片開き扉 (防火戸)	(6) SD 鋼製両開き格子扉	
形状								
寸法		600 x 1,200	400 x 800 x 1,200	750 x 750 x 1,500	100 x 800 x 1,200	800 x 2,100	750 x 750 x 1,500	
場所	数量	PS 1	階段 2	倉庫 1	会議室 (A、B) 3	階段室 1	倉庫 1	
材質	仕上	ステンール	アルミ	ステンール SOP	木製	ステンール	ステンール	
ガラス	見込 (ア)	100	P-5.0	70	40	100	100	
統括の材質及び形状								
金具			ビス、フタス落し、D.C.、取手、箱錠	スリット下番 (100)3枚吊、シリツグ-木締錠	スリット下番 (100)3枚吊、シリツグ-木締錠	戸当り、D.C.	格子フタス落し-@15、	
符号	名称	(5) AW アルミ製引き違い窓	(9) AW アルミ製引き違い窓	(11) AW アルミ製引き違い窓	(12) AW アルミ製引き違い窓	(13) AW アルミ製引き違い窓		
形状								
寸法		1,200 x 1,750	1,200 x 1,200	1,600 x 1,750	1,600 x 1,100	1,600 x 900		
場所	数量	会議室 (D) 1	会議室 (D) 1	会議室 (D) 1	便所 2	会議室 (A) 2		
材質	仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ		
ガラス	見込 (ア)	FL-3.0	70	FL-3.0、北側型-4.0	70	型-4.0	70	
統括の材質及び形状								
金具		クレセント、引手	クレセント、引手	クレセント、引手	クレセント、引手	クレセント、引手		

一般事項	1. 建具の符号と種類		2. ガラスの符号と種類		3. 統括の材質及び形状		4. 特記事項	
	符号	種類	符号	種類	符号	材質	形状	1. 扉玉の高さ FL + () mm
1. 各建具寸法は、全て枠内法を示す。	STD	ステンレス製扉	STS	ステンレス製シャッター	PW	網 (線) 入層ガラス (L)	S	ステンール
2. 本表には、造作器具の建具は含まない。	SD	ステンール製扉	SS	ステンール製シャッター	FW	網 (線) 入型ガラス (L)	ST	ステンレス
3. ドアの閉開方向は、平面図による。	AD	アルミ製扉	STG	ステンレス製ガラリ	HP	熱線吸収ガラス	A	アルミ
	WD	木製扉	SG	ステンール製ガラリ	FL	フロートガラス	HFW	熱線入熱線吸収ガラス
	TD	強化ガラス扉	AG	アルミ製ガラリ	TP	強化ガラス	HR S	熱線反射ガラス (HAR)
	STW	ステンレス製窓	WG	木製ガラリ	L	合わせガラス	HR B	熱線反射ガラス (HAR)
	SW	ステンール製窓	F	機	D	複層ガラス	W	木
	AW	アルミ製窓	FD	戸錠			B	ブロンズ
	WW	木製窓	S	鉄締子				

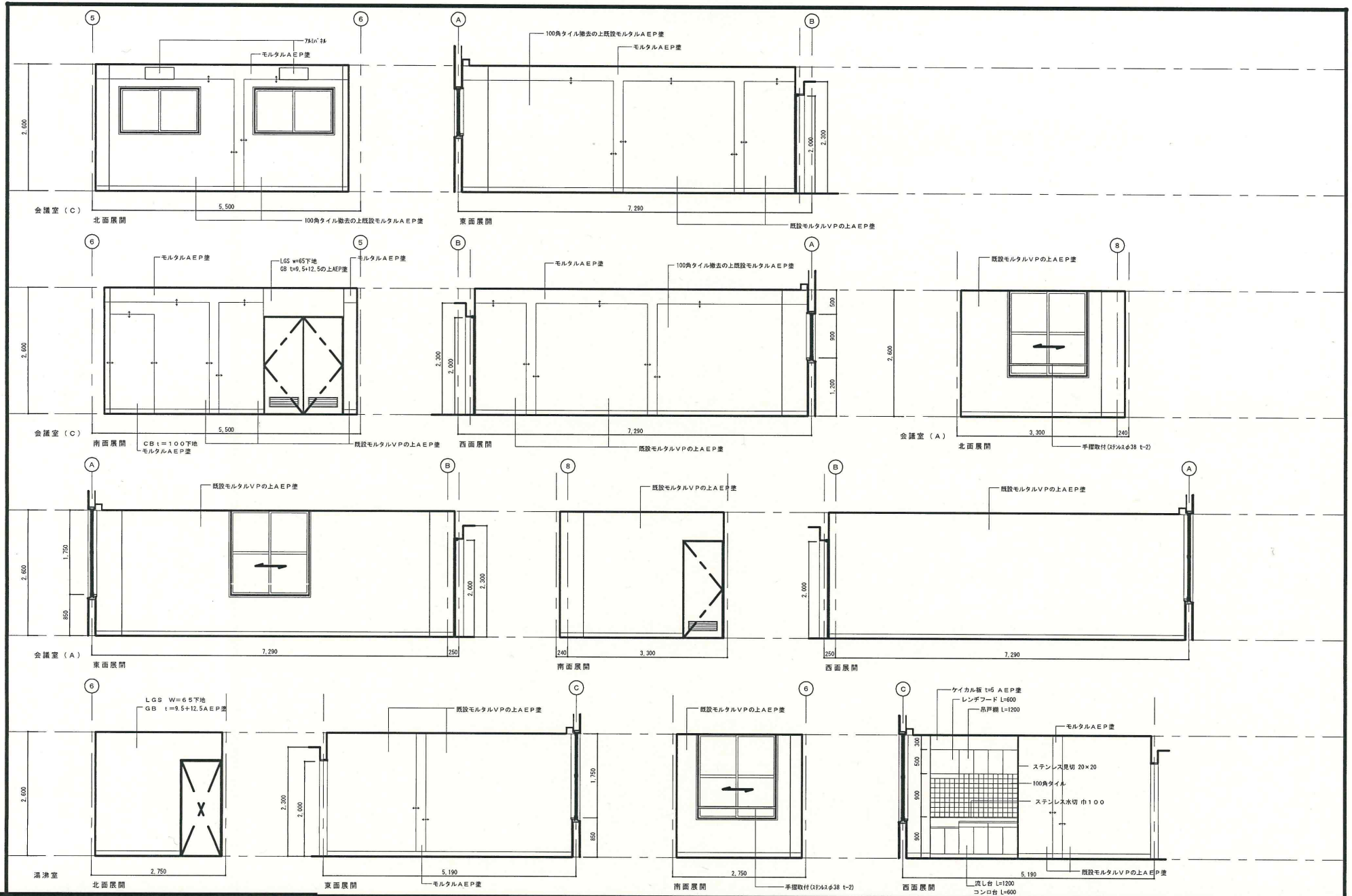


撤去を示す
 既設部分を示す

市民福祉会館改修工事 (建築工事) 設計図		図面名称	展開図 (4F-1) (改修後)
		Scale	No. 12
Date		1/50	



	市民福祉会館改修工事 (建築工事) 設計図		図面名称
	Date		展開図 (4F-2) (改修後)
		Scale	No.
		1/50	13



市民福祉会館改修工事 (建築工事) 設計図

Date

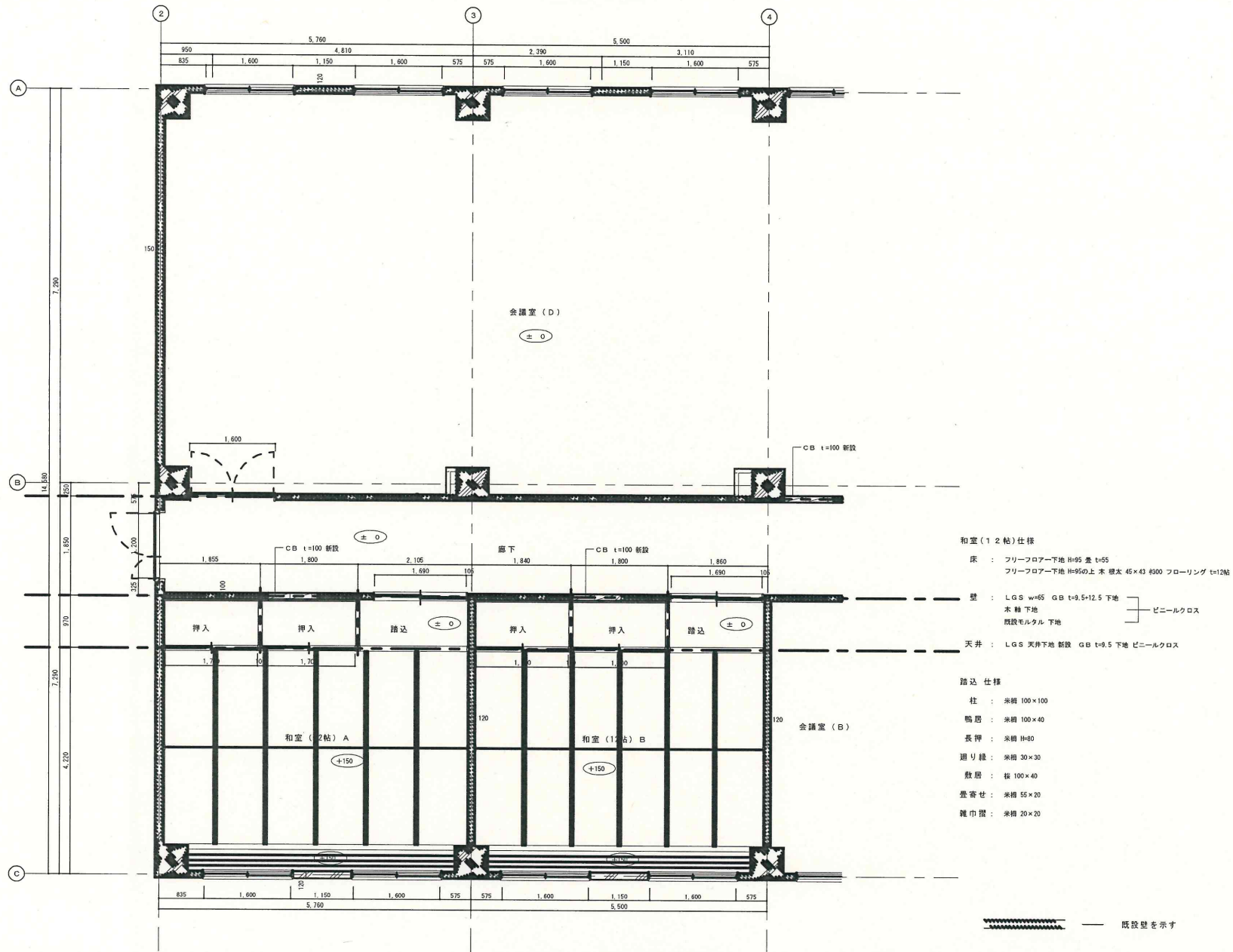
図面名称
展開図 (4F-3) (改修後)

Scale

1/50

No.

14



市民福祉会館改修工事 (建築工事) 設計図

Date

図面名称

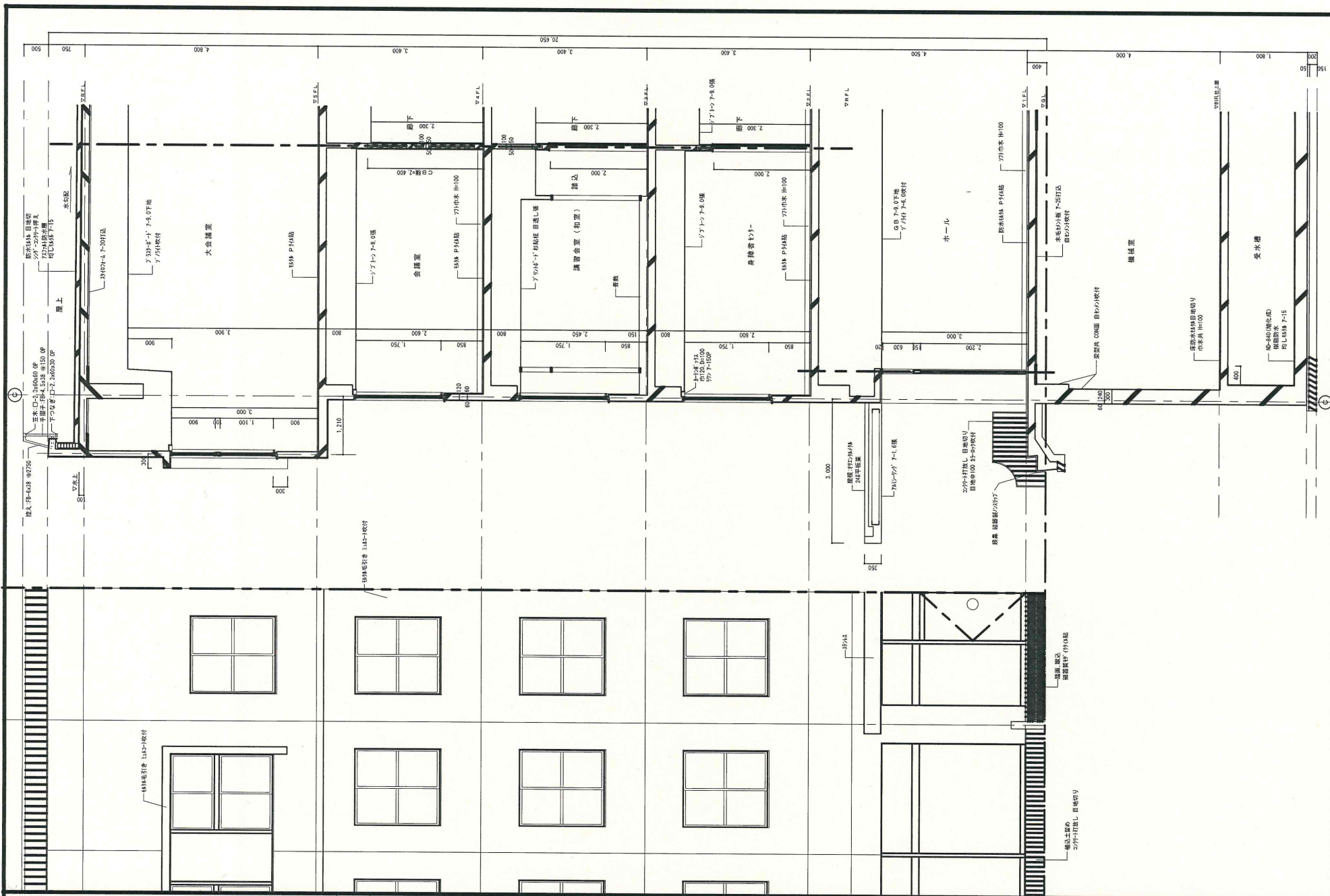
4階和室平面詳細図

Scale

1/50

No.

15



市民福祉会館改修工事（建築工事） 設計図

Date

図面名称 矩計図（参考図）

Scale 1/50

No. 16

市民福祉会館改修工事設計図

(建築工事)

5階・その他

図面リスト

図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
-	表紙・図面リスト	-	11	5階建具表	1/100	23	階段室 現況図(2)	1/50
1	特記仕様書(改修)1/4	-	12	展開図(5F-1)(改修後)	1/50	24	東側立面図(参考図)	1/100
2	特記仕様書(改修)2/4	-	13	展開図(5F-2)(改修後)	1/50	25	南側立面図(参考図)	1/100
3	特記仕様書(改修)3/4	-	14	展開図(5F-3)(改修後)	1/50	26	西側立面図(参考図)	1/100
4	特記仕様書(改修)4/4	-	15	R階平面図(改修後)	1/100	27	北側立面図(参考図)	1/100
5-1	工事区分表1/2	-	16	R階平面図(既設)	1/100	28	矩計図①(参考図)	1/50
5-2	工事区分表2/2	-	17	R階手摺改修詳細図	1/10.20.30	29	矩計図②(参考図)	1/50
6	建物概要	-	18	塔屋目隠し撤去図	1/ 5.10.30			
7	5階内部仕上表	-	19	屋外階段目隠し改修詳細図	1/20.50			
8	5階平面図(改修後)	1/100	20	地階平面図(改修後)	1/100			
9	5階平面図(既設)	1/100	21	放送室・控室 現況図(クラック)	1/50			
10	5階天井伏図(改修後)	1/100	22	階段室 現況図(1)	1/50			

市民福祉会館改修工事 仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所
2. 敷地面積
3. 工事種目

三原市城町6番地

福祉会館改修工事

5階・屋上・ベントハウス

階段室(各階)・外部階段・外壁

II. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、建設大臣官庁官庁建築部監修「建築改修工事共通仕様書(平成10年版)」(以下「改修共仕」という)による。ただし、改修共仕に規定されていない項目以外は建設大臣官庁官庁建築部監修「建築工事共通仕様書(平成9年版)」(以下「共仕」という)による。

2. 特記仕様

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する
- (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する
○印と※印の付いた場合は、共に適用する
- (3) 項目に記載の〔 〕内表示番号は、改修共仕の当該項目、当該図及び当該表を示す。
()内表示番号は、共仕の当該項目、当該図及び当該表を示す。
- (4) 材料及び製造所等の記載は順不同である

業	項	目	特記事項
改修一般共通事項	①	適用基準等	※建築工事標準詳細図 建設大臣官庁官庁建築部監修(平成5年版)
	②	発生材の処理等	・引渡しを要するもの() ・特別管理産業廃棄物() 処理方法() ・現場において再利用を図るもの() ・再生資源化を図るもの() ○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ・建設発生木材 ○資源型の産業廃棄物(下記以外は関係法令等に依り適切に処理) ・廃石膏ボード
	3	電気保安技術者	適用する
	④	施工条件	※指定なし ○指定有り
		施工条件	※指定なし ○指定有り
	⑤	工事安全計画書	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑥	建築材料等	本工事に使用する材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、建設大臣官庁官庁建築部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価名簿建築材料等評価名簿(平成12年版)」によるほか、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。また、同等評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出し、その確認をもって品質・性能の確認があったものとする事ができる。
	⑦	特別な材料の工法	改修共仕に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	⑧	施工数量調査	調査範囲 ※外壁(庇共) ○図示 調査方法 ※テストハンマーによる打診及び目視 外壁調査は、外壁改修フローに対応する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。 また、その報告書は、結果を立面図等に記載し集計表を添えて監督職員に2部提出する(必要に応じて写真等を添付する) 補修方法 ※図示
	⑨	破壊部分の補修	補修方法 ※図示

①	技能士	技能検定の職種	適用種別
	[1. 6. 2]	防水改修工事(・防水施工・左官・建築板金) 外壁改修工事(・左官・タイル張り・塗装 ・樹脂接着剤注入施工) 建具改修工事(・サッシ施工・ガラス施工) 内装改修工事(・内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等) ・表装 ・左官・建築大工・タイル張り) 建築改修工事(・建築) 耐震改修工事(・鉄筋工事・型枠施工・とび)	・全て << ・全て << ・全て << ・全て << ・全て << ・全て << ・全て <<
②	完成写真	下記のものを監督職員に提出する 分類・規格 カラー ・キャビネ版 (原画共) ※サービス版 ・カラスライド 撮影箇所 10箇所 部数 2部 2部 1部 原版の大きさ(mm) ・100×125以上 ・24×36以上 ・24×36以上	
③	完成時の提出図書	完成写真等の撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者 ・監督職員の承諾する者 上記のほか、監督職員指示の箇所を24枚撮り1本(カラー)で撮影し、カラーベタ焼き2部(原画共)提出すること ※完成図(作成範囲) ○配置図 ○平面図 ○立面図 ○仕上表) (作成方法 ※CAD(FD等共提出)) ※保全に関する資料(提出部数 ※1部 ・部)	
④	施工図及び施工計画書	提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る使用権は、発注者に委譲するものとする	
⑤	設備工事との取合い	施工区分(※工事区分表による)) 施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける	
⑥	撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の項目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする	
⑦	仮設工事	① 足場その他 [2. 2. 1] 内部足場の種別 ※脚立、足場板等 外部足場の種別 ※A種 ・B種 ・C種 ・D種 外部足場の防護シート等による養生 ※行方 行わない 材料、撤去材等の運搬方法 ※A種 ※B種 ・C種 ・D種 ・E種 養生方法 ※ビニルシート等による 固定された家具(備品、机、ロッカー等)の移動 ○行方(図示) 既存部分における既存家具等の養生 ※ビニルシート等による 既存ブラインド、カーテン等の養生 養生方法 ※取外し再取付 ・ 保管場所 ※構内既存施設内 ② 仮設間仕切り [2. 3. 2] ※A種 ○B種 ・C種 B・C種の表面材 ※石こうボード ・合板 B・C種の片面への塗装等 ・行方 行わない ③ 監督職員事務所 [2. 4. 3] ・既存建物内の一部を使用する(場所) ・構内に新設する(・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号) ※設けない ④ 工事用水 構内既存の施設 ※利用できる(※有償・無償) ・利用できない ⑤ 工事用電力 構内既存の施設 ※利用できる(※有償・無償) ・利用できない	
⑧	防水改修工事	1 アスファルト防水 [3. 1. 4] [3. 2. 6] [3. 3. 2~3] 工 法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・P1B工法 ※B-2 ・P1B1工法 ※B1-2 ・P2A工法 ※A-2 ・P2A1工法 ※A1-2 ・T1B1工法 ※B1-2 ・POD工法 ※D-3(改質アス) ・M3D工法 ※D-2 ・M4C工法 ※C-2 既存露出防水層表面の仕上げ塗装(M4C工法) ※除去する ・除去しない 屋根保護防水断熱工法の断熱材 材質 ※JIS A 9511の押出ポリスチレンフォーム3種bスチレン層付(特定フロンを含まないもの) 厚さ ※25 伸縮目地材 ※成形伸縮目地材 製造所 評価名簿による 保護コンクリートの仕上げ ※直均仕上げ 防水立上り部の保護 ・れんが ・乾式保護材 製造所 評価名簿による	

②	合成高分子系ルーフィングシート防水	新設防水層の種別	施工箇所	備考
[3. 1. 4] [3. 4. 3]	・POX工法 ※S-1 ・S3S工法 ※S-1 ・M4S工法 ※S-4	-	図示	
3 塗膜防水 [3. 1. 4] [3. 2. 6] [3. 5. 3]	工 法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・POX工法 ※X-1 ・L4X工法 ※X-3	-	図示	
4 シーリング改修工法の種類 [3. 1. 4]	工 法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・シーリング充填工法 ・広幅シーリング再充填工法	-	図示	
5 二重工法(POD工法) POS工法及びPOX工法 [3. 2. 5]	工 法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・POX工法 ※X-1 ・L4X工法 ※X-3	-	図示	
6 シーリング用材料 [3. 6. 2]	工 法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・シーリング充填工法 ・広幅シーリング再充填工法	-	図示	
7 シーリングの試験 [3. 6. 8]	工 法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・シーリング充填工法 ・広幅シーリング再充填工法	-	図示	
8 とい [3. 7. 2]	工 法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・シーリング充填工法 ・広幅シーリング再充填工法	-	図示	
9 ルーフドレン	工 法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・シーリング充填工法 ・広幅シーリング再充填工法	-	図示	
10 たてどいの床及び天井面の取り合い部	工 法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・シーリング充填工法 ・広幅シーリング再充填工法	-	図示	
11 アルミニウム製笠木 [3. 8. 2~3]	工 法 新設防水層の種別 施工箇所 備考 ・シーリング充填工法 ・広幅シーリング再充填工法	-	図示	
4-1 1 外壁ト打放し仕上げ外壁改修工事	1 ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4] [4. 3. 4~7] ※樹脂注入工法 ※自動式底圧エポキシ樹脂注入工法 ・手動式エポキシ樹脂注入工法 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 検査 ・行方 行わない 補修方法(ポリマーセメントモルタル充填) 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A6024)による低粘度形又は中粘度形 ・軟質エポキシ樹脂 製造所 評価名簿による ・ウカットシール材充填工法 カット部充填材 ※可とう性エポキシ樹脂 製造所 評価名簿による ・シーリング用材料 ※ポリウレタン系 ポリマーセメントモルタル充填工法 ※行方 行わない ・シール工法 ひび割れ部シール材 ※バテ状エポキシ樹脂 製造所 評価名簿による ・可とう性エポキシ樹脂 製造所 評価名簿による 2 欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 3. 7] ※充填工法 欠損部充填材 ※ポリマーセメントモルタル 製造所 評価名簿による ・エポキシ樹脂モルタル 製造所 評価名簿による			

4 1 モルタル 外壁 塗り 仕上げ 工事	1	ひび割れ部改修工法 [4. 4. 5-6]	(下記以外は4-1コンクリート打放仕上げ外壁による) ※モルタルを撤去して改修 (撤去後の補修は充てん工法による) ※樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充てん工法 ・モルタルを撤去しないで改修 ※樹脂注入工法 ・ シール工法	4 1 4 外壁 改修 工事 (塗り 仕上げ 外壁)	1	仕上げ塗材仕上げ [4. 1. 4] [4. 2. 2]	・薄付け仕上塗材 種 類 仕上げの形状 工 法 ・外装薄塗材 E ・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状 吹付け ・厚付け仕上塗材 種 類 仕上げの形状 工 法 上 塗 材 ・外装厚塗材 E スタック状 ・ 吹放し ・ 吹付け ・ 行う ・ 凸部処理 ・ 行わない ・複層仕上塗材 種 類 仕上げの形状 工 法 上 塗 材 (耐候性 耐候形3種) ・複層塗材 C E ・ 砂ざ肌状 ローラー ※水系 ・ シリカ系 ※つやなし ・複層塗材 S i ※水系 ※アクリル系 ※つやあり ・複層塗材 E ・ 凸部処理 吹付け ※有機系 ※つやなし ・複層塗材 R E ・ 凹凸模様 ※アクリル系 ※つやあり ・複層塗材 R S ・ フッ素系 ・ つやなし ・ マトリック ・ 珪溶剤系 ※アクリル系 ※つやあり ・ 矽けみき ※つやなし 上塗り材の塗布量 メトリック 0. 4 kg/m ² 以上 ポリウレタン系、アクリルシリコン系、フッ素系 0. 35 kg/m ² 以上 塗膜はく離材 製造所 () 防火材料の指定箇所 ()	6 鋼製軽量建具 [5. 4. 2-3]	区 分 材 質 召合わせ、縦小口包み板 ・ 鋼板 ※ ステンレス ・ アルミニウム 扉の表面板、押縁 ※ 鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 枠類 ※ 鋼板 (くつずりはステンレス) ・ 製作所仕様 製作所 評価名簿による
	2	欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 4. 3] [4. 4. 8]	※充てん工法 (欠損部の面積が0. 25m ² 箇所程度以下の場合) 充てん材の種類 ※ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂モルタル ・モルタル塗替え工法 吸水調整材 製造所 評価名簿による		2	既存塗膜等の除去及び 下地処理 [4. 6. 3]	既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 ※サンダー工法 ・高圧水洗工法 ・塗膜はく離工法 ・水洗い工法 — 処理範囲 — 上記3工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示の範囲 下地調整材料 ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材		7 鋼製軽量建具 扉類 (16. 4. 2-5)
4 1 3 外壁 張り 改修 工事	1	ひび割れ部改修工法 [4. 1. 4] [4. 5. 2] [4. 5. 5]	(下記以外は4-1コンクリート打放仕上げ外壁、及び4-2モルタル塗り仕上げ外壁による) ※タイルを撤去して改修 (撤去後の補修はタイル部分張替え工法による) ※樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充てん工法 ・タイルを撤去しないで改修 ※樹脂注入工法	4 1 3 外壁 改修 工事	2	既存塗膜等の除去及び 下地処理 [4. 6. 3]	既存塗膜の劣化部の除去及び下地の処理の工法 ※サンダー工法 ・高圧水洗工法 ・塗膜はく離工法 ・水洗い工法 — 処理範囲 — 上記3工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示の範囲 下地調整材料 ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材	8 ステンレス製建具 [5. 5. 4-5]	寸法許容差 (W×H>2m、W×H>3m、特見込み>120mmの場合) ※表 5. 3. 3 による 曲げ加工 ※普通曲げ ・ 角出し曲げ 製作所 評価名簿による
	2	欠損部改修工法 [4. 1. 4] [4. 5. 3] [4. 5. 6-7]	・タイル部分張替え工法 (欠損部の面積が0. 25m ² 箇所以下の場合及び下地モルタルがある場合) 接着材の種類 ※ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂 ・タイル張替え工法 (下地モルタルを撤去する場合) 既製調合モルタル (張り付け用に使用する場合) 製造所 評価名簿による		3	改修工法 [5. 1. 3]	※かぶせ工法 () ・ 撤去工法 () ※製作しない ・ 製作する		9 自動ドア開閉装置 [5. 6. 3]
4 1 3 外壁 張り 改修 工事	3	浮き部改修工法 [4. 1. 4] [4. 5. 4] [4. 5. 8-14]	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付) ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付) ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 (・ 注入口付) ・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付) ・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法 (・ 注入口付) ・タイル部分張替え工法 接着材の種類 ※ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂 ・タイル張替え工法 (下地モルタルを撤去する場合) 既製調合モルタル (張り付け用に使用する場合) 製造所 評価名簿による	5 建具 改修 工事	4	改修工法 [5. 1. 3]	※かぶせ工法 () ・ 撤去工法 () ※製作しない ・ 製作する	10 建具用金物 [5. 7. 2-5]	
	4	タイル張替え工法用材料	接着剤 ※ポリマーセメントモルタル 製造所 評価名簿による ・ エポキシ樹脂 製造所 評価名簿による タイルの品質 製造所 評価名簿による 施工箇所 形状 (mm) き じ うわぐすり そ の 他 既製調合モルタル 製造所 評価名簿による		5	① 改修工法 [5. 1. 3] ② 建具見本の製作 [5. 1. 5] ③ アルミニウム製建具 [5. 2. 2-4] 性能等級等 種 別 ※A 種 ・ B 種 ・ C 種 耐風圧性 ※S-4 ・ S-5 ・ S-6 気密性 ※A-3 ・ A-4 水密性 ※W-4 ・ W-5 特見込み (mm) 7 0 1 0 0 表面処理 ※B-1種 ・ B-2種 (色調 アローズ ・ ステンカラー ・ フラック) 屋内 ※C-1種 防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 網戸等 防虫網の材質 ※ステンレス製 (SUS316) ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ 合成樹脂製 防鳥網の材質 ※ステンレス製 (SUS304) 径 1. 5mm ピッチ 15mm 製作所 評価名簿による	11 建具用金物 (錠前類) (16. 8. 3)		錠前類は、レバーハンドル錠とする なお、錠前類は建具製作所の指定するものとし、監督職員の承諾を受ける。 吊金物 ④ 丁番 (内部建具については、軸を鉄芯としてもよい) ・ ビボットヒンジ
4 1 3 外壁 張り 改修 工事	5	目地改修工法 [4. 1. 4] [4. 5. 15]	・目地ひび割れ改修工法 既製調合モルタル 製造所 評価名簿による ・伸縮目地改修工法 位置及び寸法 ※図示 既製調合モルタル 製造所 評価名簿による	5 建具 改修 工事	6	鋼製建具 [5. 3. 2]		寸法許容差 (W×H>2m、W×H>3m、特見込み>120mmの場合) ※ [表 5. 3. 3] による 製作所 評価名簿による 防火戸 煙感知器運動とする防火戸の解放機構は別途とする 扉にラッチ受座用切込み開口補強を行う	12 鋼製建具 (扉類) (16. 3. 2-5)
	6	外壁複合改修工法	平成 7 年度建設省告示第 1860 号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術評価 を取得した工法とする		6	鋼製建具 [5. 3. 2]	出入口 (くつずりを除く) の鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板とする 鋼板の厚さは (表 16. 3. 2 にかかわらず) 以下とする。 枠類 (くつずりを除く部分) : 1. 6mm (鋼板) 枠類 (くつずり) : 1. 5mm (ステンレス鋼板) 戸の中骨 : 1. 6mm (鋼板) 外部用止水切りの板 : 1. 6mm (鋼板) 製品の寸法許容差 出入口の寸法許容差については、(表 16. 3. 3 にかかわらず) JIS A 4702 (寸法公差) による。 出入口枠、錠箱及びぜんばの組立 鋼を緩めばし閉づき溶接とする場合は、(表 16. 3. 4 にかかわらず) 面落ちとしてもよい。 製作所 評価名簿による		

市民福祉会館改修工事 (建築工事) 設計図

Date

5・R F

図面名称 特記仕様書 (改修) 2/4

Scale

No

2

⑤ 建 具 改 修 工 事	② ガラス [5. 8. 2]	共通仕様書の規定による材料又は、評価名簿による材料																													
	③ ガラスとめ材 [5. 8. 2]	<table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材 種</th> </tr> <tr> <td>鋼製</td> <td>※ シーリング材</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>○ ガスケット ※ シーリング材</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※ シーリング材</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>※ シーリング材</td> </tr> </table>	建具の種類	材 種	鋼製	※ シーリング材	アルミニウム製	○ ガスケット ※ シーリング材	ステンレス製	※ シーリング材	木製	※ シーリング材																			
	建具の種類	材 種																													
	鋼製	※ シーリング材																													
	アルミニウム製	○ ガスケット ※ シーリング材																													
	ステンレス製	※ シーリング材																													
	木製	※ シーリング材																													
	① ガラス溝の寸法、形状等 [5. 8. 3]	[表5. 8. 1] 以外は、JASS17ガラス工事3部の規定による																													
	③ 重量シャッター [5. 9. 2]	<p>種類 一般 ・ 外壁用防火 ・ 屋内用防火 ○ 屋内用防煙</p> <p>防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、遠動制御及び煙感器は別途とする</p> <p>開閉機能による種類 ※上部電動式（手動併用） ・ 上部手動式</p> <p>シャッターケース（防火、防煙以外） ※設ける ・ 設けない</p> <p>製造所 評価名簿による</p>																													
	① 6 軽量シャッター [5. 10. 2~4]	<p>開閉形式 ・ 上部電動式（手動併用） ※手動式</p> <p>スラットの材質 ※塗装溶剤を含まない</p> <p>スラットの形状 ※インターロック形状 ・ オーバーラッピング形</p> <p>シャッターケース ※設ける ・ 設けない</p> <p>ガイドレールの材質 ※ステンレス製（SUS304）厚さ1.5mm（中柱共）</p> <p>座板（屋外の場合） ※ステンレス製製品</p> <p>製造所 評価名簿による</p>																													
① 7 オーバーヘッドドア [5. 10. 2~5]	<p>セクション材料による区分 ※スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーガラスタイプ</p> <p>開閉形式による区分 ※バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式</p> <p>収納形式による区分 ・ スタンド形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーテカル形</p> <p>障害物感知装置（電動の場合） ※設ける ・ 設けない</p> <p>ガイドレールの材質 ※溶剤を含まない鋼板 ・ ステンレス製（SUS304）厚さ2.0mm</p> <p>製造所 評価名簿による</p>																														
③ 障害物感知装置	<p>電動式のシャッター（トア）に使用する障害物感知装置の構造は以下による</p> <p>シャッター（トア）の電動降下時に障害物を感知し、シャッター（トア）を自動的に停止させる機能を有するものとする</p>																														
① 9 危害防止機構	<p>感知器からの信号を受けて自動的に閉鎖する防火又は防煙シャッターには、「防火シャッター閉鎖作動時の危害防止ガイドライン」（社）日本シャッター工業会 平成10年10月）における危害防止機構として、当該シャッター最下部の窓に設置する感知板が人に接触すると同時に閉鎖作動を停止させ、その後、人がいなくなった時に再び降下を開始し、完全に閉鎖させるよう自動閉鎖装置へ信号を送る障害物感知装置を設ける。ただし、吹き抜けに面する等、シャッター降下中のくじり抜け行動が想定されないものは除く</p> <p>自動昇、電動シャッター、電動オーバーヘッドトアの電動機が三相電動機0.4KW以上の場合は、機器付属の操作室内に電動機保護用遮断機及び過電圧コンデンサーを設置すること</p>																														
① 付属電気設備																															
⑥ 内 装 改 修 工 事	① 他の部分との取り合い [6. 1. 3]	<p>○既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合い天井、壁面及び床の改修範囲</p> <p>※壁厚程度とし、既存に準じた仕上げとする ・ 図示</p> <p>○天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修</p> <p>※既存のまま ・ 図示</p>																													
	② 既存床仕上げ材の除去等 [6. 2. 2]	<p>合成樹脂塗床材の除去</p> <p>○機械的除去工法 ・ 目荒工法</p> <p>改修後の床の清掃範囲</p> <p>※改修部の端部より1m程度 ・ 図示</p>																													
	③ ビニル床シート、ビニル床シート及び「床タイル」 [6. 8. 2]	<p>○ビニル床シート</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>記 号</th> <th>色 柄</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td>※発泡層のないもの</td> <td>※N C</td> <td>※無 地</td> <td>※2. 0</td> <td>※突付け</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※2. 5</td> <td>※熱溶接</td> </tr> </table> <p>○ビニル床タイル</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>記 号</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>・ ホモジニアス</td> <td>H T</td> <td>※2. 0</td> </tr> <tr> <td>・ コンポジション</td> <td>※厚敷き C T</td> <td>※5. 0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※半硬質 C T</td> <td>※2. 0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※軟質 C T S</td> <td>・</td> </tr> </table>	種 類	記 号	色 柄	厚さ (mm)	工 法	※発泡層のないもの	※N C	※無 地	※2. 0	※突付け	・	・	・	※2. 5	※熱溶接	種 類	記 号	厚さ (mm)	・ ホモジニアス	H T	※2. 0	・ コンポジション	※厚敷き C T	※5. 0		※半硬質 C T	※2. 0		※軟質 C T S
種 類	記 号	色 柄	厚さ (mm)	工 法																											
※発泡層のないもの	※N C	※無 地	※2. 0	※突付け																											
・	・	・	※2. 5	※熱溶接																											
種 類	記 号	厚さ (mm)																													
・ ホモジニアス	H T	※2. 0																													
・ コンポジション	※厚敷き C T	※5. 0																													
	※半硬質 C T	※2. 0																													
	※軟質 C T S	・																													

④ 合 成 樹 脂 塗 床 [6. 9. 2~3]	① 特殊機能床材（帯電防止）	<table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>記 号</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>性能 JIS K6911 (標準) 20' 40%RH</th> </tr> <tr> <td>・ 帯電防止床シート</td> <td>N C</td> <td>※2. 0</td> <td>※体積抵抗値 (Ω) ・ 1. 0 × 10⁸ 以下</td> </tr> </table> <p>○帯電防止床タイル C T S</p> <p>・ 特殊機能床材（帯電防止以外）</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td>○帯電障害専用床材（塩ビ製）</td> <td>※2. 0</td> <td>※300 × 300</td> </tr> <tr> <td>・ 視覚障害専用床材（合成ゴム製）</td> <td>※2. 0</td> <td>※400 × 400</td> </tr> </table> <p>ビニル巾木の高さ (mm) ※60 ・ 75 ○100</p> <p>共通仕様書の規定による材料又は評価名簿による材料</p>	種 類	記 号	厚さ (mm)	性能 JIS K6911 (標準) 20' 40%RH	・ 帯電防止床シート	N C	※2. 0	※体積抵抗値 (Ω) ・ 1. 0 × 10 ⁸ 以下	種 類	厚さ (mm)	寸法 (mm)	○帯電障害専用床材（塩ビ製）	※2. 0	※300 × 300	・ 視覚障害専用床材（合成ゴム製）	※2. 0	※400 × 400																																			
	種 類	記 号	厚さ (mm)	性能 JIS K6911 (標準) 20' 40%RH																																																		
	・ 帯電防止床シート	N C	※2. 0	※体積抵抗値 (Ω) ・ 1. 0 × 10 ⁸ 以下																																																		
	種 類	厚さ (mm)	寸法 (mm)																																																			
	○帯電障害専用床材（塩ビ製）	※2. 0	※300 × 300																																																			
	・ 視覚障害専用床材（合成ゴム製）	※2. 0	※400 × 400																																																			
	④ 4 合成樹脂塗床 [6. 9. 2~3]	<p>・ 弾性ウレタン塗床材</p> <p>仕上げの種類 ※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</p> <p>・ エポキシ樹脂塗床材</p> <p>仕上げの種類 ・ 滑膜流し展べ仕上げ ・ 厚膜流し展べ仕上げ</p> <p>・ 樹脂モルタル仕上げ ・ 防滑仕上げ</p> <p>製造所 イサム塗料㈱（エポフロアー）、㈱エビーシー商会（カラトップU）</p> <p>エスケー化研㈱（アークフロアUT）、中外商工㈱（アトフロアEUコート） 同等</p>																																																				
	⑤ 5 床用防塵塗料塗り																																																					
	⑥ 6 カーペット敷き [6. 12. 2~3]	<p>・ タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>パイル形状</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>総厚さ</th> <th>電気抵抗 (Ω)</th> <th>工 法</th> </tr> <tr> <td>※A種</td> <td>※ループパイル</td> <td>500角</td> <td>6. 5mm</td> <td>※通しない</td> <td>※全面接着</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ カットパイル</td> <td></td> <td></td> <td>・ 10' RT (JISL1904 23℃25%RH)</td> <td>・ のり付 加工品敷き</td> </tr> </table> <p>製造所</p>	種 別	パイル形状	寸法 (mm)	総厚さ	電気抵抗 (Ω)	工 法	※A種	※ループパイル	500角	6. 5mm	※通しない	※全面接着	・ B種	・ カットパイル			・ 10' RT (JISL1904 23℃25%RH)	・ のり付 加工品敷き																																		
	種 別	パイル形状	寸法 (mm)	総厚さ	電気抵抗 (Ω)	工 法																																																
※A種	※ループパイル	500角	6. 5mm	※通しない	※全面接着																																																	
・ B種	・ カットパイル			・ 10' RT (JISL1904 23℃25%RH)	・ のり付 加工品敷き																																																	
⑦ 7 可動間仕切り	<p>JIS A6512によるほか、下記による</p> <p>構造形式による種類 ※スタット式（スタット）露出 ・ スタット（内蔵） ・ スタッドパネル式</p> <p>表面材質及び厚さ (mm) ※鋼板0. 6</p> <p>仕上げ マラミン樹脂又はアクリル樹脂塗料付塗装（※常備品 ・ 指定色）</p> <p>パネル厚さ (mm) 程度</p> <p>製造所 JIS A6512によるもの又は、評価名簿による</p>																																																					
⑧ 8 セッコウボード、その他 ボード及び合板張り [6. 13. 2]	<p>天井及び壁に使用する材料は、すべて防火材料の認定表示のあるものとする</p> <table border="1"> <tr> <th>材種・規格</th> <th>施工箇所</th> <th>張り方</th> <th>厚さ (mm) 等</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">○石こうボード JIS A6901 GB-R</td> <td rowspan="2">壁</td> <td>○下張り 突付け</td> <td>9. 5 （不燃認定品）</td> </tr> <tr> <td>・ 上張り ・ 目透かし</td> <td>※12. 5（不燃認定品）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天井</td> <td>○直張り ・ 突付けV目地</td> <td>※9. 5（準不燃認定品）</td> </tr> <tr> <td>○下張り 突付け</td> <td>・ 12. 5（不燃認定品）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 化粧石こうボード （トラバーチン模様） JIS A6901 GB-D</td> <td rowspan="2">天井</td> <td>直張り 突付け</td> <td>※9. 5（不燃認定品） ※455 × 910 ・ 910 × 910</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧石こうボード （杉板目プリント） JIS A6901 GB-D</td> <td>天井 直張り 目透かし</td> <td>※9. 5（準不燃認定品） 下地共メーカー仕様による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ 厚膜繊維強化石こうボード JIS A6901 GB-F</td> <td rowspan="2">壁</td> <td>突付け</td> <td>※15 （不燃認定品）</td> </tr> <tr> <td>・ 吸音用穴あき石こうボード JIS A6901 GB-P</td> <td>天井 上張り</td> <td>※9. 5（準不燃認定品） ・ 突付けV目地 不燃原紙裏打ち</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○コックウール化粧吸音板 JIS A6301 DR</td> <td rowspan="2">天井</td> <td>上張り</td> <td>※9. 12 （不燃認定品）</td> </tr> <tr> <td>突付け</td> <td>※9. 12 （不燃認定品）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ グラスウール吸音材 JIS A6301 GW-B</td> <td rowspan="2">天井</td> <td>上張り</td> <td>※25（不燃認定品） グラスウール吸音ボード 2号32K</td> </tr> <tr> <td>突付け</td> <td>※25（不燃認定品） グラスウール吸音ボード 2号32K</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○石膏ボード H用 耐火型 JIS A5430 0. 8FK</td> <td rowspan="2">天井</td> <td>目透かし</td> <td>○9. 8 ・ 5 （不燃認定品）</td> </tr> <tr> <td>突付けV目地</td> <td>（不燃認定品）</td> </tr> </table> <p>建築基準法に基づく防火材料の認定表示のあるものとする</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品質（製造所）</th> <th>防火性能の級別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材種・規格	施工箇所	張り方	厚さ (mm) 等	○石こうボード JIS A6901 GB-R	壁	○下張り 突付け	9. 5 （不燃認定品）	・ 上張り ・ 目透かし	※12. 5（不燃認定品）	天井	○直張り ・ 突付けV目地	※9. 5（準不燃認定品）	○下張り 突付け	・ 12. 5（不燃認定品）	・ 化粧石こうボード （トラバーチン模様） JIS A6901 GB-D	天井	直張り 突付け	※9. 5（不燃認定品） ※455 × 910 ・ 910 × 910	・ 化粧石こうボード （杉板目プリント） JIS A6901 GB-D	天井 直張り 目透かし	※9. 5（準不燃認定品） 下地共メーカー仕様による	・ 厚膜繊維強化石こうボード JIS A6901 GB-F	壁	突付け	※15 （不燃認定品）	・ 吸音用穴あき石こうボード JIS A6901 GB-P	天井 上張り	※9. 5（準不燃認定品） ・ 突付けV目地 不燃原紙裏打ち	○コックウール化粧吸音板 JIS A6301 DR	天井	上張り	※9. 12 （不燃認定品）	突付け	※9. 12 （不燃認定品）	・ グラスウール吸音材 JIS A6301 GW-B	天井	上張り	※25（不燃認定品） グラスウール吸音ボード 2号32K	突付け	※25（不燃認定品） グラスウール吸音ボード 2号32K	○石膏ボード H用 耐火型 JIS A5430 0. 8FK	天井	目透かし	○9. 8 ・ 5 （不燃認定品）	突付けV目地	（不燃認定品）	施工箇所	品質（製造所）	防火性能の級別			
材種・規格	施工箇所	張り方	厚さ (mm) 等																																																			
○石こうボード JIS A6901 GB-R	壁	○下張り 突付け	9. 5 （不燃認定品）																																																			
		・ 上張り ・ 目透かし	※12. 5（不燃認定品）																																																			
	天井	○直張り ・ 突付けV目地	※9. 5（準不燃認定品）																																																			
		○下張り 突付け	・ 12. 5（不燃認定品）																																																			
・ 化粧石こうボード （トラバーチン模様） JIS A6901 GB-D	天井	直張り 突付け	※9. 5（不燃認定品） ※455 × 910 ・ 910 × 910																																																			
		・ 化粧石こうボード （杉板目プリント） JIS A6901 GB-D	天井 直張り 目透かし	※9. 5（準不燃認定品） 下地共メーカー仕様による																																																		
・ 厚膜繊維強化石こうボード JIS A6901 GB-F	壁	突付け	※15 （不燃認定品）																																																			
		・ 吸音用穴あき石こうボード JIS A6901 GB-P	天井 上張り	※9. 5（準不燃認定品） ・ 突付けV目地 不燃原紙裏打ち																																																		
○コックウール化粧吸音板 JIS A6301 DR	天井	上張り	※9. 12 （不燃認定品）																																																			
		突付け	※9. 12 （不燃認定品）																																																			
・ グラスウール吸音材 JIS A6301 GW-B	天井	上張り	※25（不燃認定品） グラスウール吸音ボード 2号32K																																																			
		突付け	※25（不燃認定品） グラスウール吸音ボード 2号32K																																																			
○石膏ボード H用 耐火型 JIS A5430 0. 8FK	天井	目透かし	○9. 8 ・ 5 （不燃認定品）																																																			
		突付けV目地	（不燃認定品）																																																			
施工箇所	品質（製造所）	防火性能の級別																																																				
⑨ 9 壁紙張り [6. 14. 2]																																																						
⑩ 10 モルタル塗 [6. 15. 1~6] 適用範囲	<p>この塗は、コンクリート下地、コンクリートブロック下地等の面に、セメント、骨材等を主材料としてつくったセメントモルタル塗り工事に適用する。</p> <p>なお、モルタル塗りの厚さ、ひび割れを改修する場合は4章による。</p>																																																					

⑦ 塗 装 改 修 工 事	① ① 壁タイル張り [6. 16. 5]	<p>内装タイル ・ 積上げ張り</p> <p>※壁タイル接着剤張り</p>															
	② ② 断熱材打込み工法 [6. 17. 2]	<p>断熱材の種類 ※押出法ホリスチレンフォーム保温板2種b 厚さ ※25mm</p> <p>断熱補修材 ・ 硬質ウレタンフォーム 保温板1種2号 厚さ mm</p> <p>※吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材（次項による）</p>															
	③ ③ 断熱材現場発泡工法 [6. 17. 3]	<p>断熱材の種類 ※吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 厚さ 25mm</p> <p>難燃性 3級</p> <p>製造所 評価名簿による</p>															
	② ① 防火材料 [7. 1. 3]	<p>壁内及び天井の装飾仕上げは建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする</p> <p>塗替え種別がR種の場合の既存塗膜の除去範囲</p> <p>※塗替え面積の30%</p>															
	③ ② 下地調整 [7. 2. 2~7]	<table border="1"> <tr> <th>下 地 種 別</th> <th>塗 料 の 種 別</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>鉄 面</td> <td>屋外 (※A種 ・ B種) 屋内 (A種 ※B種)</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>鉛酸カルシウムさび止めペイント</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>モルタル面及び「ラスタール」</td> <td>鉛酸カルシウムさび止めペイント</td> <td>※A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート及び押出成型セメント版面</td> <td>セッコウボード及びその他ボード面</td> <td>(※B種) (※B種) (※B種)</td> </tr> </table>	下 地 種 別	塗 料 の 種 別	種 別	鉄 面	屋外 (※A種 ・ B種) 屋内 (A種 ※B種)	・ A種 ・ B種 ※C種	亜鉛めっき面	鉛酸カルシウムさび止めペイント	・ A種 ・ B種 ※C種	モルタル面及び「ラスタール」	鉛酸カルシウムさび止めペイント	※A種 ・ B種 ・ C種	コンクリート及び押出成型セメント版面	セッコウボード及びその他ボード面	(※B種) (※B種) (※B種)
	下 地 種 別	塗 料 の 種 別	種 別														
	鉄 面	屋外 (※A種 ・ B種) 屋内 (A種 ※B種)	・ A種 ・ B種 ※C種														
	亜鉛めっき面	鉛酸カルシウムさび止めペイント	・ A種 ・ B種 ※C種														
	モルタル面及び「ラスタール」	鉛酸カルシウムさび止めペイント	※A種 ・ B種 ・ C種														
	コンクリート及び押出成型セメント版面	セッコウボード及びその他ボード面	(※B種) (※B種) (※B種)														
④ ④ 錆止め塗料塗り [7. 3. 2~3]	<table border="1"> <tr> <th>下 地 種 別</th> <th>塗 料 の 種 別</th> <th>種 別</th> </tr> <tr> <td>鉄 面</td> <td>屋外 (※A種 ・ B種) 屋内 (A種 ※B種)</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>亜鉛めっき面</td> <td>鉛酸カルシウムさび止めペイント</td> <td>・ A種 ・ B種 ※C種</td> </tr> <tr> <td>新規鋼製建築等</td> <td>鉛酸カルシウムさび止めペイント</td> <td>※A種 ・ B種 ・ C種</td> </tr> </table>	下 地 種 別	塗 料 の 種 別	種 別	鉄 面	屋外 (※A種 ・ B種) 屋内 (A種 ※B種)	・ A種 ・ B種 ※C種	亜鉛めっき面	鉛酸カルシウムさび止めペイント	・ A種 ・ B種 ※C種	新規鋼製建築等	鉛酸カルシウムさび止めペイント	※A種 ・ B種 ・ C種				
下 地 種 別	塗 料 の 種 別	種 別															
鉄 面	屋外 (※A種 ・ B種) 屋内 (A種 ※B種)	・ A種 ・ B種 ※C種															
亜鉛めっき面	鉛酸カルシウムさび止めペイント	・ A種 ・ B種 ※C種															
新規鋼製建築等	鉛酸カルシウムさび止めペイント	※A種 ・ B種 ・ C種															
⑤ ⑤ 仕上げ塗料塗り [7. 4. 2] [7. 4. 3~5] [7. 6. 3] [7. 10. 2] [7. 11. 2]	<p>合成樹脂塗合ペイント塗りの塗料の種類</p> <p>屋外 (・ 1種 ※2種) 屋内 (※1種 ・ 2種)</p> <p>木部合成樹脂塗合ペイント塗りの種類</p> <p>新規 (※A種 (多孔質広葉樹を除く) ・) 塗替え (※B種 ・)</p> <p>鉄面合成樹脂塗合ペイント塗りの種類</p> <p>新規 (※B種 ・) 塗替え (※B種 ・)</p> <p>亜鉛めっき面合成樹脂塗合ペイント塗りの種類</p> <p>新規 (※A種 ・) 塗替え (※A種 (鋼製建築) ※B種 (その他) ・)</p> <p>塩化ビニル樹脂エナメル塗りの種類</p> <p>新規 (※B種 ・) 塗替え (※B種 ・)</p> <p>つやあり合成樹脂エマルションペイント塗りの種類</p> <p>新規 (※B種 ・) 塗替え (※B種 ・)</p> <p>合成樹脂エマルションペイント塗りの種類</p> <p>新規 (※B種 ・) 塗替え (※B種 ・)</p>																
⑧ ⑧ 鉄筋 [8. 2. 1]	<table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>径</th> </tr> <tr> <td>※SD295A</td> <td>D10, D13, D16</td> </tr> <tr> <td>※SD345</td> <td>D19以上</td> </tr> </table>	種類の記号	径	※SD295A	D10, D13, D16	※SD345	D19以上										
種類の記号	径																
※SD295A	D10, D13, D16																
※SD345	D19以上																
② ② 溶接金網 [8. 2. 2]	<p>寸法 ※6. 0φ × 100 × 100</p> <p>施工箇所 ()</p>																
③ ③ シアコネクタ [8. 3. 4]	<p>○金属拡張系アンカー ・ 接着系アンカー</p>																

8 あ と 施 工 ア ン カ ー 工 事	1	あと施工アンカー [8. 2. 4]	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">◎金属植込アンカー</th> <th rowspan="2">セット方式</th> <th rowspan="2">ダボ筋の種類</th> <th rowspan="2">径 (mm)</th> <th rowspan="2">長さ (mm)</th> </tr> <tr> <th>本体径 (mm)</th> <th>埋め込み 深さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>10</td> <td>50</td> <td>本体打ち込み式</td> <td>異形</td> <td>10</td> <td>40d</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>"</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>"</td> <td>"</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・接着系アンカー</p> <table border="1"> <tr> <th>接着剤の材質</th> <th>カプセルの種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>あと施工アンカーは(社)日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー協会」の品質判定表の性能を満足するものとする</p>	◎金属植込アンカー		セット方式	ダボ筋の種類	径 (mm)	長さ (mm)	本体径 (mm)	埋め込み 深さ (mm)	10	50	本体打ち込み式	異形	10	40d			"	"					"	"			接着剤の材質	カプセルの種類		
	◎金属植込アンカー		セット方式	ダボ筋の種類	径 (mm)					長さ (mm)																							
	本体径 (mm)	埋め込み 深さ (mm)																															
10	50	本体打ち込み式	異形	10	40d																												
		"	"																														
		"	"																														
接着剤の材質	カプセルの種類																																
2	あと施工アンカーの試験 [8. 10. 4]	性能確認試験 ※行わない ・行う 施工確認試験 ・行う ・行わない																															
3	施工管理技術者 [8. 10. 1]	適用する (社)日本建築あと施工アンカー協会が定める「あと施工アンカー管理技術士」の資格以上の能力を有する者とする																															
9 コ ン ク リ ー ト 工 事	1	コンクリートの種類と強度 [8. 1. 3]	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">※普通コンクリート</th> <th rowspan="2">適用箇所</th> </tr> <tr> <th>設計基準強度 (F_o)</th> <th></th> </tr> <tr> <td>※210 (kg/cm²)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・240 (kg/cm²)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	※普通コンクリート		適用箇所	設計基準強度 (F _o)		※210 (kg/cm ²)			・240 (kg/cm ²)																					
	※普通コンクリート		適用箇所																														
	設計基準強度 (F _o)																																
	※210 (kg/cm ²)																																
	・240 (kg/cm ²)																																
	2	レディミキストコンクリートの試験 [8. 1. 3]	※I類 ・ II類																														
	3	コンクリートの仕上り [8. 1. 4]	位置、断面寸法の許容値は、[表8. 1. 2] による 合板せき板を用いた打直し仕上りの種別は、仕上表及び図示による 仕上りの平坦さは[表8. 1. 4] による																														
	4	コンクリート中の塩化物量 [8. 1. 4]	0. 30kg/m ³ 以下																														
	5	混和材料 [8. 2. 5]	※混和剤 A E剤、A E減水剤、高性能A E減水剤 ・混和材 (・フライアッシュ ・高炉スラグ ・膨張材)																														
6	型枠のせき板 [8. 2. 6]	※合板 (厚さ12mm) ・																															
7	既存部分の撤去 [8. 18. 2]	既存仕上げの撤去 撤去範囲 ※図示 既存躯体の撤去 撤去範囲 ※図示																															
8	コンクリートの打設 [8. 18. 8]	打設工法の種類 ・ 圧入工法 ◎ 流し込み工法																															
8 鉄 骨 工 事	2	施工管理技術者 (7. 1. 4)	適用する																														
	1	鉄骨製作工場 [8. 1. 5]	・構造関係共通事項による工場 ・監督職員が承諾する工場																														
	2	鋼材 [8. 2. 7]	種類の記号 ()																														
	4	高力ボルト [8. 2. 8]	※トルシヤ形 ・ J I S形 ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト																														
	5	溶接部の検査 [8. 13. 11]	適用する (※超音波探傷試験)																														
	6	鋼材の溶融亜鉛めっき (7. 12. 3)	種別 ※(表14. 2. 2) のA種 (軽量形鋼は、板厚によりB種・C種とする)																														
	7	既存仕上げの撤去 [8. 18. 2]	鉄骨ブレースの設置を行う場合に関連する既存仕上げ材の撤去範囲																														
	8	既存部分磨目荒らし [8. 18. 3]	鉄骨ブレースが取り付く範囲の既存コンクリート面の磨目荒らしの程度 ※深さ5~10mm、100mm間隔程度																														
8 1 5 耐 震 改 修 工 事	1	グラウト材 [8. 2. 10]	無収縮モルタル材 製造所 評価名簿による																														
	2	構造躯体用モルタル [8. 2. 10]	<table border="1"> <tr> <th>圧縮強度 (kg/cm²)</th> <th>フロー値 (mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	圧縮強度 (kg/cm ²)	フロー値 (mm)																												
	圧縮強度 (kg/cm ²)	フロー値 (mm)																															
3	柱底等の均しモルタル [8. 2. 10]	無収縮モルタル材 ・使用する ・使用しない 製造所 評価名簿による																															

8 柱 補 強 工 事	1	既存仕上げ材の撤去 [8. 20. 2]	撤去範囲 ※図示																										
	2	目荒らし [8. 20. 3]	既存躯体コンクリート面の打ち磨ぎ面全般に行う ※平均深さで0. 5~1. 0cm、最大深さで1. 5cm程度の凹凸																										
8 耐 震 改 修 工 事	3	工 法 [8. 20. 5~7]	<ul style="list-style-type: none"> ・溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法 ・溶接金網の継ぎ手 ※重ね継手 ・コンクリート及び構造躯体用モルタルの打設 ・圧入工法 ・流し込み工法 ・鋼板巻き工法 ・帯板巻き付工法 ・連続繊維シート工法 <p>製造所 () 接着性試験及び耐久性試験 ・行う ・行わない</p>																										
	9	除去及び封じ込めの工事 [8. 20. 8]	「放射線測定装置による放射線測定技術」(民間開発建設技術の技術審査・証明事業確認認定(昭和62年7月28日建設省告示第1451号))の証明を有する工法の施工業者																										
8 耐 震 ス リ ット 新 設 工 事	1	スリットの種類 [8. 21. 1]	※完全スリット ・部分スリット 製造所 ()																										
	2	スリットへの充填材 [8. 21. 2]	シーリング材 施工箇所は図示 耐火材の使用 ・使用する ・使用しない 遮音材の使用 ・使用する ・使用しない 施工箇所 材 料																										
9 除 去 及 び 封 じ 込 め の 工 事	1	施工業者 [9. 5. 1]	「放射線測定装置による放射線測定技術」(民間開発建設技術の技術審査・証明事業確認認定(昭和62年7月28日建設省告示第1451号))の証明を有する工法の施工業者																										
	2	処理方法 [9. 5. 2] [9. 6. 2]	※除去処理 産廃物の搬出 ・密封処理 ・固化処理 ・封じ込め処理 除去物及び汚染物の処理等 ・密封処理 ・固化処理																										
8 そ の 他	1	フリーアクセスフロー [23. 2. 4]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th colspan="2">図示</th> </tr> <tr> <td>構造</td> <td>① ②</td> <td>③</td> </tr> <tr> <td>地震時水平力</td> <td>① 1. 0G</td> <td>② 0. 6G</td> <td>③ 1. 0G</td> </tr> <tr> <td>耐荷重性能</td> <td>① 3000N</td> <td>② 5000N</td> <td>③ 3000N</td> </tr> <tr> <td>高さ (mm)</td> <td colspan="2">① 50mm以下</td> </tr> <tr> <td>パネル要素の材質</td> <td colspan="2">①</td> </tr> <tr> <td>床仕上げ材</td> <td colspan="2">① ※タイルカーペット (※A種・B種) ※タイルカーペット (※A種・B種)</td> </tr> <tr> <td>ポーター部及びスロープ</td> <td colspan="2">① ※メーカー仕様 ・図示 ※メーカー仕様 ・図示</td> </tr> </table> <p>製造所 評価名簿による</p>	形式	図示		構造	① ②	③	地震時水平力	① 1. 0G	② 0. 6G	③ 1. 0G	耐荷重性能	① 3000N	② 5000N	③ 3000N	高さ (mm)	① 50mm以下		パネル要素の材質	①		床仕上げ材	① ※タイルカーペット (※A種・B種) ※タイルカーペット (※A種・B種)		ポーター部及びスロープ	① ※メーカー仕様 ・図示 ※メーカー仕様 ・図示	
	形式	図示																											
構造	① ②	③																											
地震時水平力	① 1. 0G	② 0. 6G	③ 1. 0G																										
耐荷重性能	① 3000N	② 5000N	③ 3000N																										
高さ (mm)	① 50mm以下																												
パネル要素の材質	①																												
床仕上げ材	① ※タイルカーペット (※A種・B種) ※タイルカーペット (※A種・B種)																												
ポーター部及びスロープ	① ※メーカー仕様 ・図示 ※メーカー仕様 ・図示																												
2	ブラインド (23. 2. 6)	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>① ②</th> <th>③</th> </tr> <tr> <td>スラットの材質</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>アルミスラット</td> <td>クロススラット</td> </tr> <tr> <td>ブラインドの種類</td> <td>※ギア式</td> <td>・コード式</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スラットの幅 (mm)</td> <td>※25</td> <td>・35</td> <td>・75以上</td> </tr> </table>	形式	① ②	③	スラットの材質	アルミニウム合金製	アルミスラット	クロススラット	ブラインドの種類	※ギア式	・コード式		スラットの幅 (mm)	※25	・35	・75以上												
形式	① ②	③																											
スラットの材質	アルミニウム合金製	アルミスラット	クロススラット																										
ブラインドの種類	※ギア式	・コード式																											
スラットの幅 (mm)	※25	・35	・75以上																										
8 表 示 工 事 (23. 2. 10)	3	表示工事 (23. 2. 10)	<ul style="list-style-type: none"> ・案内板 ・庁舎案内板 (※標準詳細図による ・図示による) ・視覚障害者用案内板 (※共通詳細図による ・図示による) ・室名札 ※標準詳細図による ・市販品 (製造所・品番) ・ピクトグラフ ※標準詳細図による ・市販品 (製造所・品番) ・庁名文字 ※共通詳細図による ・市販品 (製造所・品番) ・切抜文字 (・ステンレス製・黄銅製) ・箱文字 (・ステンレス製・黄銅製) <p>字数 () 文字の大きさ () 号</p>																										
	4	点検口	天井 材質 アルミニウム製 寸法 (mm) ※450×450・600×600 形式 ・縦線タイプ ・目地タイプ 製造所 評価名簿による																										
8 天 井 見 切 り 縁	5	階段手すり笠木	ビニル製 製造所 鋼アトラス (階段手すり) ・ナカ工業㈱ (ナカハンドレール) 同等																										
	6	天井見切り縁	材質 ※アルミニウム既製品 ◎ビニル既製品																										
8 視 覚 障 害 者 用 誘 導 プ ロ ッ ク	7	視覚障害者用誘導プロック	材質 ・コンクリート製 (厚さ60mm) ◎磁器質タイル製 ◎内部ビニル製																										

8 ア ス ベ ス ト 成 形 板 の 処 理 等	9	処理を行うアスベスト成形板の仕様 ・石綿スレート ・石棉セメントけい酸カルシウム板 施工調査 アスベスト成形板の除去に当たり、あらかじめ事前の施工調査を次の事項について行う。調査結果は、図面に記録し、監督職員に提出する。 (1) アスベスト成形板使用部位の確認 (2) アスベスト成形板の種類、厚さ等の確認 (3) アスベスト成形板使用数量の確認 (4) 施工範囲等の確認 ウレタン塗膜工 (工場塗装)																											
	10	仕様図示 既設改修 改修工事には、塗膜剥離、下地調整、錆止め等を含む																											
<p>外壁改修フロー及び数量</p> <p>・コンクリート打直し仕上げ外壁の場合</p> <p>外壁調査 (施工数量調査)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> <tr> <td>旧仕上げ材の撤去・全面</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>ひび割れ部改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>欠損部改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>シーリング改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>下地調整材</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>仕上げ材仕上げ</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> </table>			部位	単位	数量	旧仕上げ材の撤去・全面	㎡	図示	ひび割れ部改修	㎡	図示	欠損部改修	㎡	図示	シーリング改修	㎡	図示	下地調整材	㎡	図示	仕上げ材仕上げ	㎡	図示						
部位	単位	数量																											
旧仕上げ材の撤去・全面	㎡	図示																											
ひび割れ部改修	㎡	図示																											
欠損部改修	㎡	図示																											
シーリング改修	㎡	図示																											
下地調整材	㎡	図示																											
仕上げ材仕上げ	㎡	図示																											
<p>・モルタル塗り仕上げ外壁の場合</p> <p>外壁調査 (施工数量調査)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> <tr> <td>旧仕上げ材の撤去・全面</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>ひび割れ部改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>欠損部改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>浮き部改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>シーリング改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>下地調整材</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>仕上げ材仕上げ</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> </table>			部位	単位	数量	旧仕上げ材の撤去・全面	㎡	図示	ひび割れ部改修	㎡	図示	欠損部改修	㎡	図示	浮き部改修	㎡	図示	シーリング改修	㎡	図示	下地調整材	㎡	図示	仕上げ材仕上げ	㎡	図示			
部位	単位	数量																											
旧仕上げ材の撤去・全面	㎡	図示																											
ひび割れ部改修	㎡	図示																											
欠損部改修	㎡	図示																											
浮き部改修	㎡	図示																											
シーリング改修	㎡	図示																											
下地調整材	㎡	図示																											
仕上げ材仕上げ	㎡	図示																											
<p>・タイル張り仕上げ外壁の場合</p> <p>外壁調査 (施工数量調査)</p> <table border="1"> <tr> <th>部位</th> <th>単位</th> <th>数量</th> </tr> <tr> <td>旧仕上げ材の撤去・全面</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>ひび割れ部改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>欠損部改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>浮き部改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>シーリング改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>目地改修</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>下地調整材</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>仕上げ材仕上げ</td> <td>㎡</td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>(注1) ひび割れ幅 (mm) がA) 0. 3以上0. 5未満、B) 0. 5以上1. 0未満、C) 1. 0以上、D) を示す</p>			部位	単位	数量	旧仕上げ材の撤去・全面	㎡	図示	ひび割れ部改修	㎡	図示	欠損部改修	㎡	図示	浮き部改修	㎡	図示	シーリング改修	㎡	図示	目地改修	㎡	図示	下地調整材	㎡	図示	仕上げ材仕上げ	㎡	図示
部位	単位	数量																											
旧仕上げ材の撤去・全面	㎡	図示																											
ひび割れ部改修	㎡	図示																											
欠損部改修	㎡	図示																											
浮き部改修	㎡	図示																											
シーリング改修	㎡	図示																											
目地改修	㎡	図示																											
下地調整材	㎡	図示																											
仕上げ材仕上げ	㎡	図示																											

工事区分表

区分は○印を適用する。●印が有る場合は●印を適用する。

項目	電気					備考	項目	機械					備考	項目	電気					備考																														
	電	電	電	電	電			機	機	機	機	機			電	電	電	電	電																															
躯体関係																	躯体関係																	仕上げ関係																
① RC造 (梁・壁・床)の 貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	●	●	●	●	各工事の開口用	4.昇降機関連	機械室換気設備工事					○		⑤ 湯沸室廻り	流し台・つり戸棚・水切り棚・コンロ台	●							湯沸器					●	●																			
	貫通スリーブの補強	○					各工事の開口用		機械室照明設備工事					○			既製品レンジフード換気扇							○	現場製作SUSフード					○																				
	開口補強を要する型枠材及び取り付け	●	●	●	●	●			電源及び接地線工事					○			ミニキッチン本体							●	ミニキッチン用換気送風機・ダクト					●																				
	開口部の補強	●							機械室・ビットの点検用コンセント					○			ミニキッチン用衛生配管								ミニキッチン用衛生配管					●																				
	開口補強を要しない型枠材及び取り付け	●	●	●	●	●			煙感知器設置工事					○																																				
	貫通孔・開口部の墨出し	○	●	●	●	●	各工事の開口用		停電時非常電源識別接点引込み工事					○																																				
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	●	●	●	●	各工事の開口用		火災時識別リレー接点引込み工事					○																																				
2.S・SRC造 (梁・壁・床)の 貫通孔・開口部	S・SRC造鉄骨貫通鋼管スリーブ・補強	○						放送用信号線引込み工事					○		6.便所廻り	洗面カウンター(既製品)							○	洗面カウンター(既製品以外)	●																									
	開口補強を要する型枠材及び取り付け	○	○	○	○	○	各工事の開口用	インターホン・エレベータ一監視盤の昇降路外配管工事					○			鏡(規格寸法品)							●	鏡(規格寸法以外)					○																					
	開口部の補強	○						同上配線工事					○			衛生陶器及び水栓類							●	身障用手すり・ペーパーホルダー					●																					
	開口補強を要しない型枠材及び取り付け	○	○	○	○	○	各工事の開口用	ビット点検用タラップ					○			既製品カウンターと建築部材とのコーキング	●							衛生陶器廻りのコーキング					●																					
	貫通スリーブ	○	○	○	○	○		乗り場敷居受け					○			身障用手すり・ペーパーホルダー							●						●																					
	貫通孔・開口部の墨出し	○	○	○	○	○	各工事の開口用	エレベータ一監視盤への電源引込み工事					○																																					
	スリーブ・型枠の穴埋め	○	○	○	○	○	防火区画・防煙区画																																											
③ 設備機器の基礎	屋上設置の基礎	●												7.浴室廻り	ユニットバス・ユニットシャワー							○	既製品浴槽(風呂蓋含む)					○																						
	屋上基礎で押さえコンにアンカーしない軽微なもの	○	○	○	○	○		① 軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切り込み及び下地の補強	●						浴槽・洗い場の排水金物						○	洗濯機パン					○																						
	室内設置の基礎	●							補強を要しないボードの切り込み	●																																								
	室内設置の基礎(電気・自家発電)	○							開口部の墨出し	●	●	●	●		●	各工事の開口用																																		
	受水槽基礎	○							リフト天井仕上げ材の器具廻り補修	○							⑧ 事務室廻り	ドアガラリ及びアンダーカット	●																															
	屋外設置の基礎	○					個別エアコン基礎を除く									OAフロア切り込み及び補強		●																																
	機器取り付け用アンカー・架台	○	○	○	○	○		② 既製間仕切り	切り込み及び補強	●																																								
4.昇降機関連	設備機器メンテナンス歩廊	○					打ち合わせによる			位置ボックス	●	●	○	各工所用	⑨ その他	2重ビット及びびトレチのマンホール蓋	○						機器搬入用フック ビーム	○																										
	昇降路及び機械室の築造	○												化粧マンホール上蓋及び蓋の仕上		○						点検口(天井・床下・壁)	●																											
	各階出入口三方枠及び位置表示器・乗場ボタン取付け 用開口部の仮枠穴開け工事	○												排煙口等の天井仕上材の取付け							○	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強	●																											
	三方枠・出入口原					○		③ つりボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用	●	●	●	●	●		各工所用	消火器設置工事	●						消防器																										
	乗場機器取付け後の壁・床・天井仕上げ工事	○							S造設備吊りボルト用構造部材					打ち合わせによる		厨房用グリストラップ						○	トラフ・ビット類(蓋を含む)	○																										
	ビットの防水仕上げ工事	○														地下各水槽躯体及び防水・マンホール・タラップ	○						A L C板・壁開口・補強	○																										
	機械室のシンダーコンクリート打設及び防塵塗装仕上げ	○						4.外壁廻り	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ	○						油サービスタシクの防油堤	○						フリーアクセスフロア内の防水堤	○																										
	機械室床の機器搬入口の仮枠・補強及び復旧工事	○							ウエザーカーバー、バンドキャップ				●																																					
	機械室床のロープ用穴等の仮枠穴あけ工事	○							換気扇				●																																					
	機械室天井のフック設置工事	○							換気扇用枠				●																																					
	機械室マシムビーム受け梁設置工事	○																																																
	昇降路がRC造の時、軌条・中間ビームブラケット他 昇降路内の鉄製部材一式					○																																												
	昇降路がS造の時の中間ビームブラケット受けベース	○																																																

市民福祉会館改修工事(建築工事)

設計図

図面名称 工事区分表1/2

Date

Scale

No.

工事区分表

区分は○印を適用する。●印が有る場合は●印を適用する。

項目	電気				備考	項目	電気				備考	項目	電気				備考					
	電	通	配	線			電	通	配	線			電	通	配	線						
屋外排水設備・外構						電気配線配管																
1. 雨水	屋外雨水排水設備	○				機器付属の制御盤以降の配管配線(接地線共)			○	○	○	○	2次側									
	樹及び樹蓋	○				機器付属の制御盤への電源供給配管配線	●						1次側									
	ルーフトレイン	○				自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線	●															
	雨水たて樋及び横引配管	○			保護のみ	自動扉への電源供給	●															
② 雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備				●	自動扉キースイッチ及び配管	●						配管のみ									
	樹及び樹蓋				●	自動扉本体及びキースイッチ以降の配線	○															
	化粧マンホール上蓋及び、蓋の仕上				●	電動シャッター電源供給	●															
3. 煙突	煙突	○				電動シャッター操作スイッチ用位置ボックス及び配管	●						配管のみ									
	発電機室から煙突までの排気管	○				電動シャッター本体・操作スイッチ及びその間の配線	○															
	煙道接続用スリーブ	○				機器と付属操作スイッチの渡り配管	●															
4. 浄化槽の躯体	現場施工形	○				機器と操作スイッチの渡り配線			●	○												
	ユニット形				○	小便器用節水装置への電源供給	●															
5. 地下貯油槽 (タンク室を設ける場合)	タンク室の躯体	○				注油口内アース端子よりのアース用配管配線	●															
	タンク室の乾燥砂充填				○	防火戸の運動制御器・煙感知器・吸着板・ラッチ受座の取付け			○													
	タンク室のタンク本体及び配管				○	上記の配線			○													
	タンク室を設けない場合のタンク及び設置工事				○	防火・防煙シャッター及び二次側配線	○	●														
6. その他	駐車場ガソリントラップ	○				上記運動制御器・煙感知器の取付け及び配線			●													
						防煙ダンパー				○												
						上記運動制御器・煙感知器の取付け及び配線			○													
						排煙口				○												
						上記運動制御器・煙感知器の取付け及び配線			○													
						電気錠への電源供給			○													

市民福祉会館改修工事 (建築工事) 設計図

Date

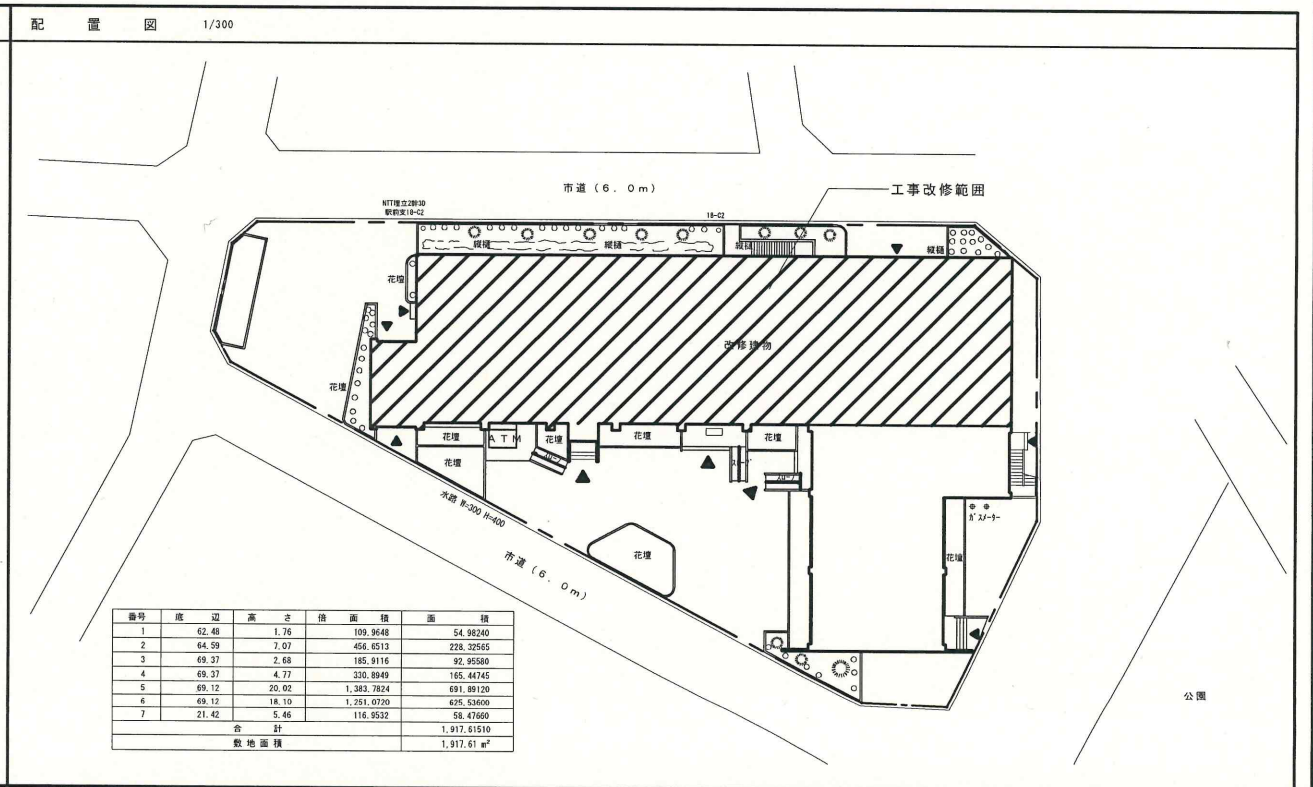
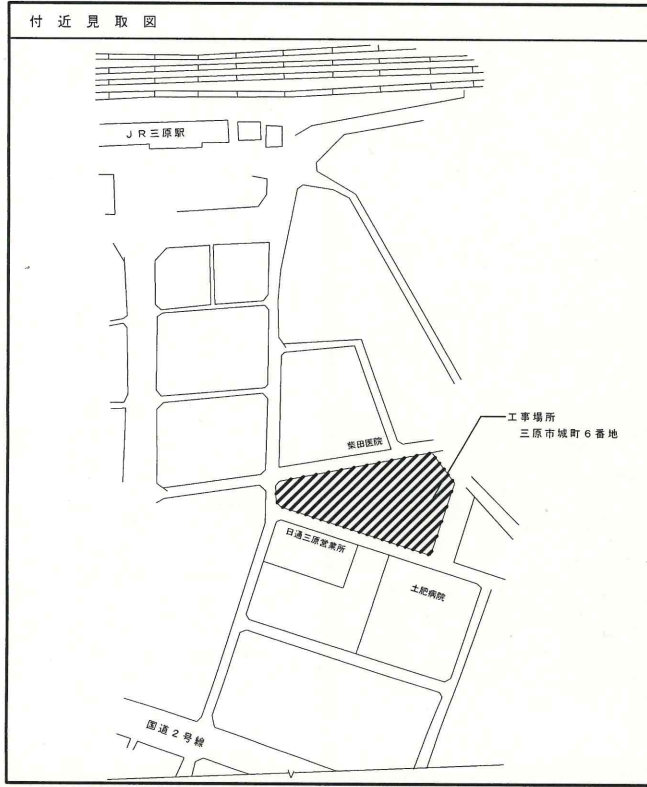
図面名称 工事区分表2/2

Scale

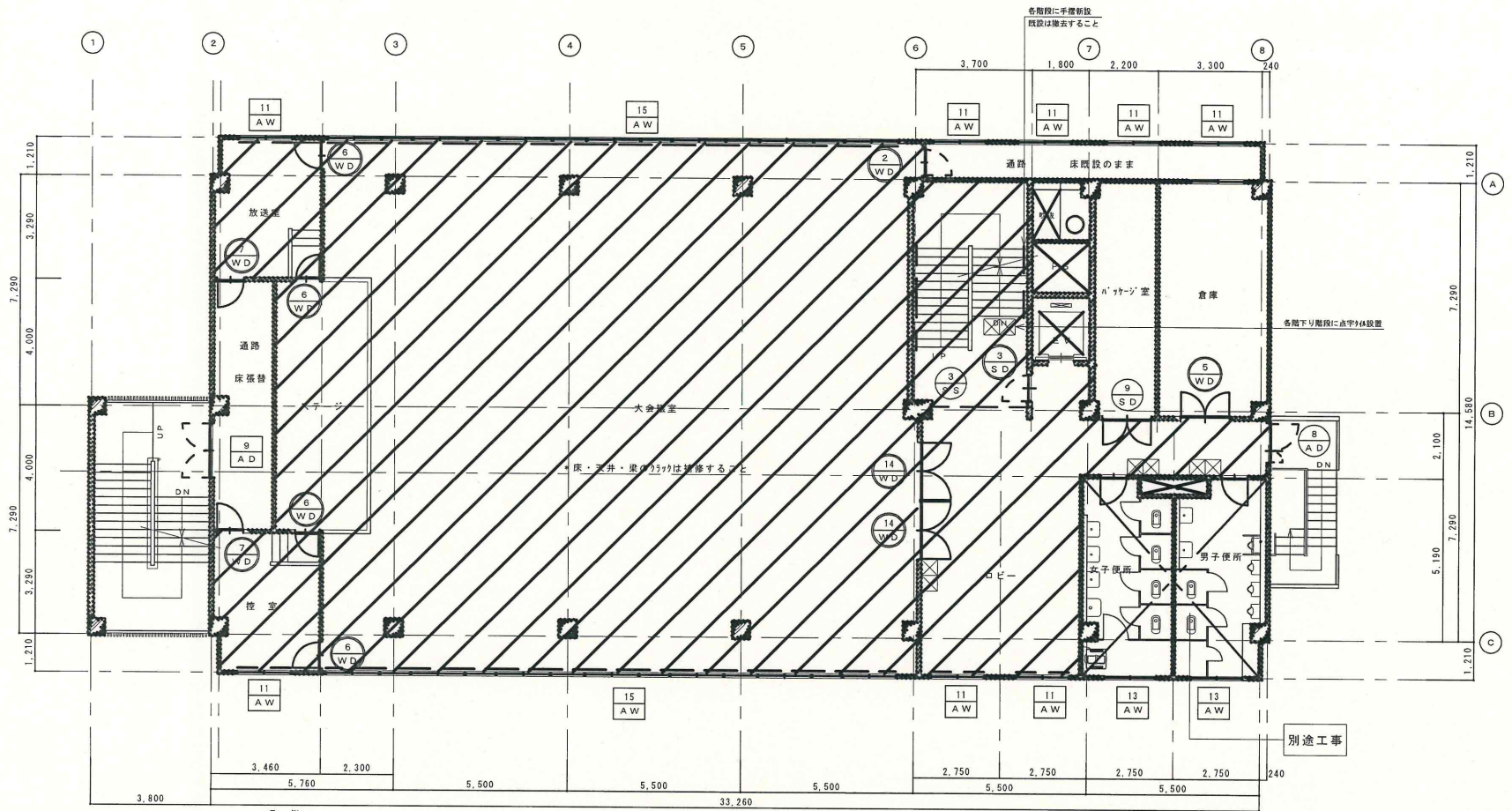
No.

5-2

建 物 概 要			一 般 事 項						
工事名称	三原市民福祉会館	各階床面積 (㎡)	下地略記号			塗装略記号		法定防火認定番号 (通則認定)	
建築主	三原市	R階	53.443	C コンクリート			SOP 合成樹脂調合ペイント	不 燃	準不燃
工事場所	広島県三原市城町6番地	5階	596.978	CB コンクリートブロック			AEP 合成樹脂エマルジョンペイント	第1001号	石綿シレート 第2015号
用途地域	商業地域 防火指定なし	4階	517.082	ALC 軽量気泡コンクリート			VP 塩化ビニール樹脂エナメル	第1003号	石膏ボード t=9.0以上 第2016号
面 積	敷地面積 1,917.61 ㎡	3階	673.963	LGS 軽量鉄骨			CL クリヤラッカー	第1004号	化粧石膏ボード t=9.0以上 第2031号
	建築面積 1,099.06 ㎡	2階	673.963	W 木造			OS オイルステン	第1021号	岩綿吸音板 t=9.0以上
	延床面積 3,671.851 ㎡	1階	992.262	CK コンクリート金ゴテ仕上				第1061号	石綿けい酸カルシウム板
建物概要	構造概要 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上5階 棟屋1階建て	地階	164.160	MO モルタル金ゴテ仕上					
	基礎 A.H.S ¹ (4打 (7-24-g)-施工)	計	3,671.851	GB 石膏ボード					壁装材料
	最高軒高 20.650m			RB 岩綿吸音板					第0002号 織物壁紙
	最高高さ 24.900m			P 発泡プラスチック系床下地材					第0003号 ビニール壁紙
	居室床高 0.400m								基材同等
			* 配管等が防火区画を貫通する場合、第129条2項、及び告示3183号に準ずる						



内部仕上表 < 既設 >											内部仕上表 < 改修後 >										
階	室名	床	巾木	壁	天井	備考	階	室名	床	巾木	壁	天井	備考								
5	大会議室	リノリューム貼	ソト巾木 H=100	モザイク及び フレキシブルボード t=6 下地 ビニールクロス貼	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト t=6 吹付	3000 3900	5	大会議室	リノリューム撤去の上 ビニール床シート t=2.0	ソト巾木撤去の上 ビニール巾木 H=100	ビニールクロス 撤去の上	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	3000 3900	VB8*77A. 額縁は SOP塗替							
	ステージ	桧板松 t=15張 桧板用板 t=15 ワックス	ソト巾木 H=60	OS	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付	2850		ステージ	既設 板貼を研削 の上清掃の上 ワックス	既設ソノライト H=60 を 清掃の上 OS 塗	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去の上	2850	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
	ホール	Pタイル貼	ソト巾木 H=100	モザイク	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト t=6 吹付	3000		ロビー	Pタイル撤去の上 既設モザイク 下地 一部モザイク 下地 ビニール床シート t=2.0	ソト巾木撤去の上 既設モザイク 下地 ビニール巾木 H=100	白モザイク吹付 撤去の上 既設モザイク AEP塗	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	3000	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120							
	湯沸室	Pタイル貼	ソト巾木 H=100	モザイク	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト t=6 吹付	3000		男子便所	モザイクのみ撤去 一部ソノライト打設し はつり部コンクリート打設し 下地調整後モザイク補修の上 ビニール床シート t=2.0	100角タイルのみ撤去の上 ビニール巾木 H=70	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	3000	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
	倉庫(小)	モザイク目地切	モザイク H=100	白モザイク吹付	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト t=6 吹付			女子便所	モザイクのみ撤去 一部ソノライト打設し はつり部コンクリート打設し 下地調整後モザイク補修の上 ビニール床シート t=2.0	100角タイルのみ撤去の上 ビニール巾木 H=70	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	3000	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
	男子便所	77A*77B防水 押えコンクリート モザイク 磁器タイル	100角タイル貼 H=1900	モザイク	石膏ボード t=4.0 目隠し張り	3000		放送室	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2	既設撤去の上 ビニール巾木 H=100	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	2600	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
	女子便所	77A*77B防水 押えコンクリート モザイク 磁器タイル	100角タイル貼 H=1900	モザイク	石膏ボード t=4.0 目隠し張り	3000		控室	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2	既設撤去の上 ビニール巾木 H=100	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	2600	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
	放送室	Pタイル貼	ソト巾木 H=100 木製 H=100	モザイク 一部難燃有孔 ベニヤ t=6.0	石膏ボード t=9.0	2600		通路	Pタイル撤去の上 ビニール床シート t=2	既設撤去の上 ビニール巾木 H=100	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	2600	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
	控室	Pタイル貼	ソト巾木 H=100 木製 H=100	モザイク 一部難燃有孔 ベニヤ t=6.0	石膏ボード t=9.0	2600		倉庫(大)	既設のまま	既設のまま	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	2600	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
	通路	Pタイル貼	フレキシブルボード t=4.0 ソト巾木 H=100	フレキシブルボード t=4.0	石膏ボード t=9.0	2600		通路(北側)	既設のまま	既設のまま	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	2600	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
	倉庫(大)	モザイク目地切	モザイク H=100	白モザイク吹付	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト t=6 吹付			屋内階段(各階)	既設撤去の上 Pタイル貼	既設モザイク VPの上 AEP塗	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	2600	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
	屋内階段(各階)	Pタイル貼	防水モザイク H=100 H=150	モザイク	石膏ボード t=9.0			倉庫(大)	既設のまま	既設のまま	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	2600	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
	外壁	モルタル刷毛引	ミュールコート吹付					通路(各階)	既設撤去の上 Pタイル貼	既設モザイク VPの上 AEP塗	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	2600	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
								外壁	既設のまま	既設のまま	石膏ボード t=9.0 下地 ソノライト吹付 下地共撤去	2600	額縁は SOP塗替 VB8*77A. 額縁は SOP塗替 木 t=20.0 SOP 120x120								
								設備工事による碎り後の壁仕上は建築工事に含む													
								外部階段	鉄部 下地クレン清掃の上 SOP (錆止め共)												



- 凡例
- コンクリート壁
 - コンクリートブロック壁
 - 軽量鉄骨壁
 - 木造壁
 - 既設壁を示す
 - 改修部分
 - 手摺新設 (スチールφ38 t=2)
 - 点字付の 塩ビ (注意喚起付) 各箇所3枚貼
 - 既設建具を示す
 - 改修建具を示す
 - 新設建具を示す

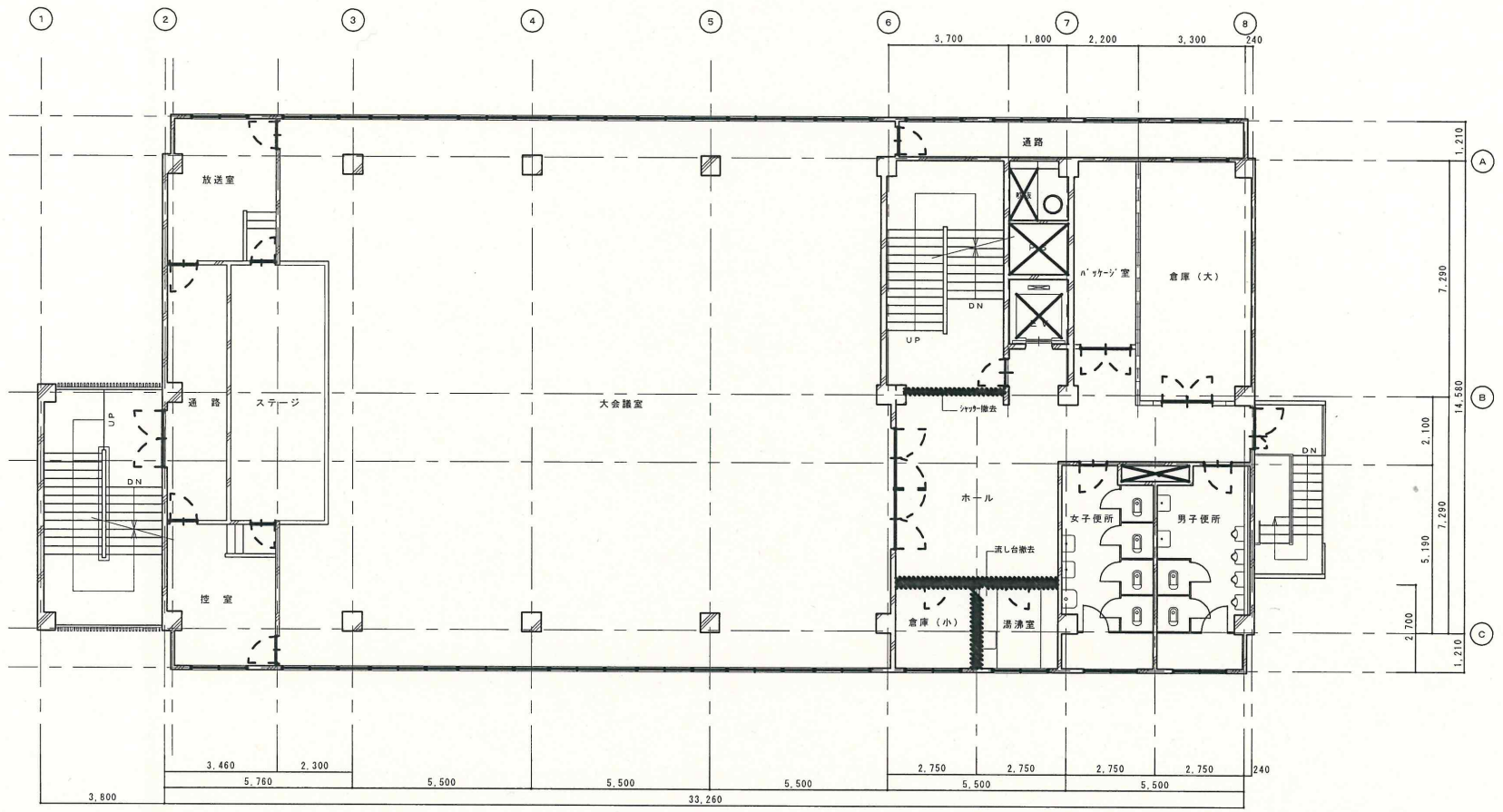
市民福祉会館改修工事 (建築工事) 設計図

Date

図面名称 5階平面図 (改修後)

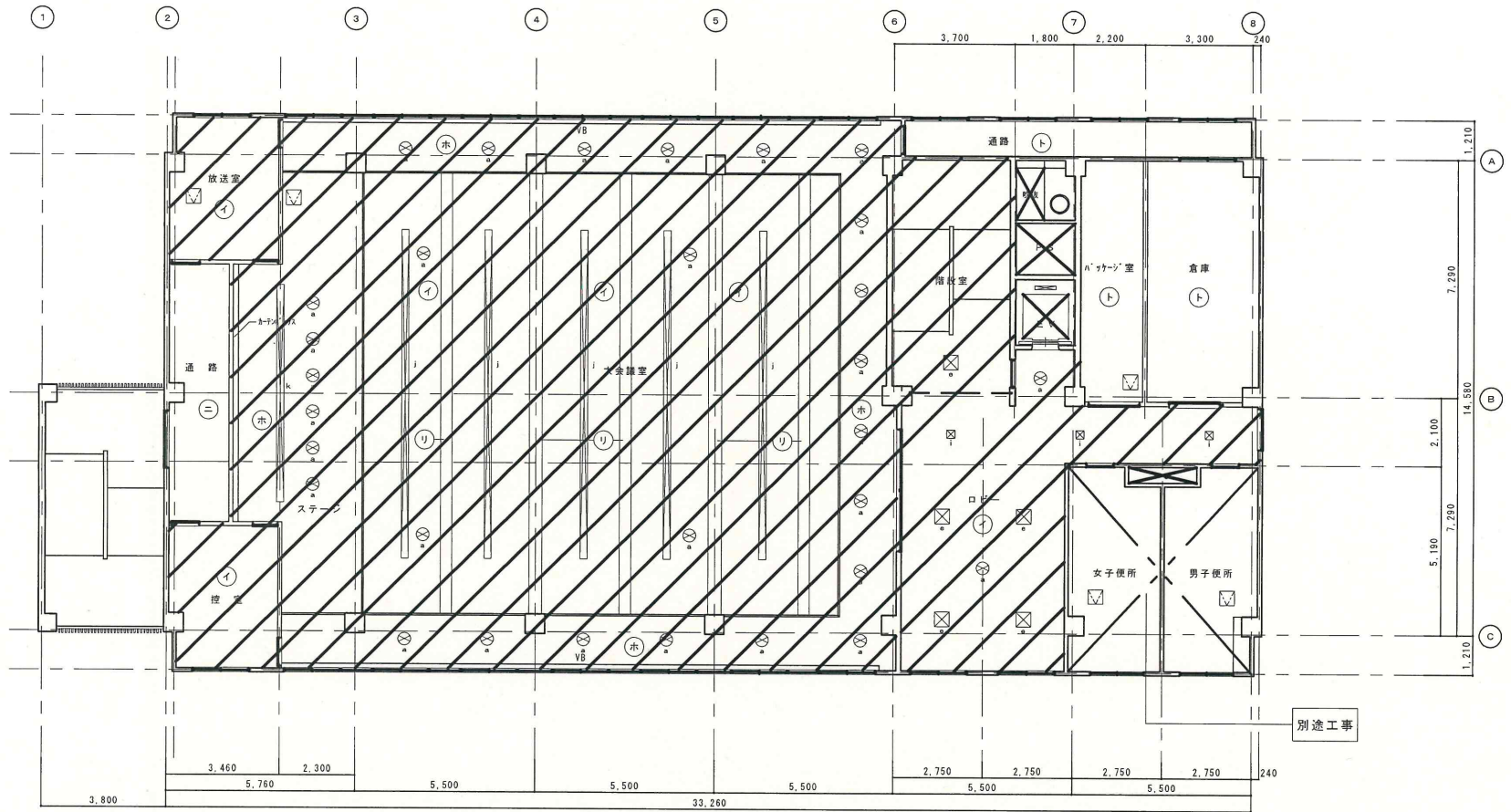
Scale 1/100

No. 8



- 凡例
- コンクリート壁
 - コンクリートブロック壁
 - 軽量鉄骨壁
 - 木造壁
 - 撤去を示す

	市民福祉会館改修工事（建築工事） 設計図		図面名称 5階平面図（既設）
Date		Scale	1/100
		No.	9



仕上

記号	仕上げ	記号	仕上げ
イ	LGS 下地 GB t=9.5 捨張り 岩綿吸音板 t=12.0	チ	木 天井下地 ペニヤ t=4.0
ロ	既設 木天井下地 フリトリ*ト*杉貼付	リ	既設 金網仕上げの上 フリトリt=25 (ABC商会) 同等品 コ-7-部7B3部材使用
ハ	LGS 下地 ガイ&板 t=5.0 VP塗		
ニ	LGS 下地 化粧石膏*ト* t=9.5		
ホ	LGS 下地 GB t=9.5 下地 ビニ-ルクロス		
ヘ	既設 既設 VPの上 AEP塗	VB	フラインド*ト* W=120
ト	既設 のまま	□	天井点検口 450□

天井開口補強リスト

記号		記号	
ア	820×820	ハ	300×2500
イ	820×1110	チ	250×250
ロ	300×1250	ニ	220×10060
ハ	200×1250	ホ	220×6650
ニ	450×450		
ホ	300×3750		
ト	640×1350	φ	225φ

凡例
 改修部分

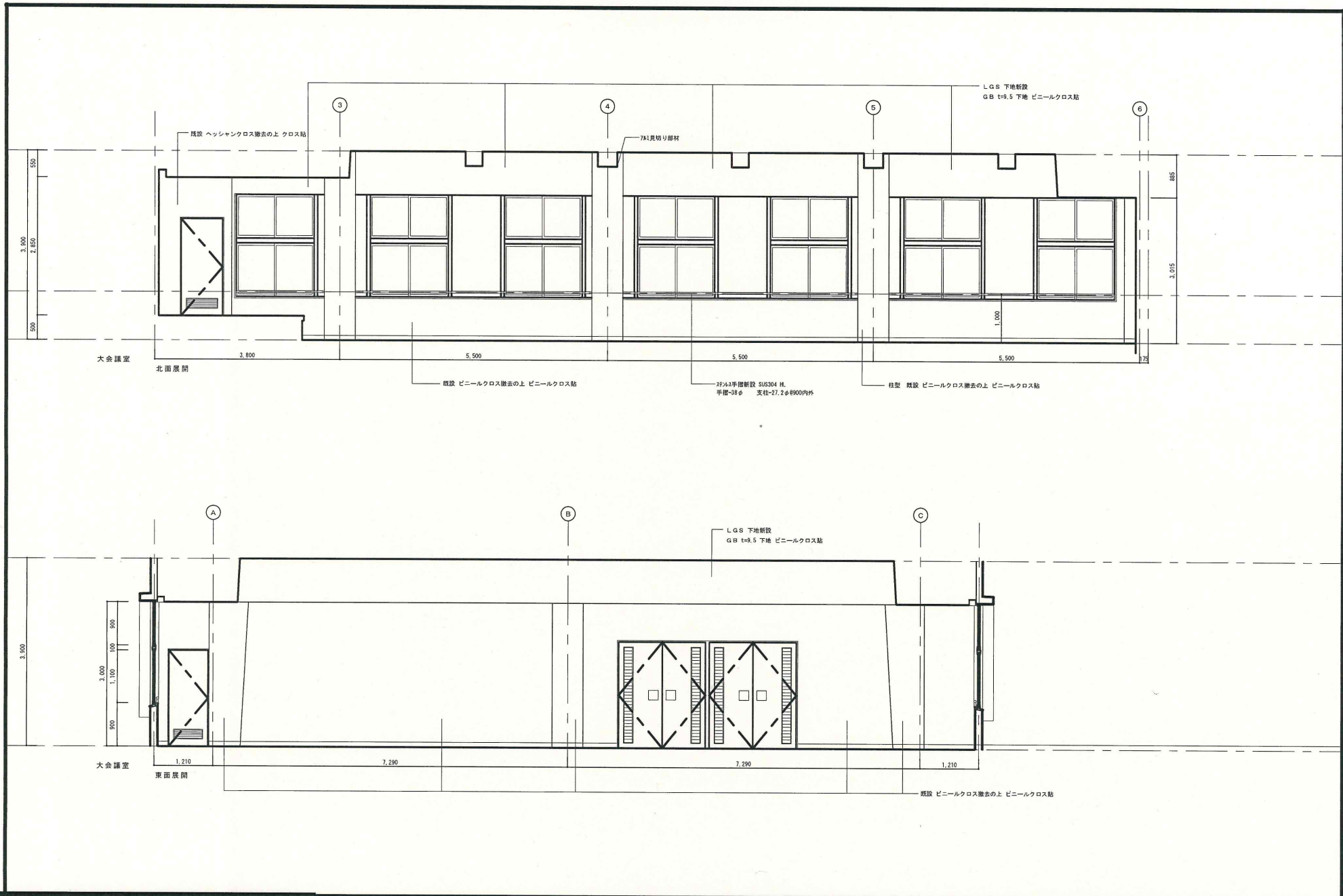
Date

Scale
1/100

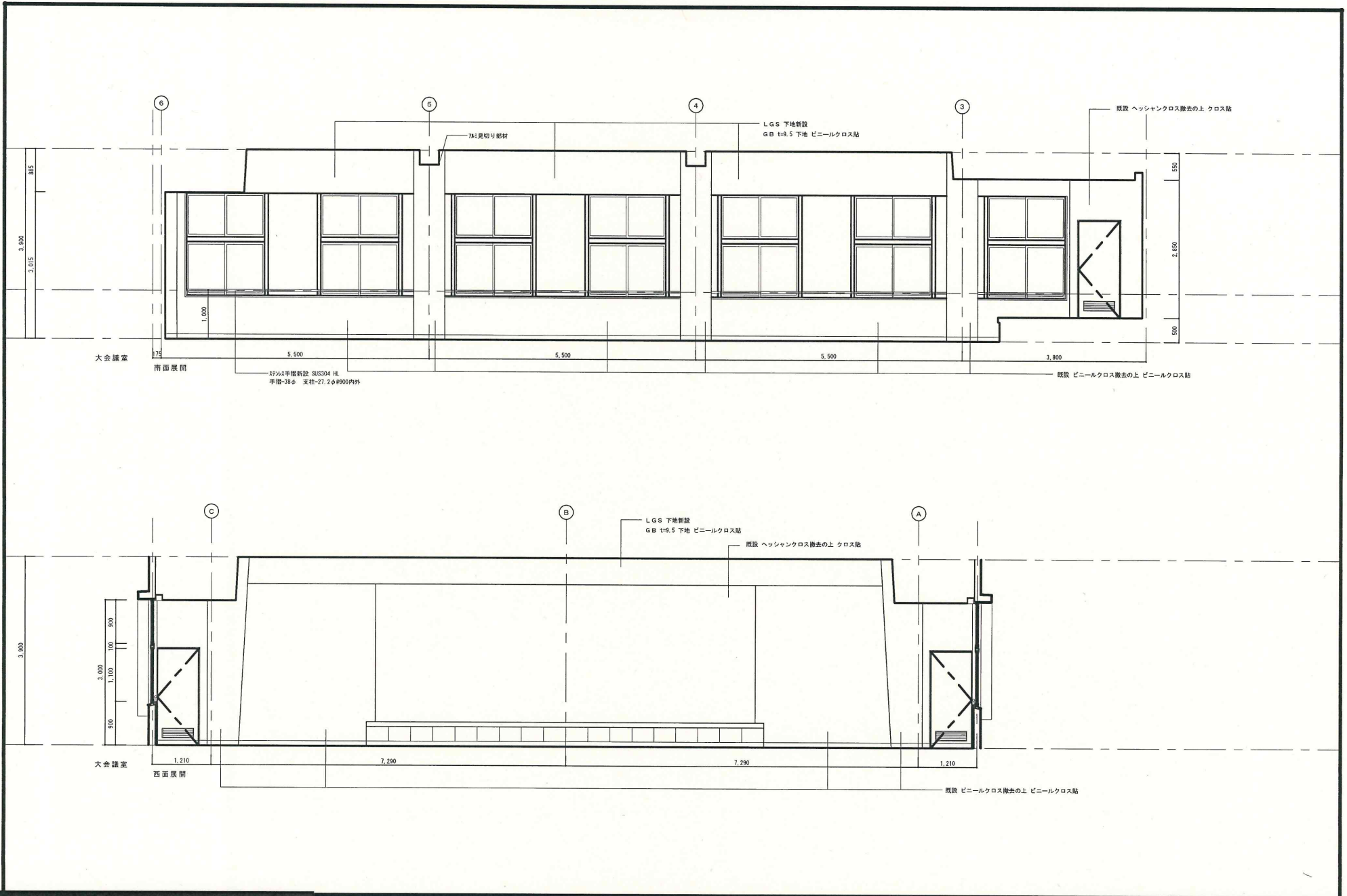
No.
10

符号	名称	③ S.S	防火防煙シャッター (甲種)	⑧ A.D	アルミ製親子ドア	⑨ S.D	鋼製両開き扉	⑩ W.D	木製片開き戸	⑪ W.D	木製片開き戸	⑫ W.D	木製両開き戸	⑬ W.D	木製片開き戸
形状	寸法														
場所	数量	階段室	1	階段	1	倉庫	1	便所	2	通路	1	倉庫	1	ステージ	4
材質	仕上	スチール	SOP	アルミ		スチール	SOP	木製		木製		木製		木製	
ガラス	見込(ア)			P-5.0	70		100	F-4.0	40		40		40		40
執措の材質及び形状															
金具		①イビレキ、シフトキー、煙感知器連動													
符号	名称	⑦ W.D	木製片開き戸	⑭ W.D	木製両開き戸	⑯ S.D	鋼製片開き扉 (防火戸)	⑰ W.D	鋼製片開き扉 (防火戸)	⑱ S.D	鋼製両開き格子扉	⑲ A.D	アルミ製両開きドア	⑳ A.W	アルミ製引き違い窓
形状	寸法														
場所	数量	放送室	2	大会議室	2	階段室	1	PS	1	パッケージ	1	階段	1	ロビー	8
材質	仕上	木製	①イ合板両面7mm、小口空木SOP	木製	①イ合板両面7mm、小口空木SOP	スチール	OPの上SOP	スチール	OPの上SOP	スチール	OPの上SOP	アルミ		アルミ	
ガラス	見込(ア)		40		40		100		100		100		FL-5.0	FL-3.0、北側-型-4.0	70
執措の材質及び形状		ステンレス丁番(100)3枚吊、リソグ-本締錠													
金具		戸当り、D.C.													
符号	名称	⑬ A.W	アルミ製引き違い窓	⑮ A.W	アルミ製引き違い窓										
形状	寸法														
場所	数量	便所	2	大会議室	2										
材質	仕上	アルミ		アルミ											
ガラス	見込(ア)	型-4.0	70	型-3.0、Fix;FL-5.0、北側-型	70										
執措の材質及び形状		クレセント、引手													
金具		クレセント、引手													

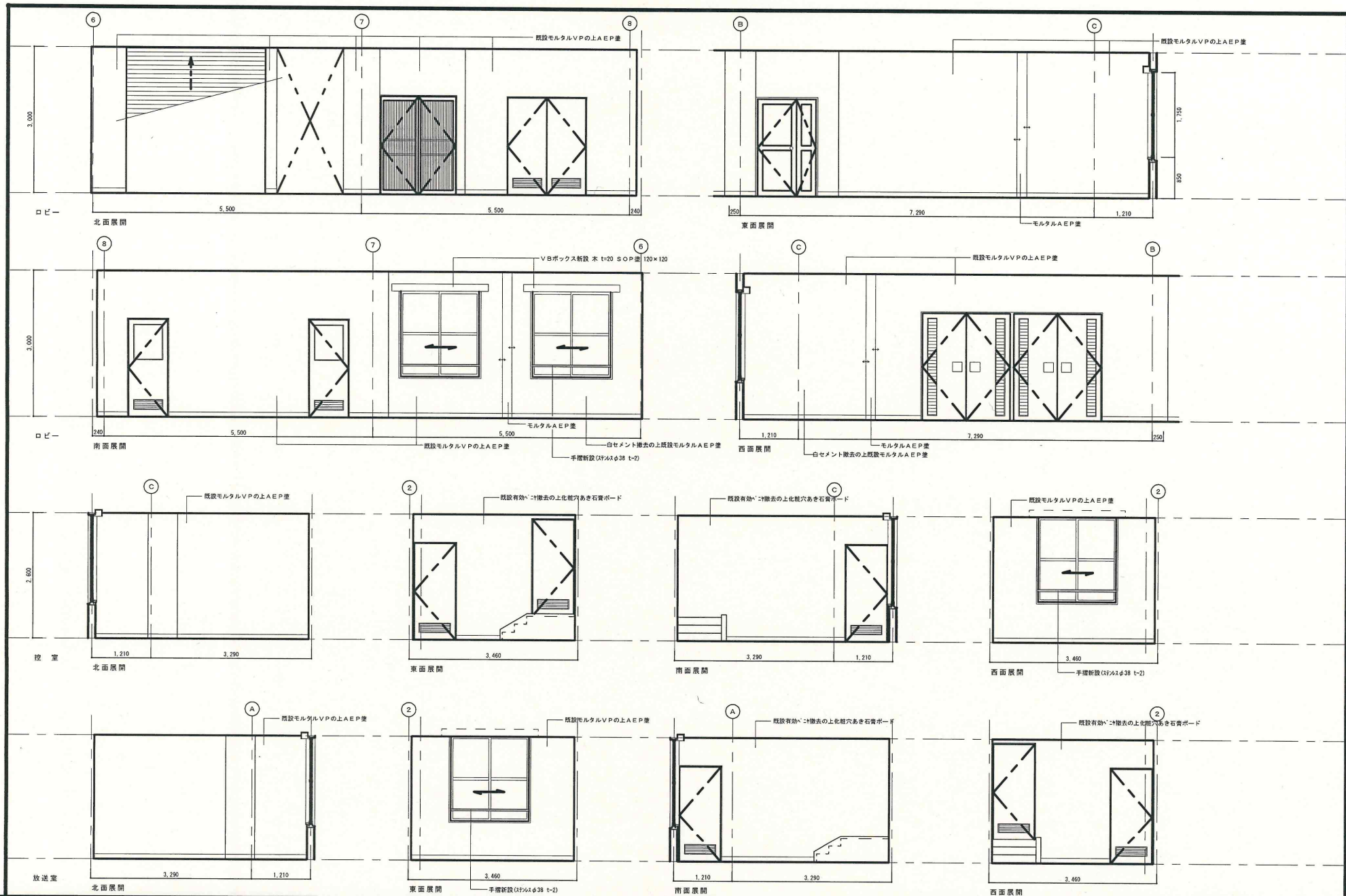
一般事項	1. 建具の符号と種類				2. ガラスの符号と種類				3. 執措の材質及び形状				4. 特記事項			
	符号	種類	符号	種類	符号	種類	符号	種類	符号	材質	形状	1. 据玉の高さ FL+()mm				
1. 各建具寸法は、全て枠内法を示す。	S.T.D	ステンレス製扉	S.T.S	ステンレス製シャッター	S	透明ガラス	P.W	網(縦)入居ガラス (L)	S	スチール	1	2. マスターキー 要・不要				
2. 本表には、造作家具の建具は含まない。	S.D	スチール製扉	S.S	スチール製シャッター	P	磨ガラス	F.W	網(横)入居ガラス (L)	S.T	ステンレス	2	3. ガラスシールは、(防火ビード)又は一般ビードとする。				
3. ドアの開閉方向は、平面図による。	A.D	アルミ製扉	S.T.G	ステンレス製ガラリ	F	型ガラス	H.P	熱線吸収ガラス	A	アルミ	3	4. シリンドー錠のバックセットは()mm				
	W.D	木製扉	S.G	スチール製ガラリ	F.L	フロートガラス	H.F.W	熱線反射ガラス	T.B	チラゾーブロック	4	5. 扉収納箱 要・不要				
	T.D	強化ガラス扉	A.G	アルミ製ガラリ	T.P	強化ガラス	H.R.S	熱線反射ガラス(70%)	M	モルタル	5	6. メーカー指定 有・無				
	S.T.W	ステンレス製窓	W.G	木製ガラリ	L	合わせガラス	H.R.B	熱線反射ガラス(70%)	W	木	7. アミ戸の網・サランネット・ステンレスネット					
	S.W	スチール製窓	F	襖	D	複層ガラス			B	ブロンズ						
	A.W	アルミ製窓	F.D	戸襖												
	W.W	木製窓	S	紙障子												



	市民福祉会館改修工事（建築工事）		設計図	四面名称
				展開図（5F-1）（改修後）
Date				Scale
				1/50
				No.
				12



<div style="background-color: black; width: 100%; height: 15px;"></div>	市民福祉会館改修工事（建築工事） 設計図		図面名称
	Date	Scale	展開図（5F-2）（改修後）
			No. 13



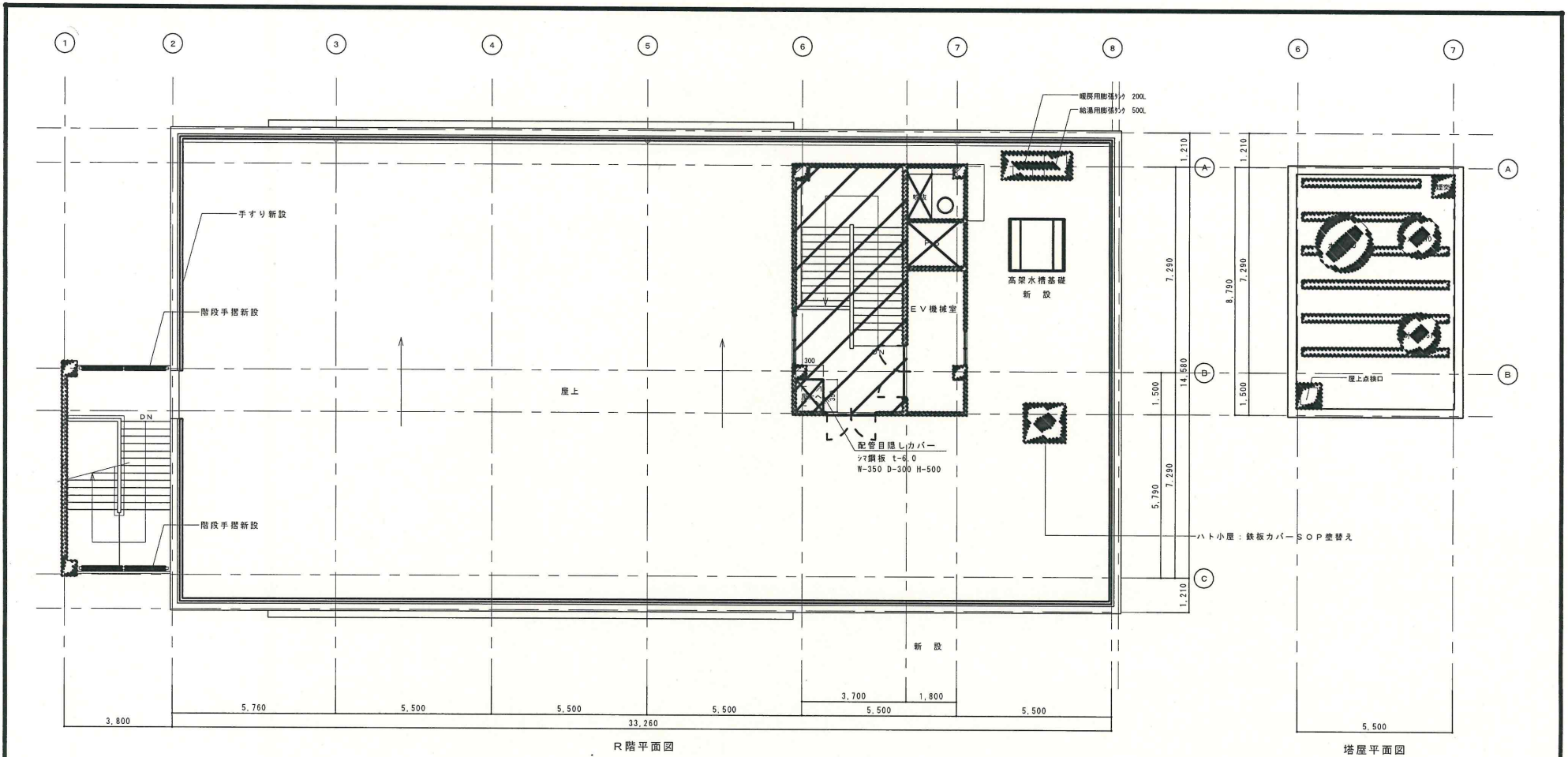
市民福祉会館改修工事（建築工事） 設計図

Date

図面名称 展開図（5F-3）（改修後）
放送室・控室 現況図（カラ）

Scale 1/50

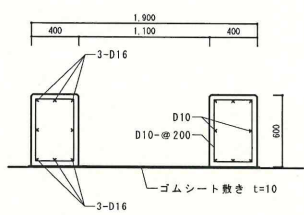
No. 14



R階平面図

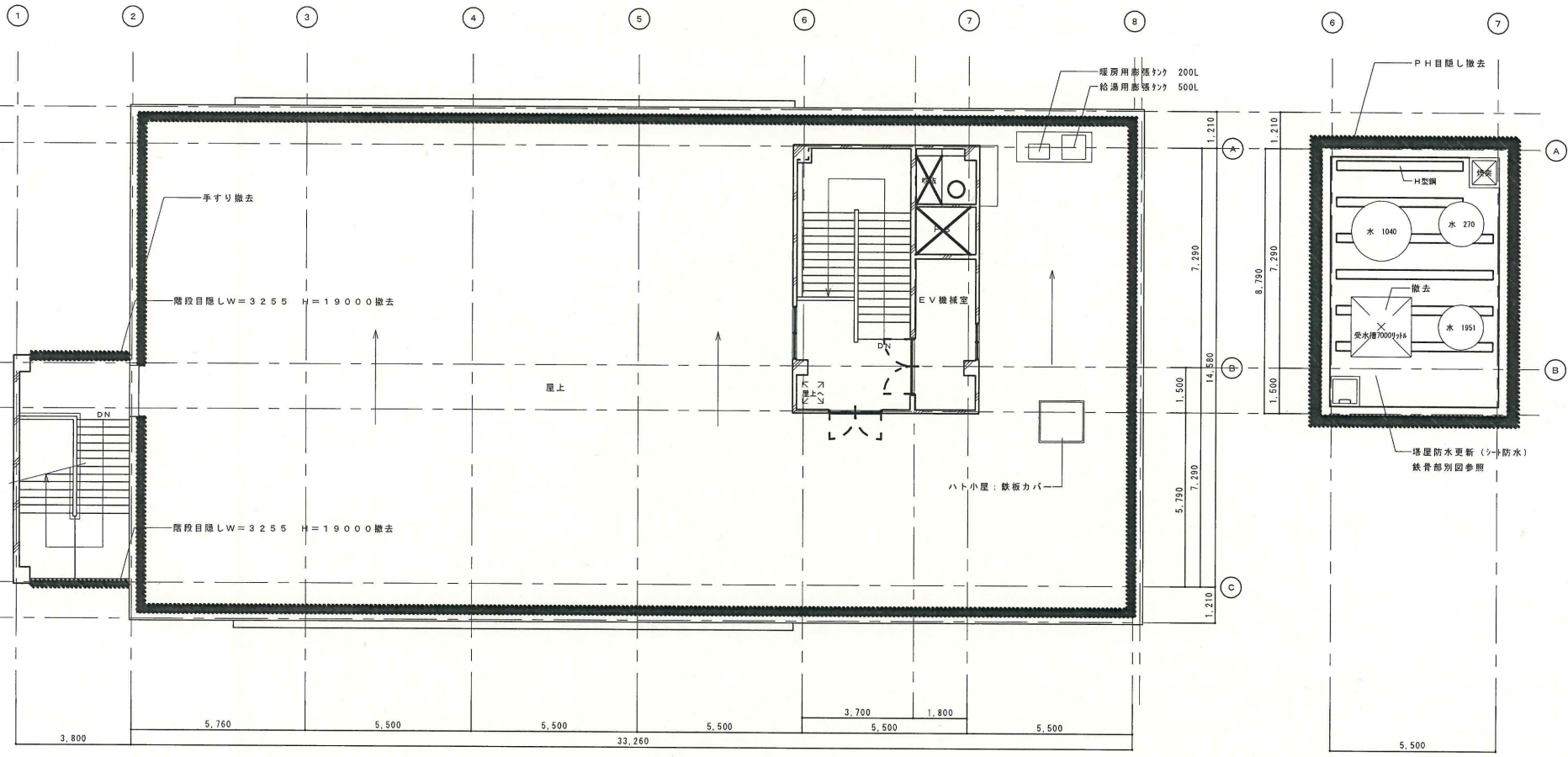
塔屋平面図

- 凡例
- コンクリート壁
 - コンクリートブロック壁
 - 軽量鉄骨壁
 - 木造壁
 - 既設を示す
 - 改修部分



高架水槽基礎断面詳細図 1:30

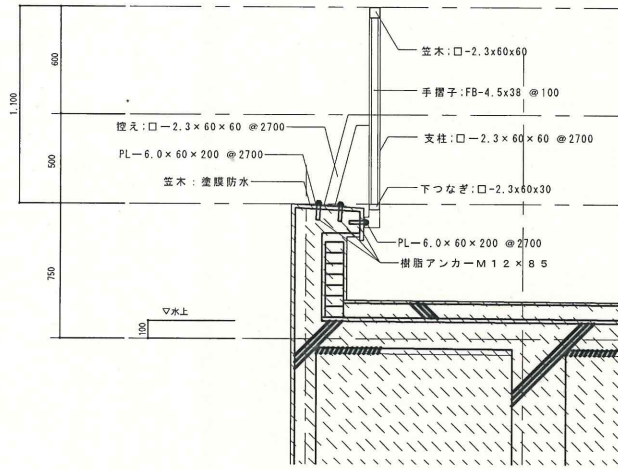
市民福祉会館改修工事（建築工事）				設計図				図面名称	
								R階・塔屋平面図（改修後）	
Date								Scale	1/100
								No.	
								15	



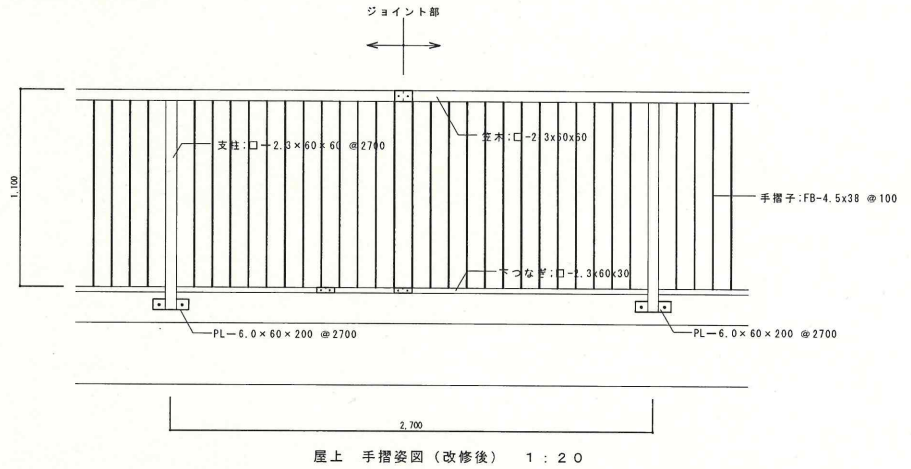
- 凡例
- コンクリート壁
 - コンクリートブロック壁
 - 軽量鉄骨壁
 - 木造壁
 - 撤去を示す

R階平面図

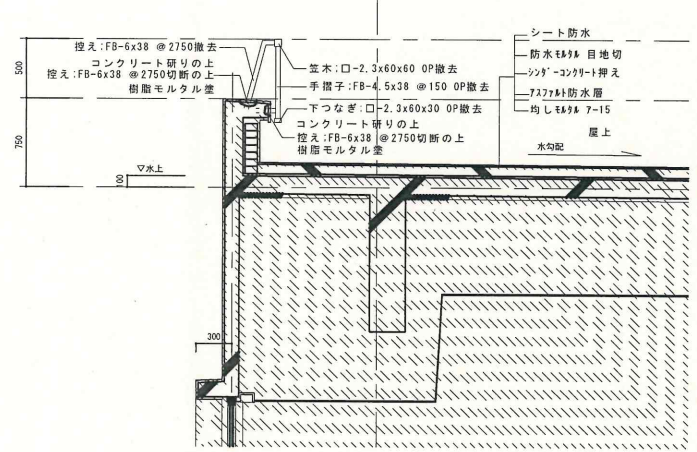
塔屋平面図



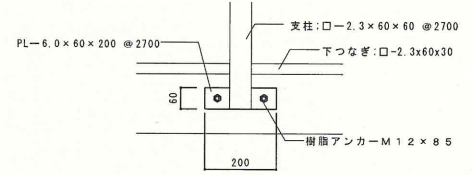
注: 新設鉄部は全て溶融亜鉛メッキとする
屋上 手摺断面詳細図 (改修後) 1:20



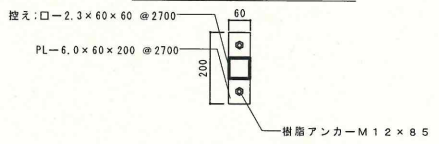
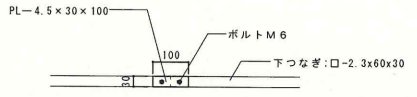
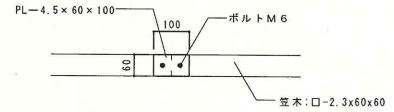
屋上 手摺姿図 (改修後) 1:20



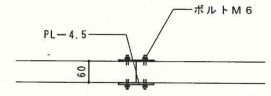
屋上 手摺断面詳細図 (既設) 1:30
既設部分



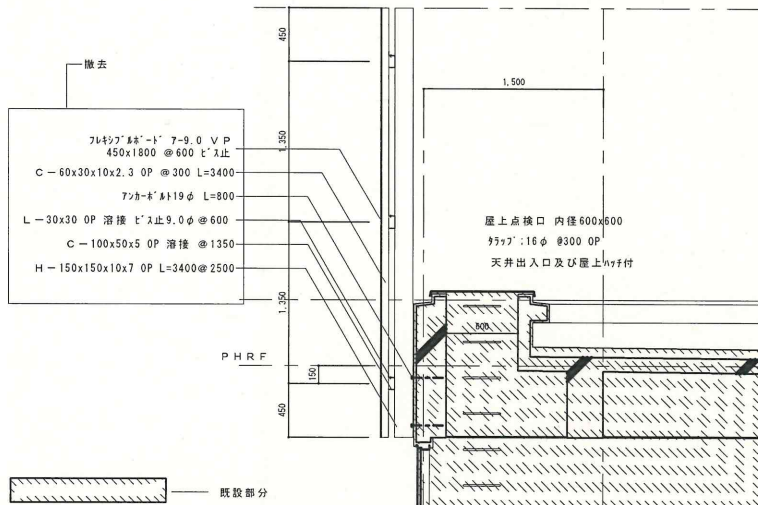
支柱取り付け詳細図 1:10



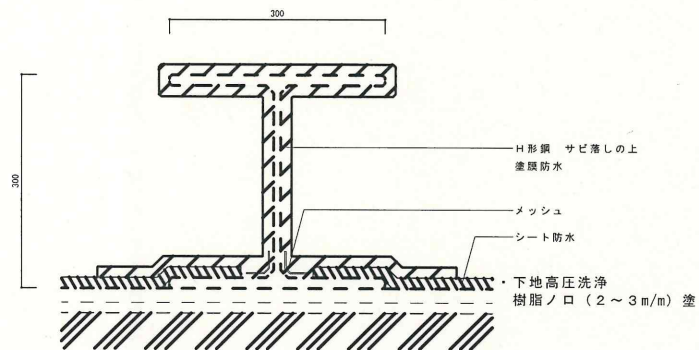
控え取り付け詳細図 1:10



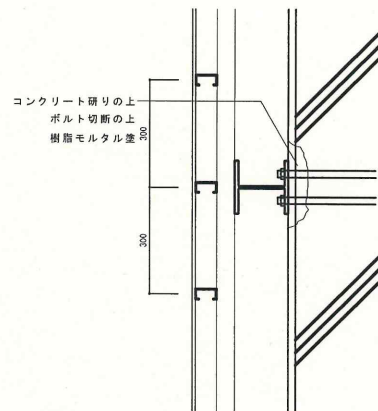
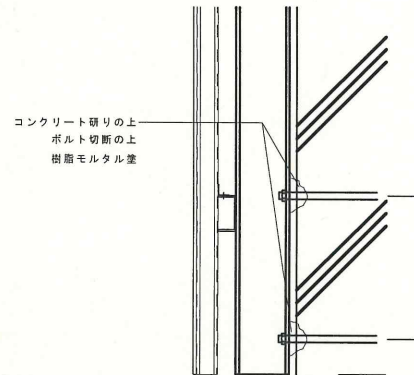
ジョイント部詳細図 1:10



塔屋 目隠し断面詳細図 (既設) 1:30

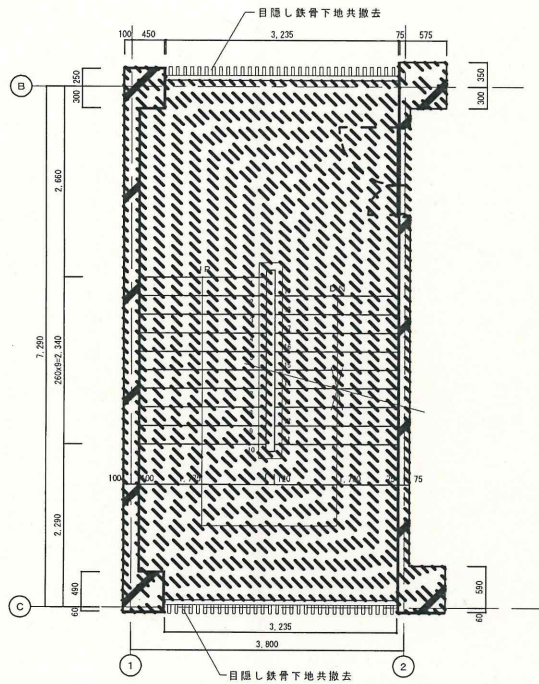


塔屋鉄骨部防水納まり 1:5



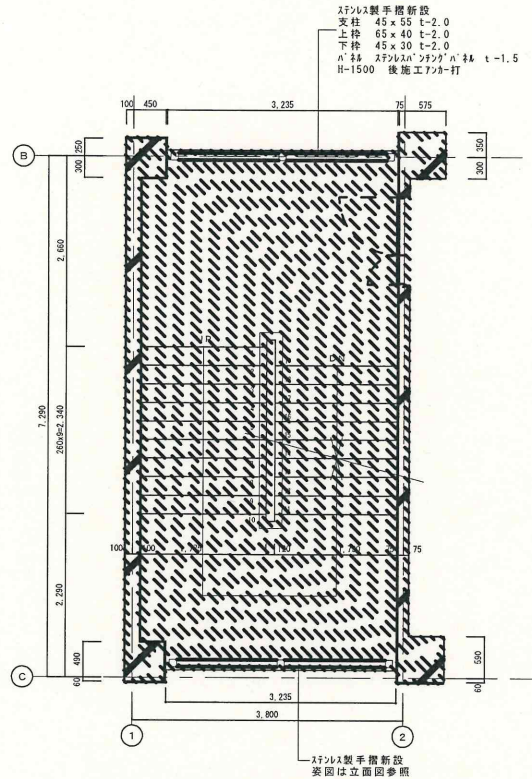
塔屋 目隠し詳細図 (既設) 1:10

* 塔屋目隠し撤去の際 旗竿は適所に移設のこと

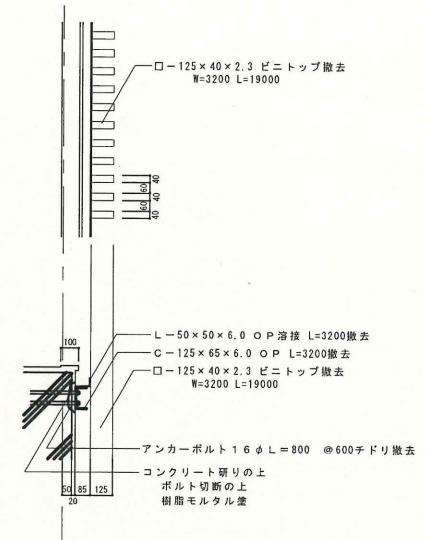


階段目隠し平面詳細図 1F~RF (既設) 1:50

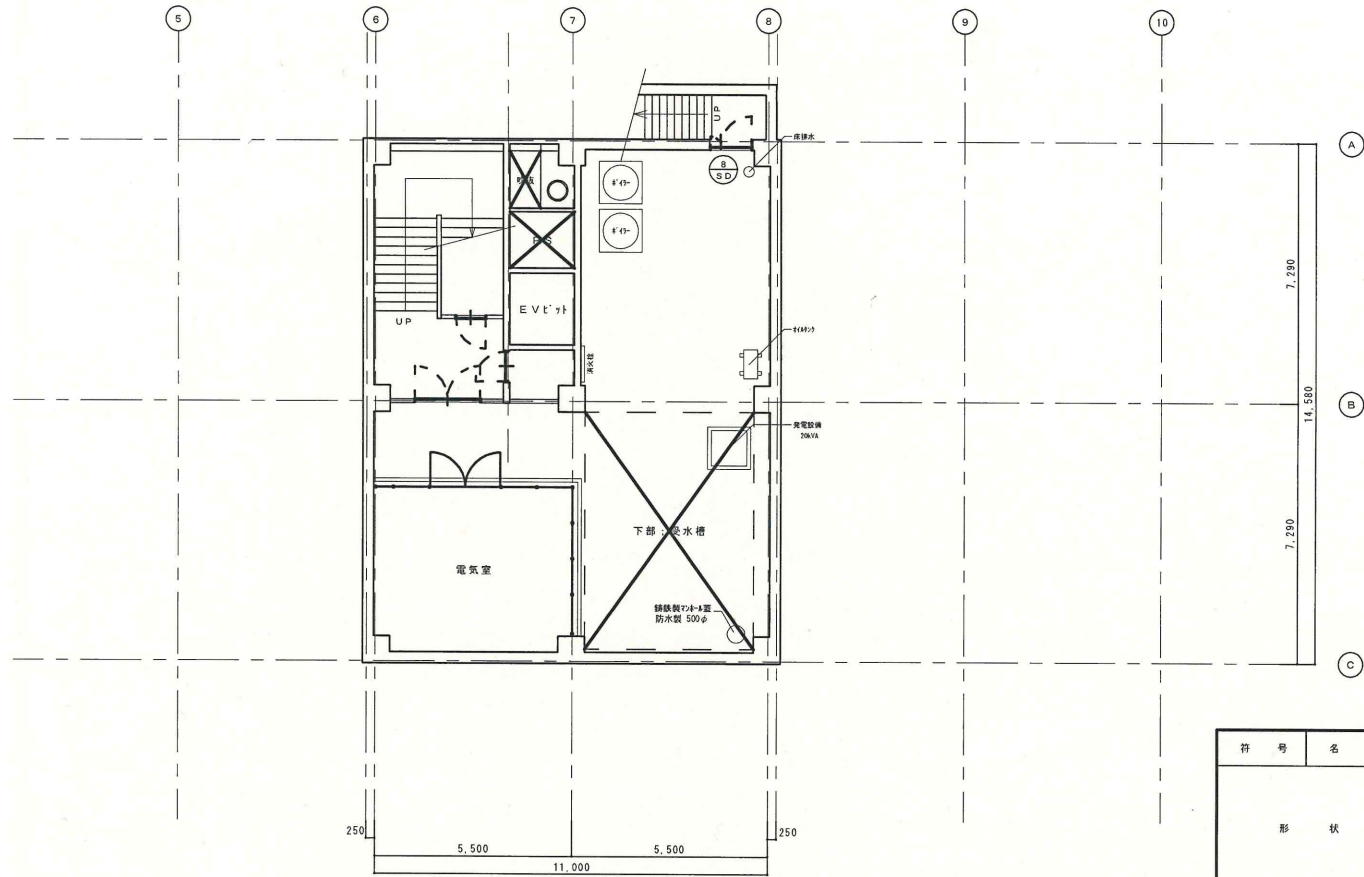
—— 既設部分



階段手すり平面詳細図 1F~RF (改修後) 1:50



目隠し詳細図 (既設) 1:20



○R/S/D — 新設建具を示す

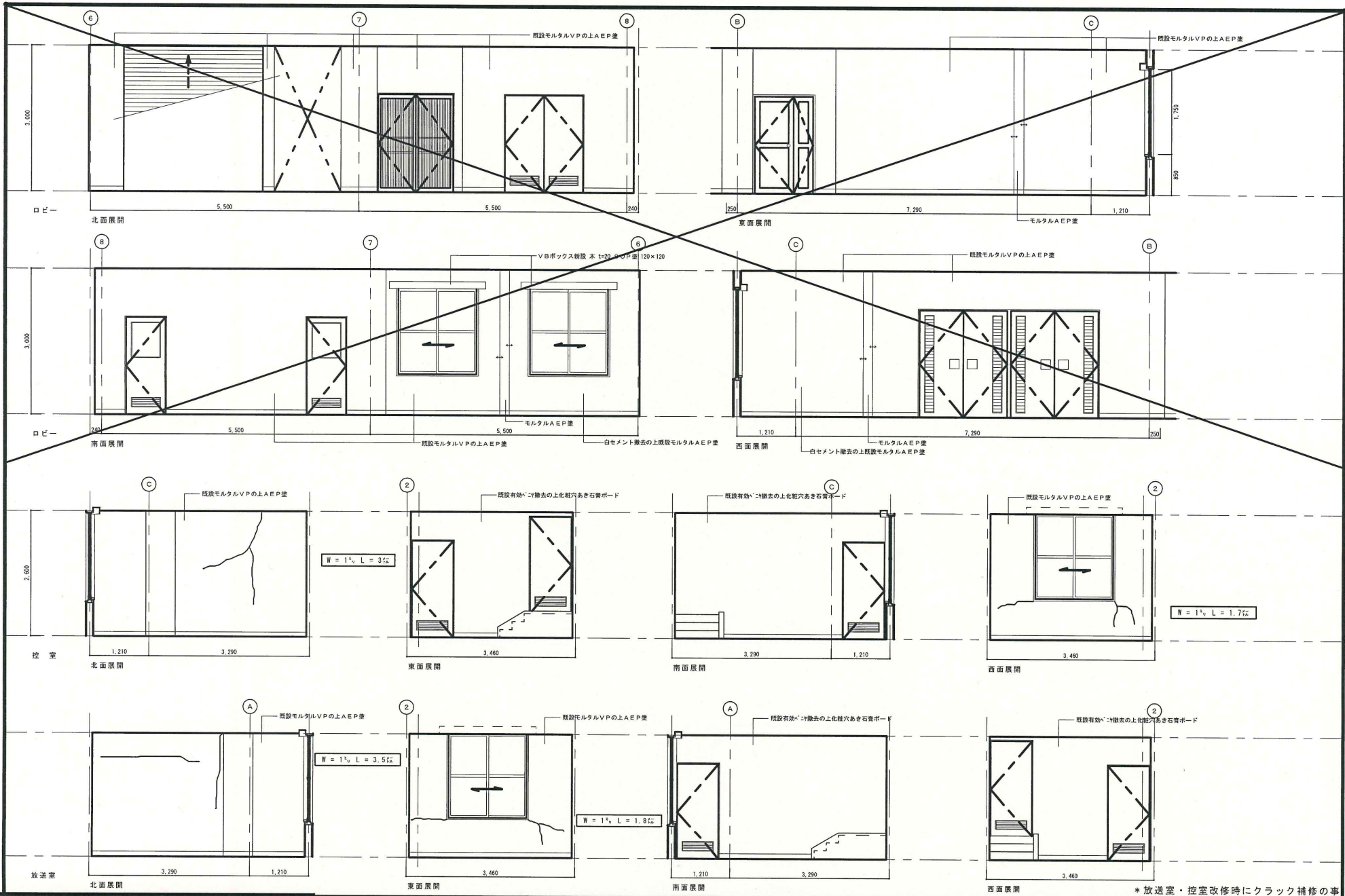
符 号	名 称	○R/S/D	スチール製親子ドア
形 状			
寸 法			
場 所	数 量	階 段	1
材 質	仕 上	スチール	OP
ガラス	見込(A)		100
乾摺の材質及び形状		ビニルシート、D.C.、取手、箱錠	
金 具			

市民福祉会館改修工事（建築工事）工事設計図

Date

図面名称
地階平面図

Scale 1/100 No. 20



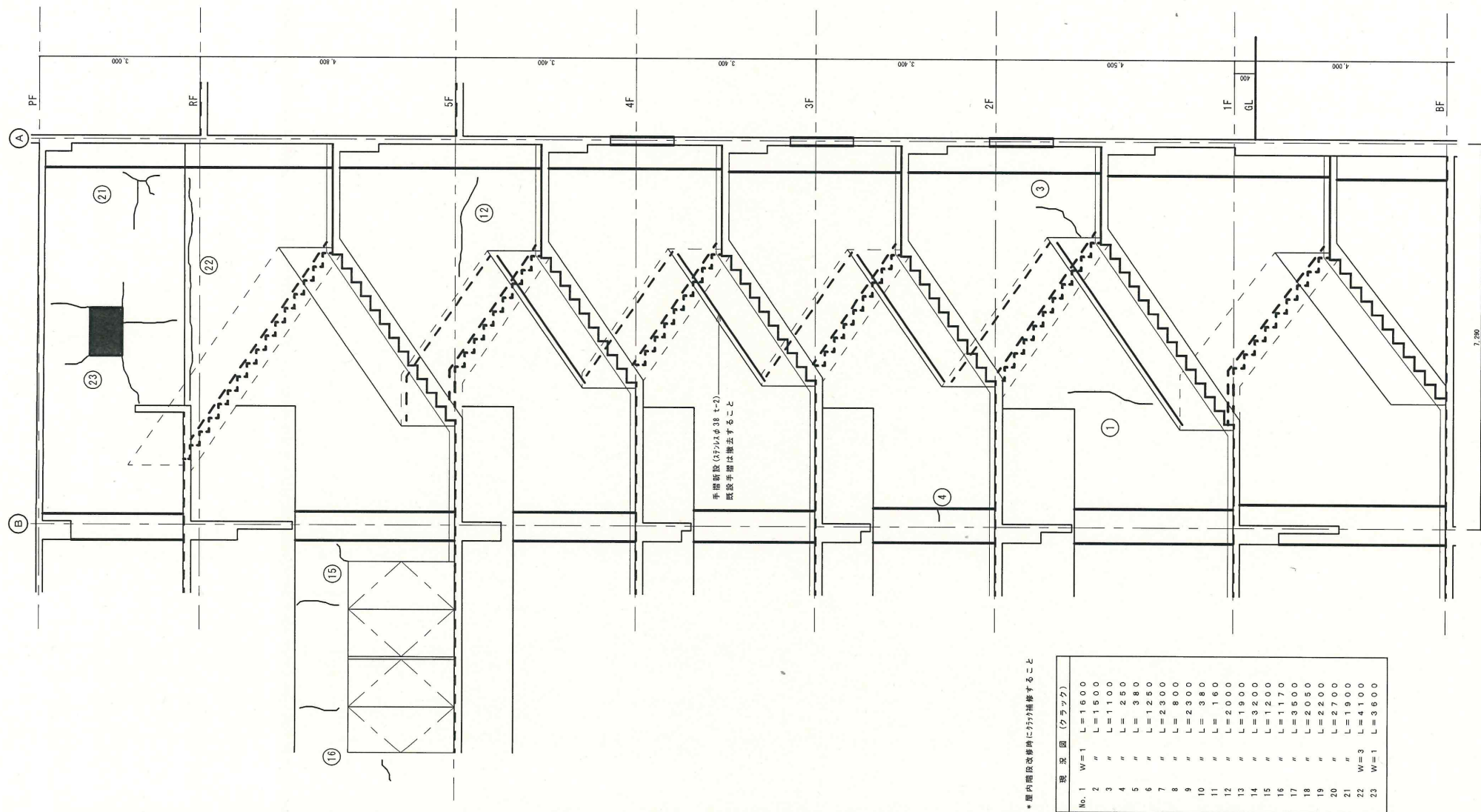
市民福祉会館改修工事（建築工事） 設計図

Date

図面名称
放送室・控室 現況図(クラック)

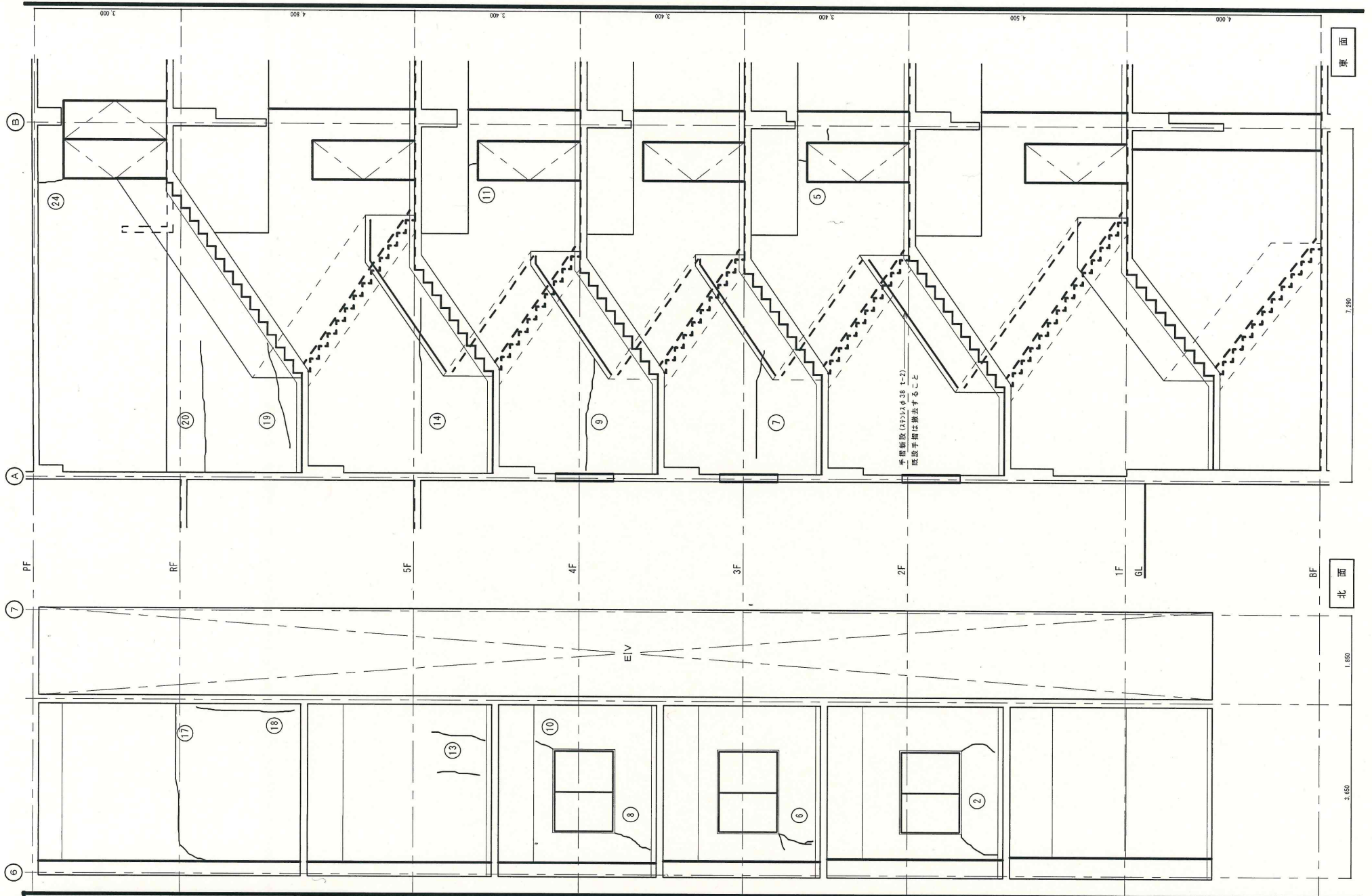
Scale
1/50

No.
21



* 屋内階段改修時に付加補修すること

階段図 (クマック)	
No. 1	W=1 L=1600
2 "	L=1500
3 "	L=1100
4 "	L=250
5 "	L=380
6 "	L=1250
7 "	L=2300
8 "	L=800
9 "	L=2300
10 "	L=380
11 "	L=160
12 "	L=2000
13 "	L=1900
14 "	L=3200
15 "	L=1200
16 "	L=1170
17 "	L=3500
18 "	L=2050
19 "	L=2200
20 "	L=2700
21 "	L=1900
22	W=8 L=4100
23	W=1 L=3600



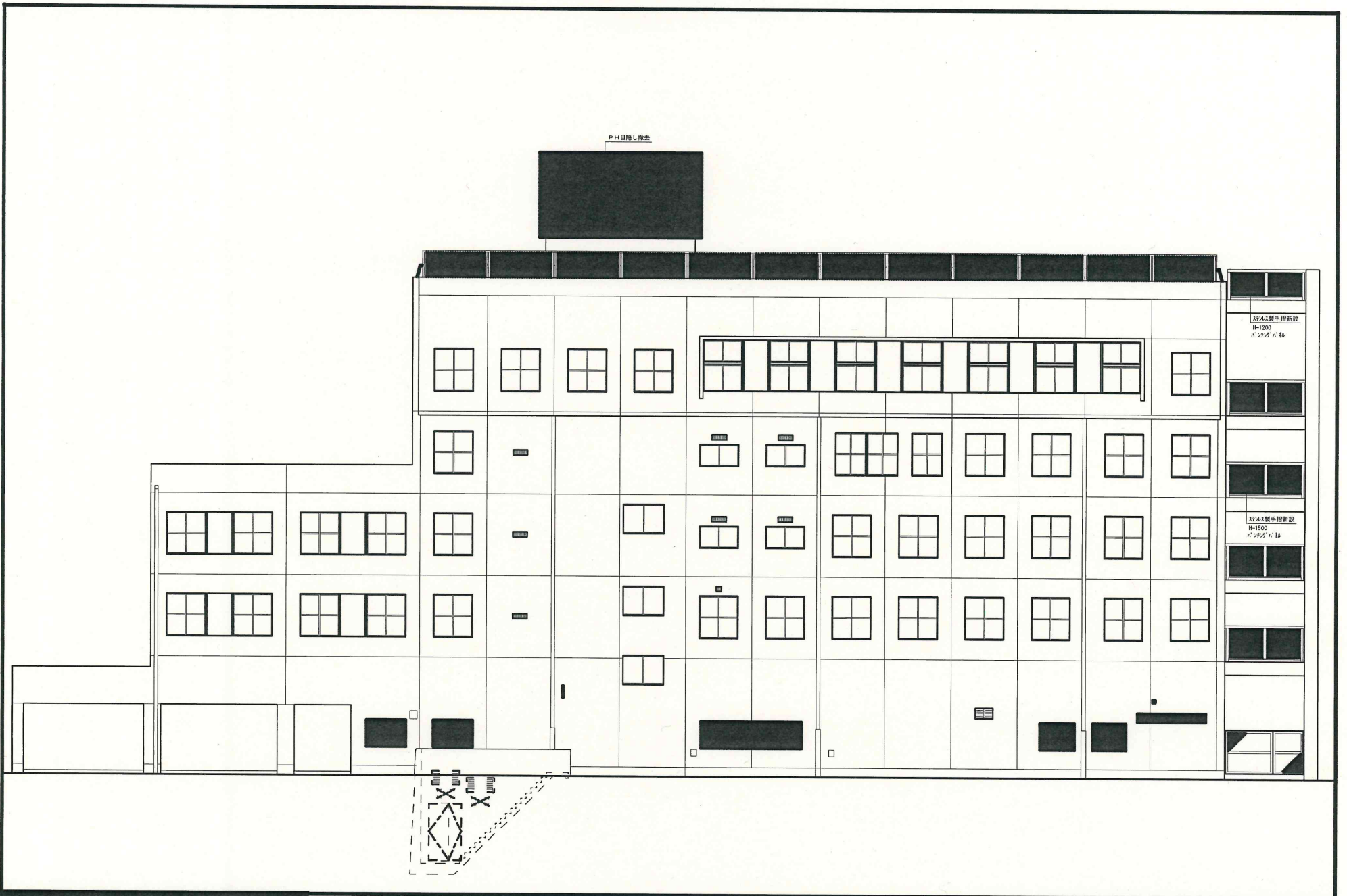
市民福祉会館改修工事設計図

Date

図面名称
階段室展開図(2)

Scale
1:50

No.
23



三原市市民福祉会館改修工事（建築工事）設計図

Date

図面名称

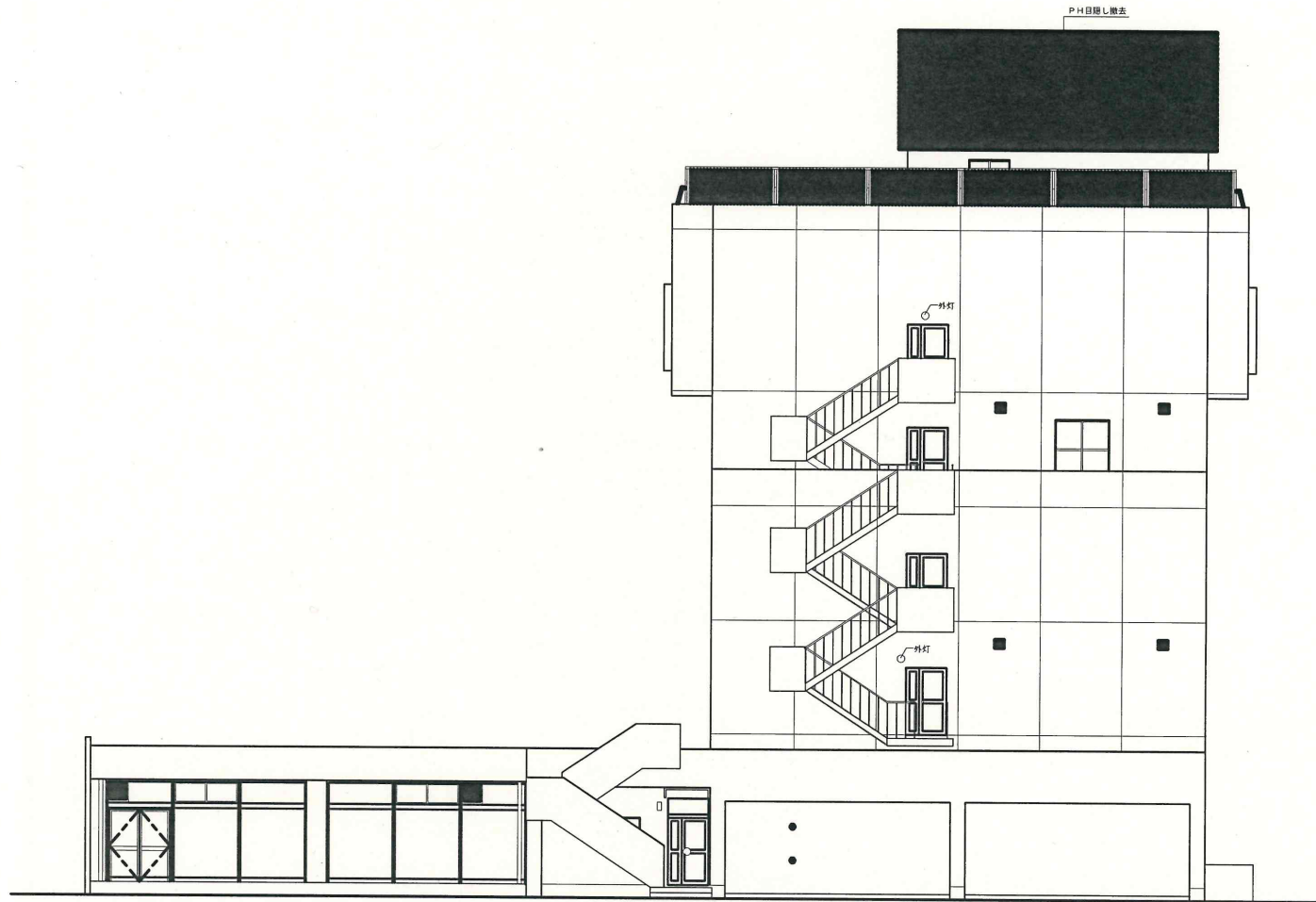
北側立面図

Scale

1/100

No.

27



三原市市民福祉会館改修工事（建築工事）設計図

Date

図面名称

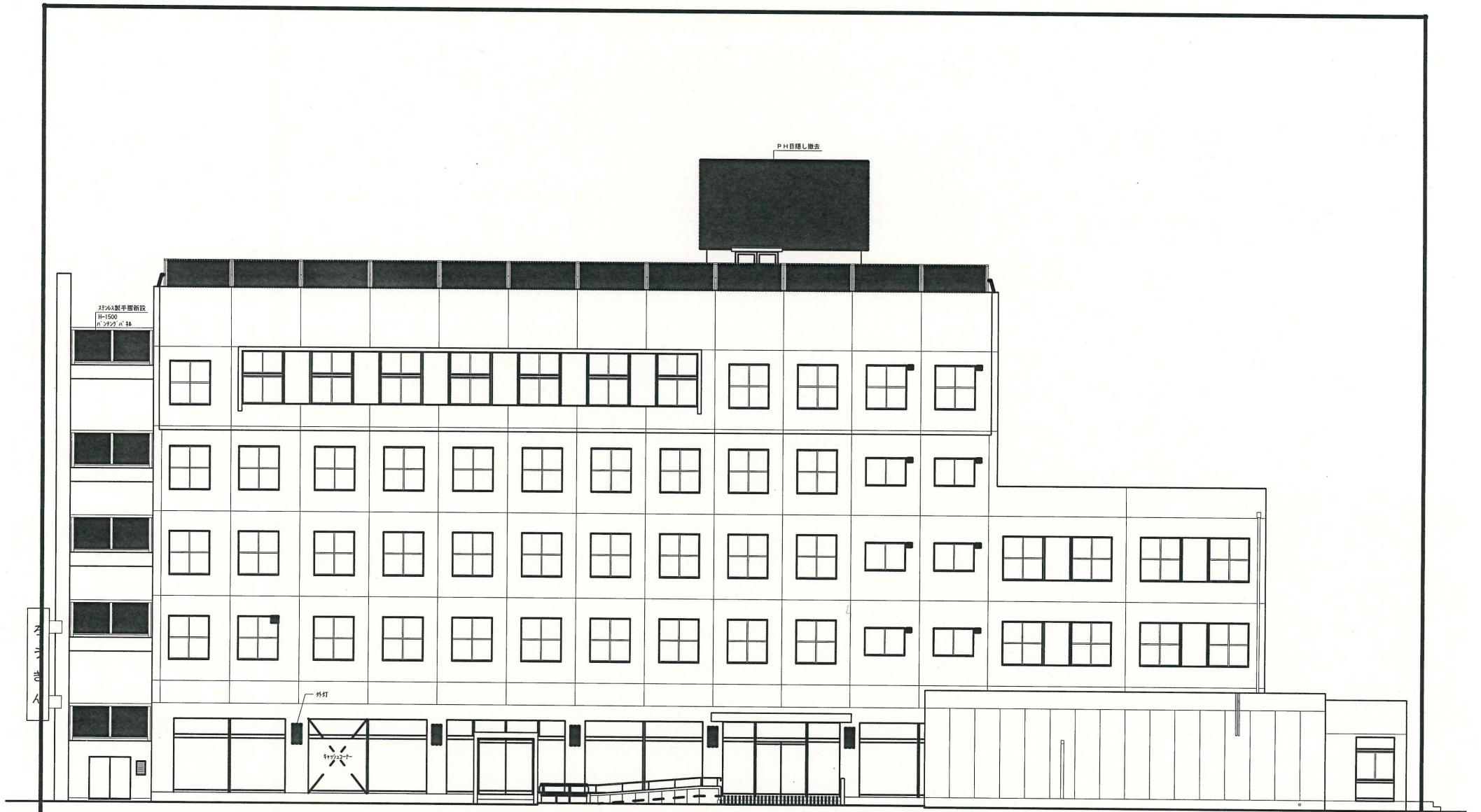
東側立面図

Scale

1/100

No.

24



三原市市民福祉会館改修工事（建築工事）設計図

Date

図面名称

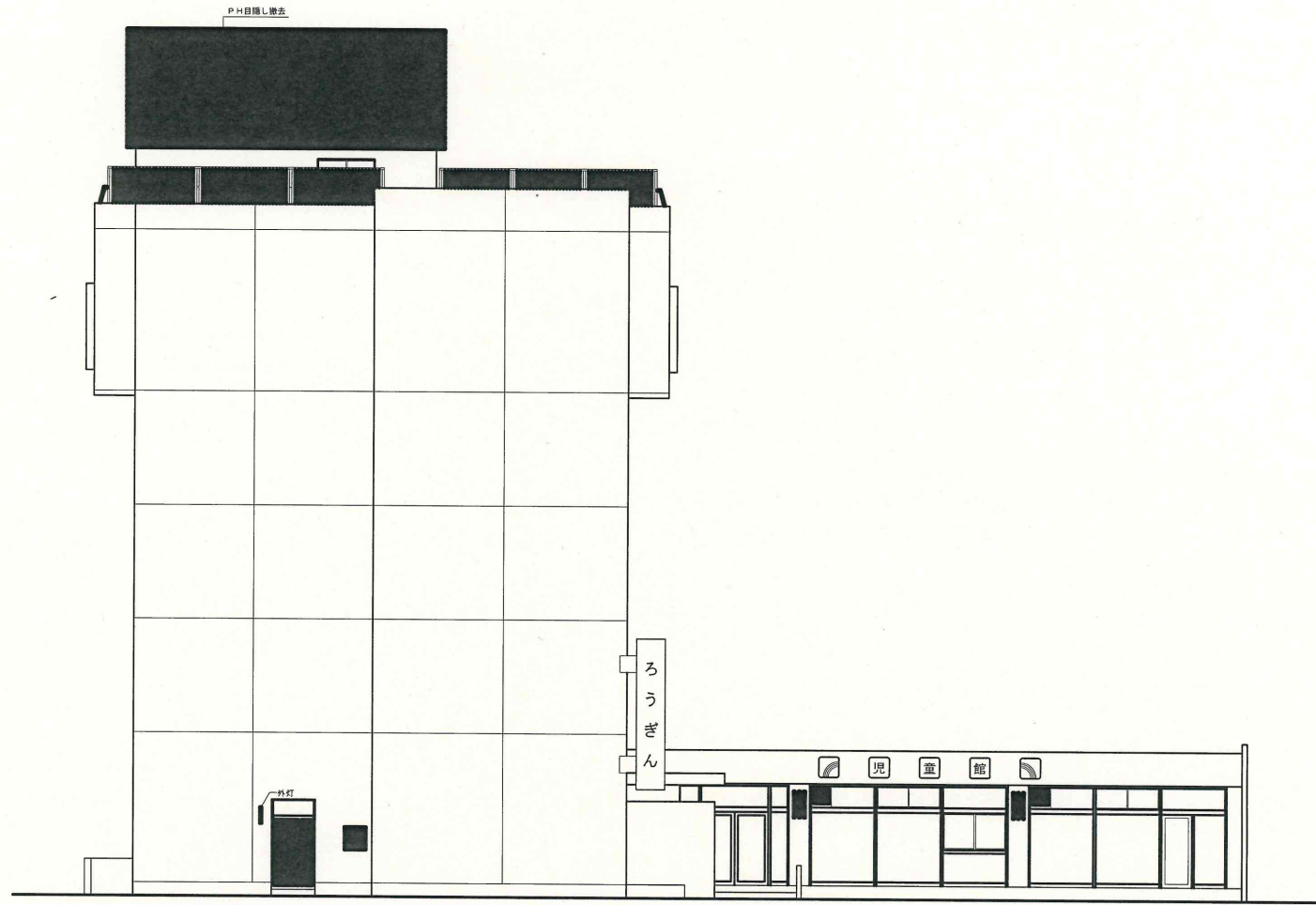
南側立面図

Scale

1/100

No.

25



三原市市民福祉会館改修工事（建築工事）設計図

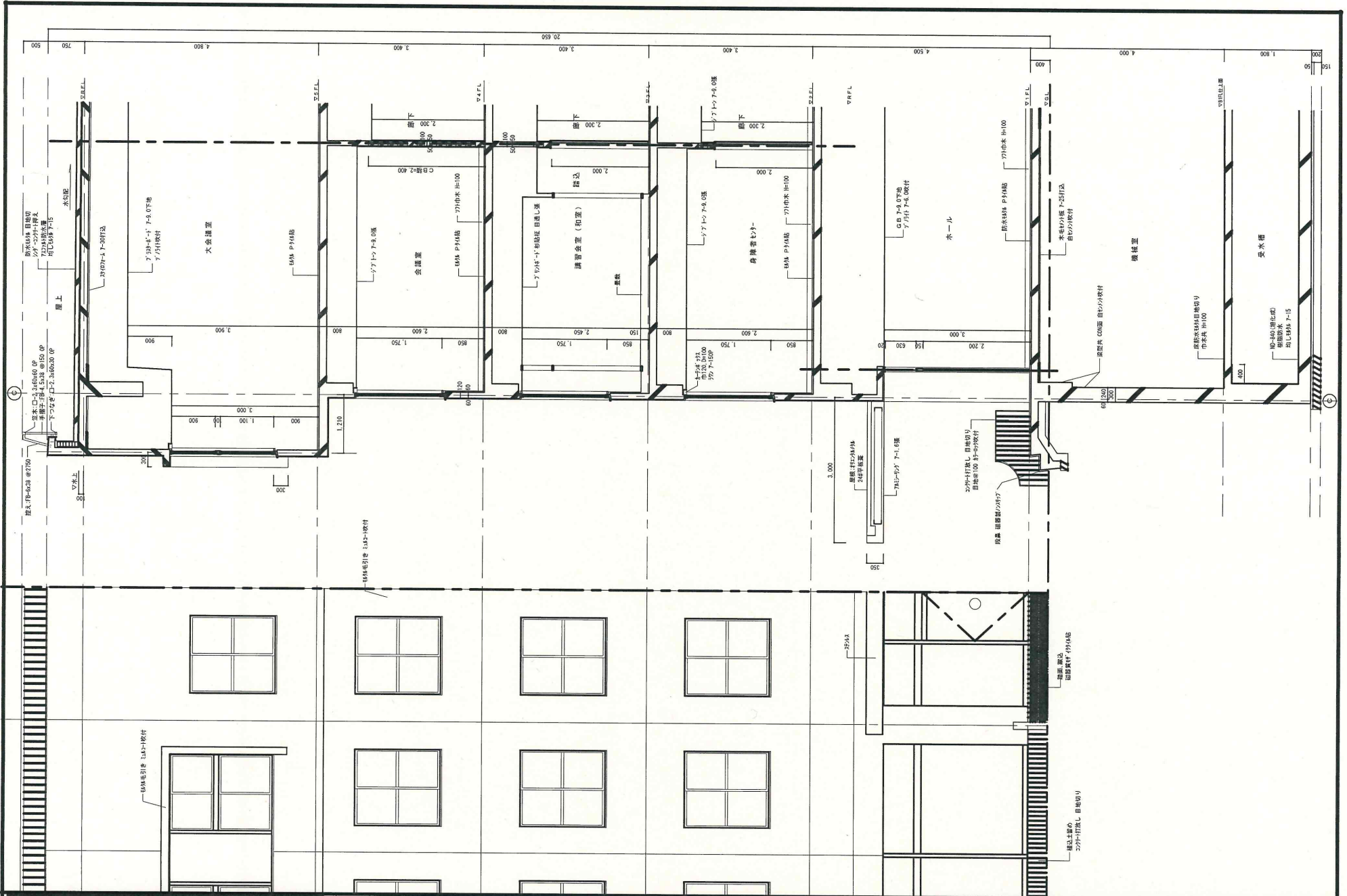
Date

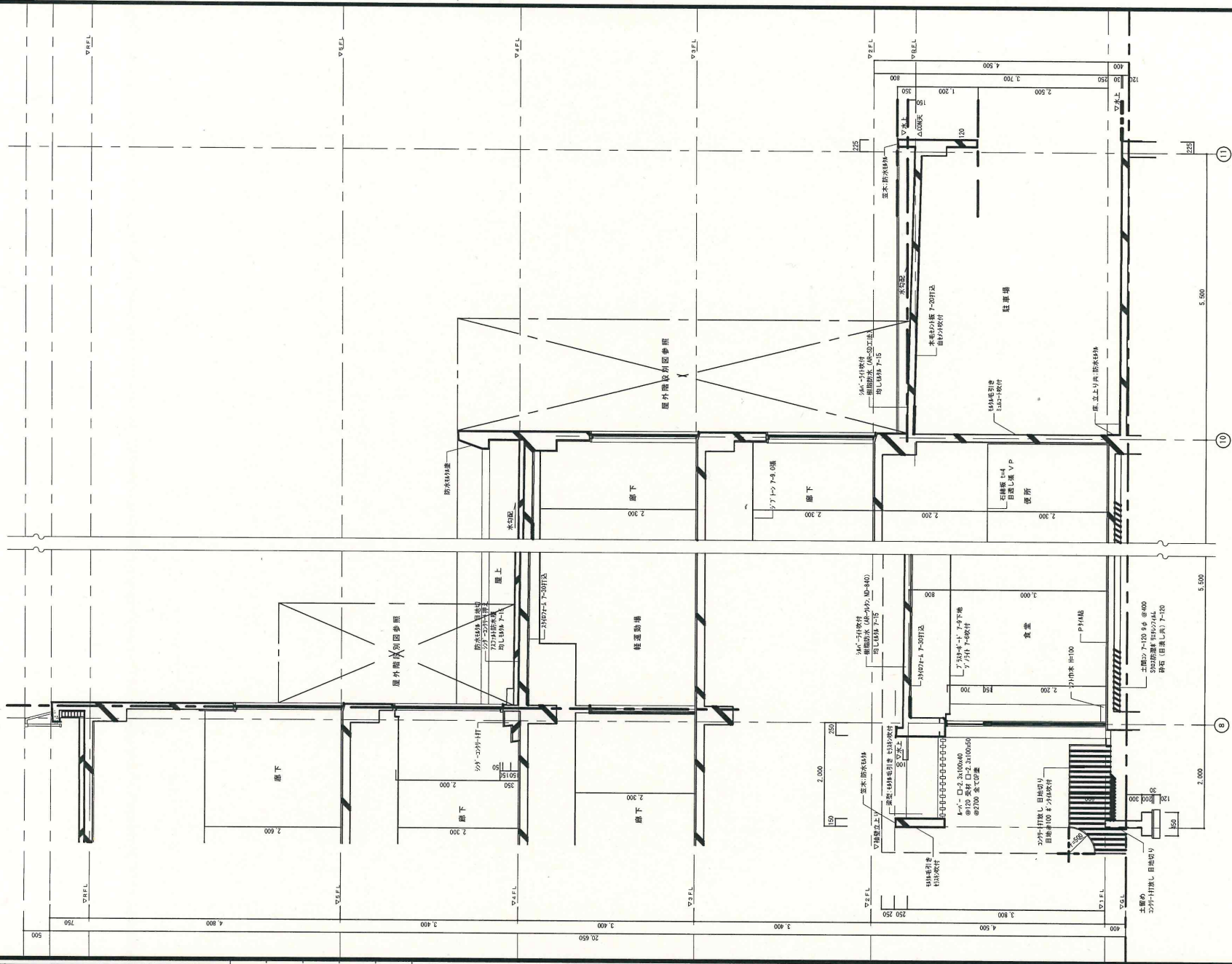
図面名称

西側立面図

Scale 1/100

No. 26





市民福祉会館改修工事（建築工事）		設計圖	図面名称	矩計図(2)〔参考図〕
Date			Scale	1/50
			No.	29